

第 6 期中標津町総合発展計画策定に係る

**まちづくりアンケート調査
結果報告書**

平成 2 1 年 1 0 月

中標津町

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査対象及び調査方法.....	1
(3) 配布数及び回収結果.....	1
(4) 本調査結果報告書の留意点.....	2
2 回答者の属性.....	3
(1) 一般町民.....	3
(2) 中高生.....	6

II 一般町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について.....	7
(1) まちへの愛着度について.....	7
(2) 今後の定住意向について.....	10
(3) 住み続けたい主な理由.....	13
(4) 住みたくない主な理由.....	14
2 まちの現状と今後の取り組みについて.....	15
(1) まちの各環境に対する満足度.....	15
(2) まちの各環境に対する重要度.....	23
(3) 満足度と重要度の相関（優先度）.....	30
(4) 全体的なまちづくりに対する満足度.....	33
3 今後のまちづくりについて.....	35
(1) 今後のまちづくりの特色について.....	35
4 生活環境について.....	39
(1) 今後必要な道路交通手段について.....	39
(2) 今後必要な施設整備について.....	40
(3) 自然環境や生活環境の保全について.....	42
(4) 高度情報化対策について.....	43
(5) 消防・防災対策について.....	44
5 産業振興について.....	45
(1) 農業の振興で力を入れるべきこと.....	45
(2) 商業振興で力を入れるべきこと.....	47
(3) 観光の振興で力を入れるべきこと.....	48
6 保健・医療・福祉について.....	49
(1) 保健・医療対策について.....	49

(2) 子育て環境について.....	50
(3) 高齢者施策について.....	52
7 教育・文化・スポーツについて.....	53
(1) 豊かな人間教育のために必要なこと.....	53
(2) 生涯学習・文化活動の活発化に必要なこと.....	54
(3) スポーツ活動の活発化に必要なこと.....	55
8 男女共同参画について.....	56
(1) 男女共同参画社会の形成のために必要なこと.....	56
9 地域間交流について.....	57
(1) 国内外との交流活動に必要だと思うこと.....	57
10 町民活動・協働について.....	58
(1) 地域活動・ボランティア活動について.....	58
(2) 参加したい地域活動等について.....	60
(3) 町民参画・協働について.....	61
11 日ごろの行動について.....	62
① 3 R運動について.....	62
② 環境に配慮した生活について.....	63
③ 避難路・避難場所の認知度について.....	64
④ 防災対策について.....	65
⑤ 地域の防犯活動への参加について.....	66
⑥ 健康診査の受診について.....	67
⑦ 運動の習慣について.....	68
⑧ 地域福祉活動への参加について.....	69
⑨ インターネットの活用について.....	70
⑩ 「広報なかしべつ」について.....	71
⑪ 町のホームページについて.....	72
⑫ 町政への関心について.....	73
⑬ 町総合計画について.....	74

III 中高生アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について.....	75
(1) まちへの愛着度について.....	75
(2) 今後の定住意向について.....	77
(3) 住み続けたい主な理由について.....	79
(4) 住みたくない主な理由について.....	80
(5) 就職、進学で離れたあと、中標津町に戻りたいか.....	81
(6) まちの暮らしやすさについて.....	83
2 今後のまちづくりについて.....	85

(1) 今後のまちづくりの特色について.....	85
(2) 今後力を入れるべき施策について.....	87
3 地域活動やボランティア活動について.....	89
(1) 地域活動やボランティア活動について.....	89
4 中標津町の特徴・自慢について.....	91
(1) 中標津町で自慢のできるもの.....	91

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、第6期中標津町総合発展計画（平成23年度～平成32年度）の策定に当たって、今後期待するまちづくりの方向、各分野における現状評価や施策要望など、町民の意識構造の実態を把握するとともに、ベンチマーク（成果指標）を導入した計画づくりを行うにあたって、現状数値の把握を目的に実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

項 目	一般町民	中学生・高校生
調査対象	20歳以上の町内に居住する男女	①町内中学校に在籍する3年生 ②町内高等学校に在籍する3年生
抽出法	無作為抽出（町民基本台帳より抽出）	悉皆調査
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）	各学校を通じた配布・回収
調査時期	平成21年8月	
調査地域	町内全域。ただし、分析上は地域的傾向を把握するため、以下の3地域に区分した。 ①中標津市街 ②中標津町農協区域 ③計根別	

(3) 配布数及び回収結果

項 目	一般町民	中学生・高校生
配布数	2,500	498 (中学3年生258、高校3年生240)
有効回収数	889	458
有効回収率	35.6%	92.0%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

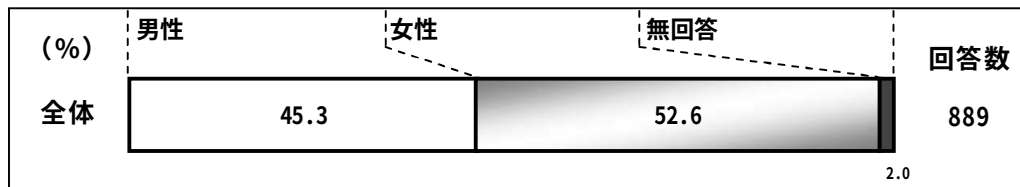
- 比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- 基数となるべき実数は、“回答数=〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出した。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化している。
- 問の中には「～に○をつけた方にうかがいます。」などいろいろな制限があり、また、属性別での職業別など回答者数が少なく、有意性の低いものも含まれる。

2 回答者の属性

(1) 一般町民

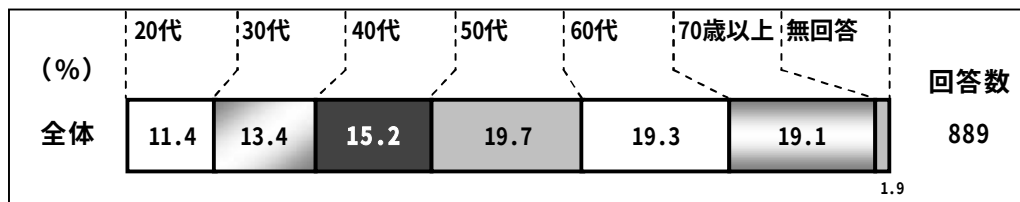
①性別

回答者の性別構成は、「男性」が45.3%、「女性」が52.6%となっている。



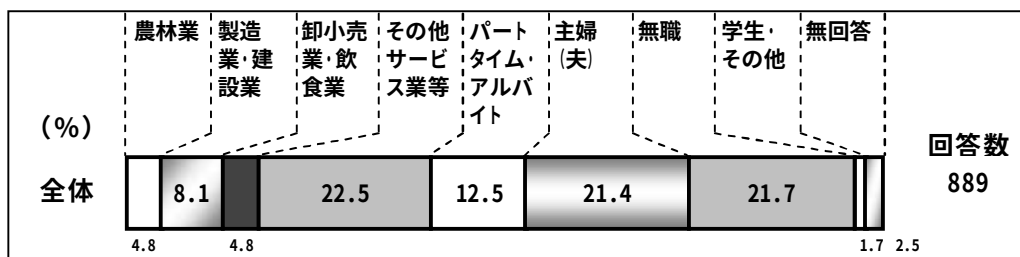
②年齢

回答者の年齢構成は、「50代」が19.7%で最も多く、次いで「60代」(19.3%)、「70歳以上」(19.1%)、「40代」(15.2%)、「30代」(13.4%)、「20代」(11.4%)の順となっている。



③職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が22.5%で最も多く、次いで「無職」(21.7%)、「主婦(夫)」(21.4%)、「パートタイム・アルバイト」(12.5%)、「製造業・建設業」(8.1%)、「農林業」及び「卸小売業・飲食業」(同率 4.8%)、「学生・その他」(1.7%)の順となっている。



④家族構成

回答者の家族構成は、3歳児未満の乳幼児については、「いない」が63.3%、「いる」が7.8%となっている。

幼稚園児・保育園児については、「いない」が64.3%、「いる」が7.5%となっている。

小学生・中学生については、「いない」が61.5%、「いる」が12.7%となっている。

高校生については、「いない」が63.2%、「いる」が7.1%となっている。

大学生・専門学校生については、「いない」が63.7%、「いる」が6.5%となっている。

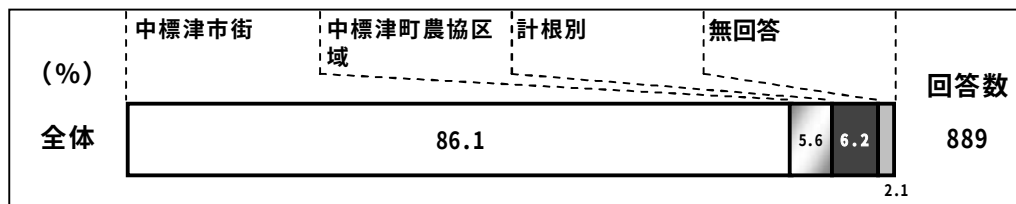
65歳以上の高齢者については、「いない」が45.2%、「いる」が40.2%となっている。

(家族構成／%)		
	いる	いない
3歳児未満の乳幼児	7.8	63.3
幼稚園児・保育園児	7.5	64.3
小学生・中学生	12.7	61.5
高校生	7.1	63.2
大学生・専門学校生	6.5	63.7
65歳以上の高齢者	40.2	45.2

(%)	いる	いない	無回答	回答数
3歳児未満の乳幼児	7.8	63.3	28.9	889
幼稚園児・保育園児	7.5	64.3	28.1	889
小学生・中学生	12.7	61.5	25.8	889
高校生	7.1	63.2	29.7	889
大学生・専門学校生	6.5	63.7	29.8	889
65歳以上の方	40.2	45.2	14.6	889

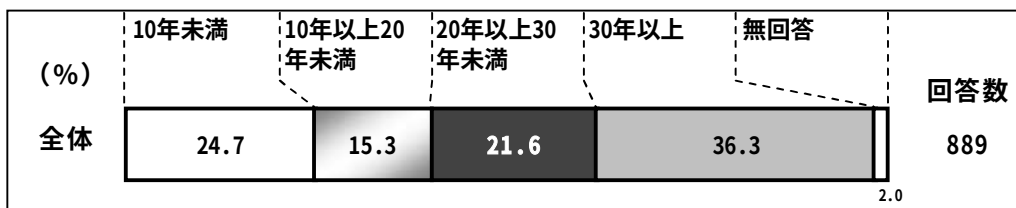
⑤居住地

回答者の居住地は、「中標津市街」が86.1%で最も多く、次いで「計根別」(6.2%)、「中標津町農協区域」(5.6%)の順となっている。



⑥居住年数

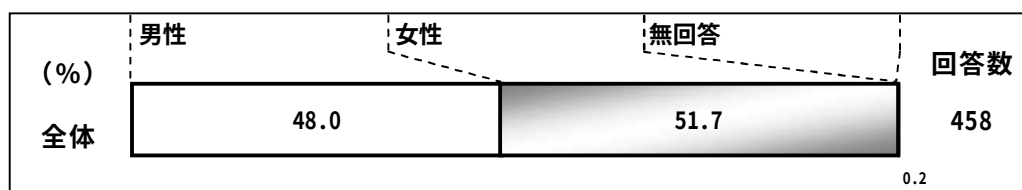
回答者の居住歴は、「30年以上」が36.3%で最も多く、次いで「10年未満」(24.7%)、「20年以上30年未満」(21.6%)、「10年以上20年未満」(15.3%)の順となっている。



(2) 中高生

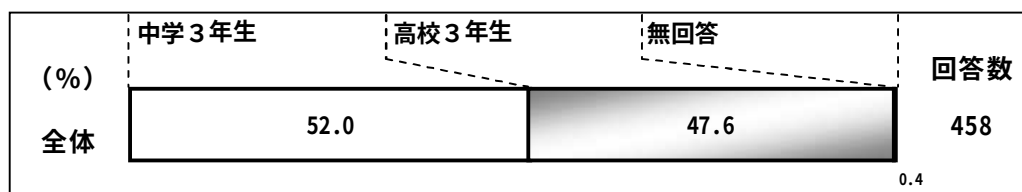
①性別

回答者の性別構成は、「女性」が51.7%、「男性」が48.0%となっている。



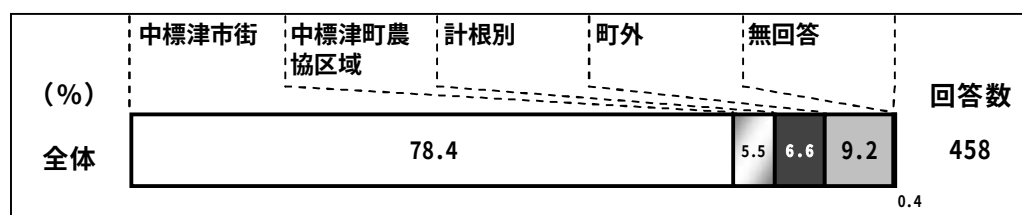
②学年

回答者の学年は、「中学3年生」(52.0%)、「高校3年生」(47.6%)となっている。



③居住地

回答者の居住地は、「中標津市街」が78.4%で最も多く、次いで「計根別」(6.6%)、「中標津町農協区域」(5.5%)、「町外」(9.2%)となっている。



Ⅱ 一般町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

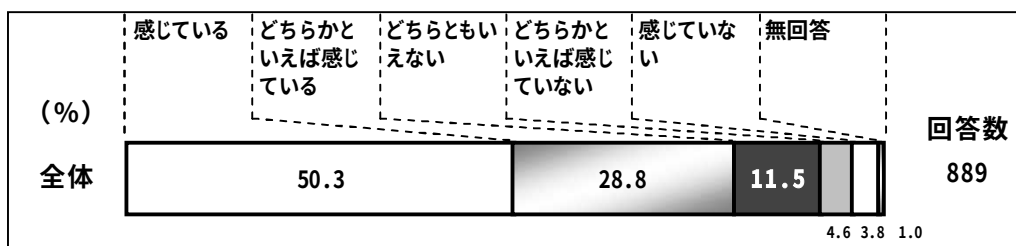


- “愛着を感じている”が79.1%。一方、“愛着を感じていない”は8.4%。

町民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらった。

その結果、愛着を「感じている」と回答した人が50.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば感じている」が28.8%で続き、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が79.1%となっている。これに対して、“愛着を感じていない”(「どちらかといえば感じていない」4.6%及び「感じていない」3.8%の合計)は8.4%と1割以下にとどまり、総じてまちへの愛着度は高いといえる。なお、「どちらともいえない」は11.5%であった。[図表1参照]

図表1 まちへの愛着度について（全体）

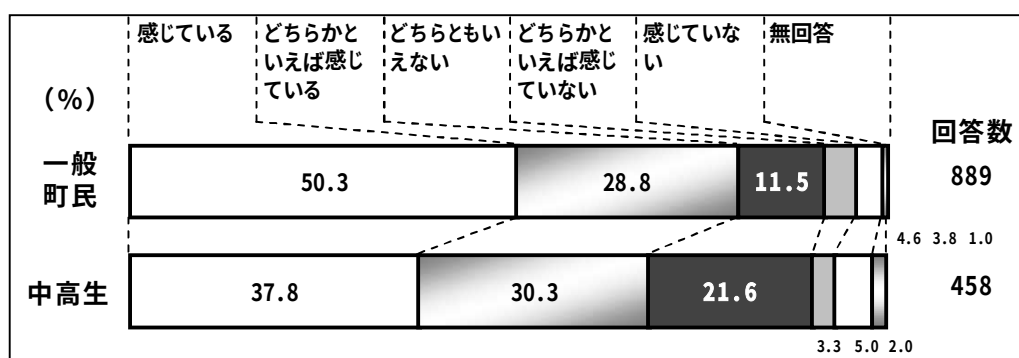


[一般町民と中高生の比較]

同様の設問を設定した「まちづくり中学生・高校生アンケート調査」と比較すると、“愛着を感じている”率は一般町民の79.1%に対して、中高生では68.1%と一般町民が中高生を11ポイント上回る。

特に「感じている」と回答した率が一般町民では50.3%に対して、中高生では37.8%にとどまり、「どちらともいえない」という回答が中高生では一般町民の約2倍となっている。[図表2参照・中高生の結果は75頁参照]

図表2 まちへの愛着度について（全体、一般町民と中高生の比較）

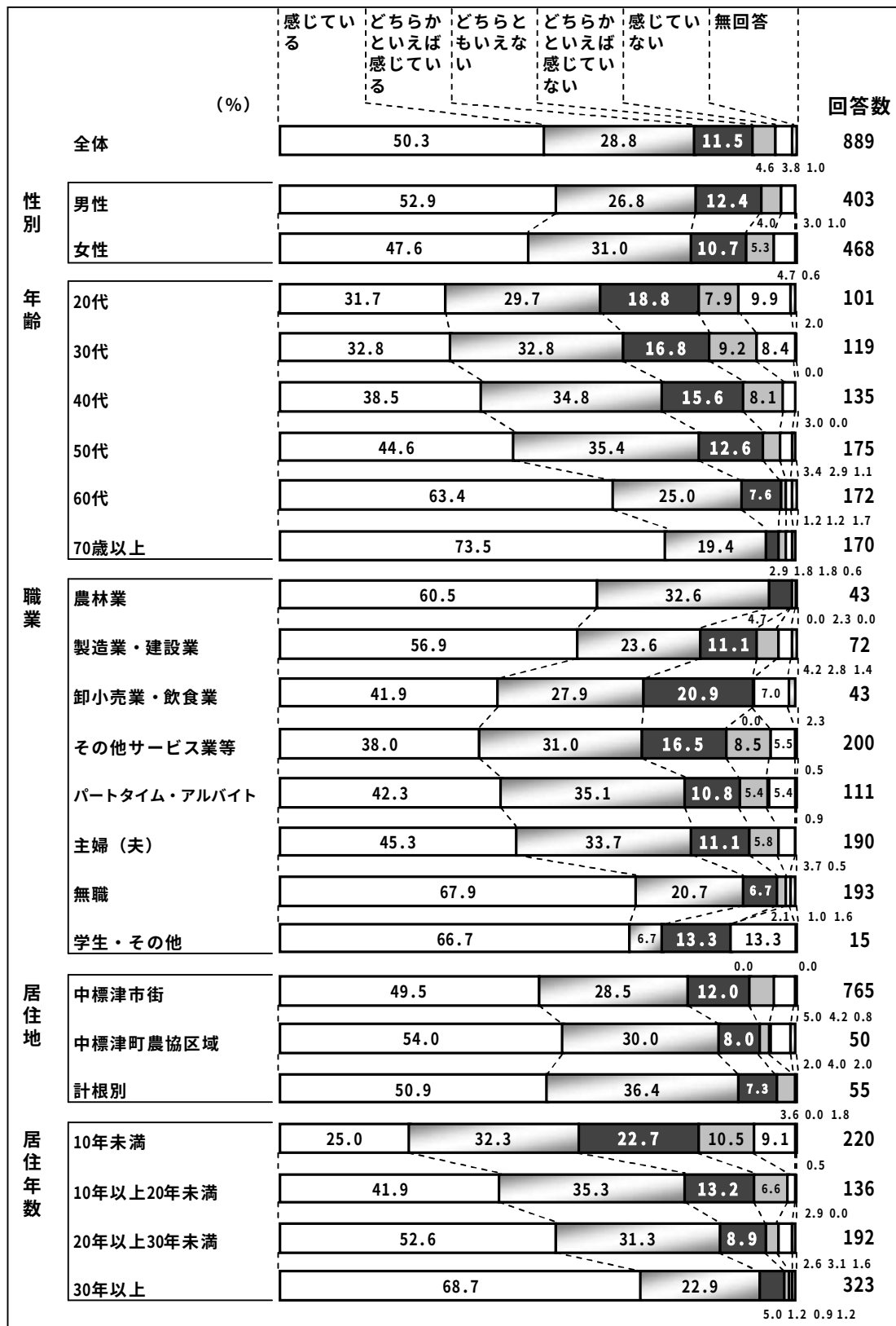


性別で“愛着を感じている”率をみると、男性（79.7%）が女性（78.6%）をやや上回り、特に「感じている」と回答した率は男性(52.9%)が女性(47.6%)を約5ポイント上回り、男性の愛着度が比較的高いことがうかがえる。

年齢別では、概ね加齢とともに愛着度が高くなる傾向がみられ、70歳以上では“愛着を感じている”率が92.9%と9割を超える。一方で20代では61.4%にとどまる結果となっている。

職業別・居住地・居住年数で“愛着を感じている”率の高い層をみると、職業別では農林業(93.1%)、居住地では計根別(87.3%)、居住年数では30年以上(91.6%)などとなっている。[図表3参照]

図表3 まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(2) 今後の定住意向について

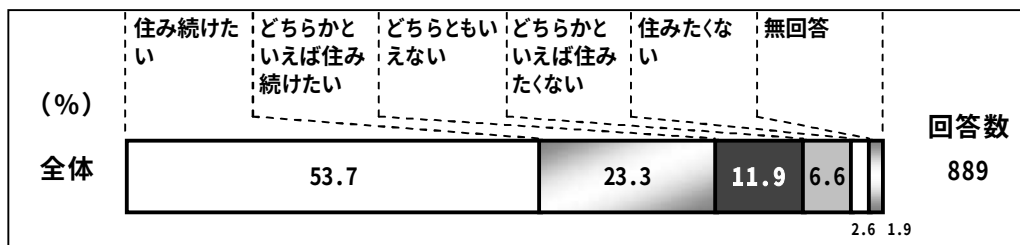
問3① あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。



- “住み続けたい”が77.0%、一方、“住みたくない”は9.2%。

今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が53.7%で最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」(23.3%)をあわせた77.0%の人が“住み続けたい”という意向を示している。一方、「どちらかといえば住みたくない」(6.6%)及び「住みたくない」(2.6%)と答えた“住みたくない”という人の合計は9.2%と1割にとどまり、定住意向が強い結果となっている。なお、「どちらともいえない」は11.9%であった。[図表4参照]

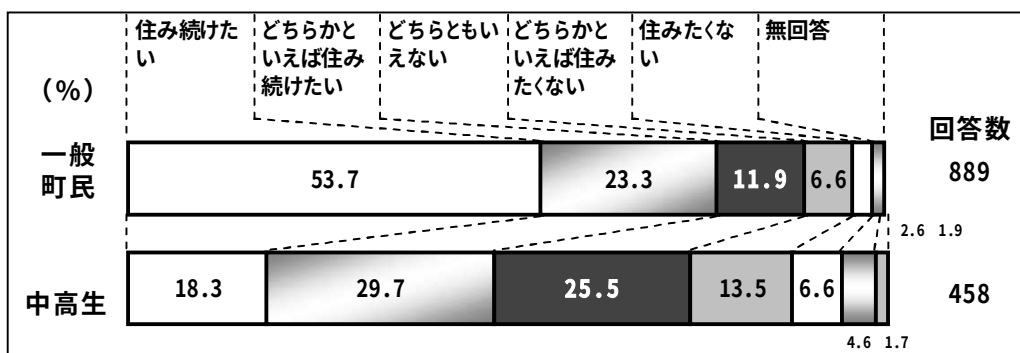
図表4 今後の定住意向について（全体）



[一般町民と中高生の比較]

同様の設問を設定した「まちづくり中学生・高校生アンケート調査」と比較すると、“住み続けたい”と回答した率は一般町民の77.0%に対して中高生では48.0%と大きな差がみられ、将来を担う世代の定住促進対策を進めていくことが大きな課題であることが改めて認識できる。[図表5参照・中高生の結果は77頁参照]

図表5 今後の定住意向について（全体、一般町民と中高生の比較）

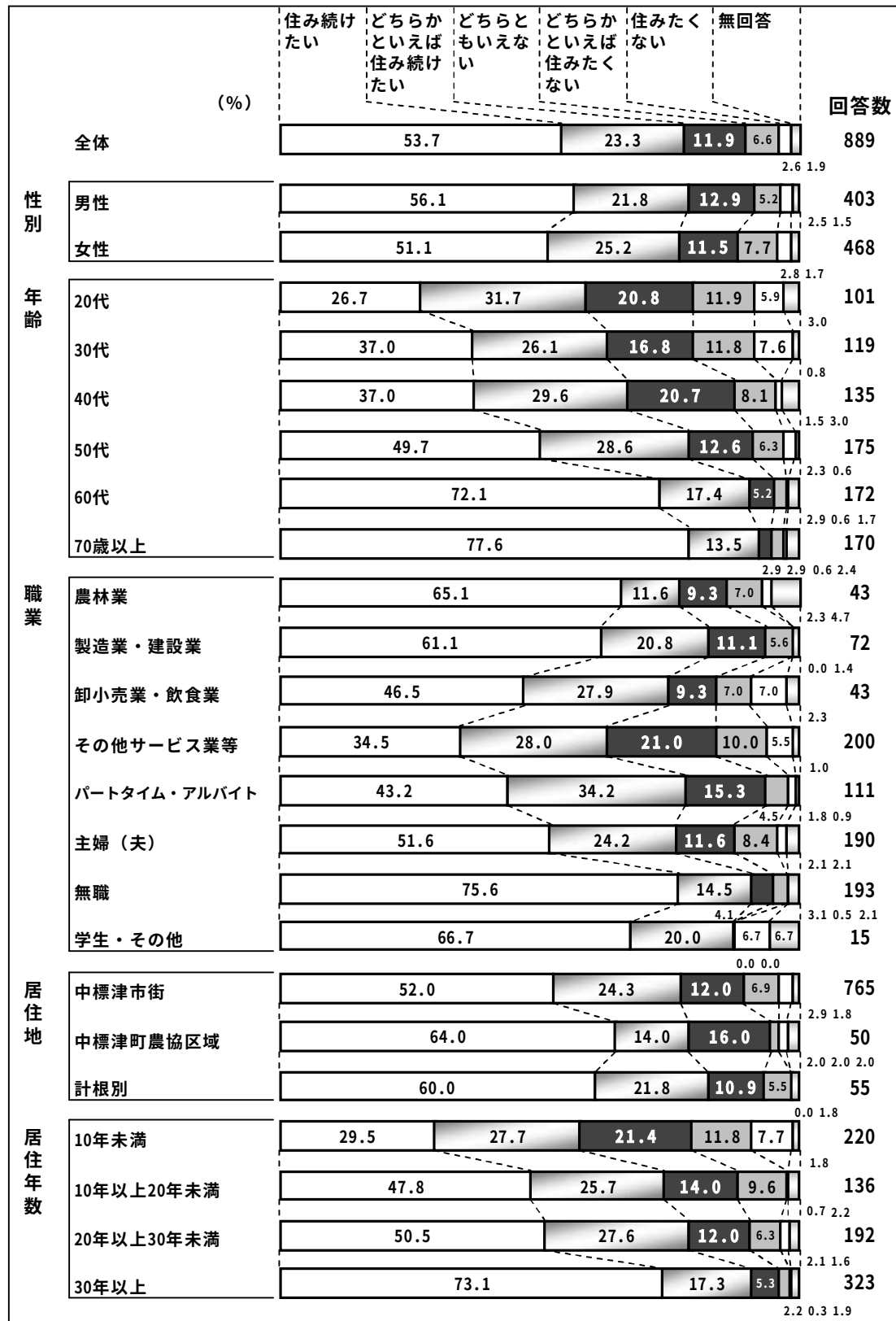


性別で“住み続けたい”率をみると、男性が 77.9%、女性が 76.3%とほぼ同率となっているが、「住み続けたい」と回答した率は男性が女性を 5 ポイント上回り、男性の定住意向が比較的高いことがうかがえる。

年齢別では、概ね加齢とともに定住意向が強くなる傾向がみられ、70 歳以上では“住み続けたい”率が 91.1%にのぼる。一方で 20 代では 58.4%と約 6 割にとどまる結果となっている。このため、本町にとって若年層の定住化が重要な課題であることが改めて認識できる。

職業別・居住歴別・居住地別で“住み続けたい”率の高い層をみると、職業別では無職(90.1%)、居住地では計根別(81.8%)、居住年数では 30 年以上 (90.4%) などとなっている。[図表 6 参照]

図表6 今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(3) 住み続けたい主な理由

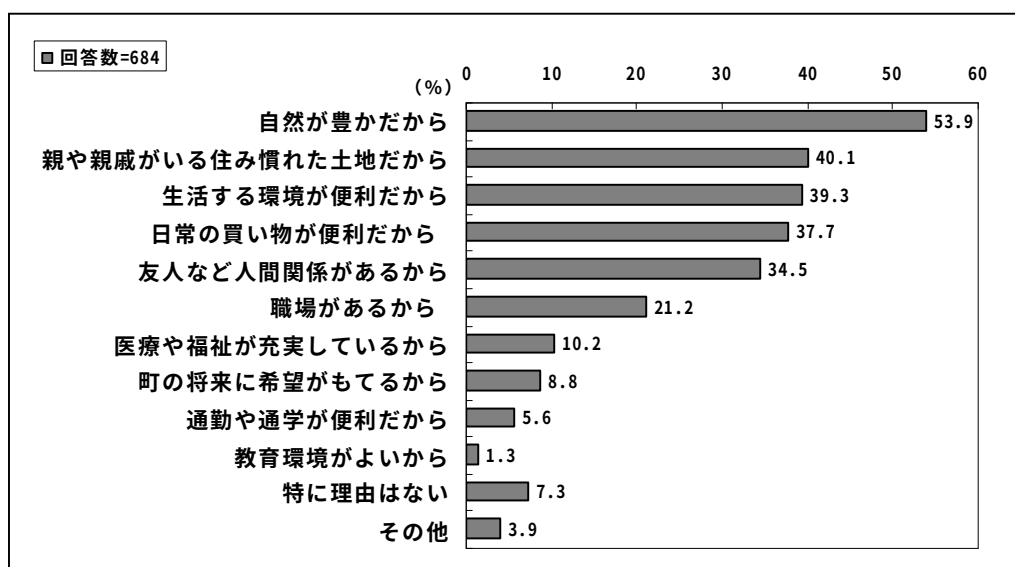
問3② 住み続けたい主な理由は何ですか。(①で「1.」または「2.」に○をつけた方のみ)【複数回答】



- 「自然が豊かだから」が第1位。次いで「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」、「生活する環境が便利だから」の順。

問3で“住み続けたい”と回答した人(全体の77.0%・684人)にその理由をたずねたところ、「自然が豊かだから」が53.9%で第1位に挙げられ、次いで、「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」(40.1%)が続き、以下、「生活する環境が便利だから」(39.3%)、「日常の買い物が便利だから」(37.7%)、「友人など人間関係があるから」(34.5%)などの順となっている。[図表7参照]

図表7 住み続けたい主な理由(全体/複数回答)



(4) 住みたくない主な理由

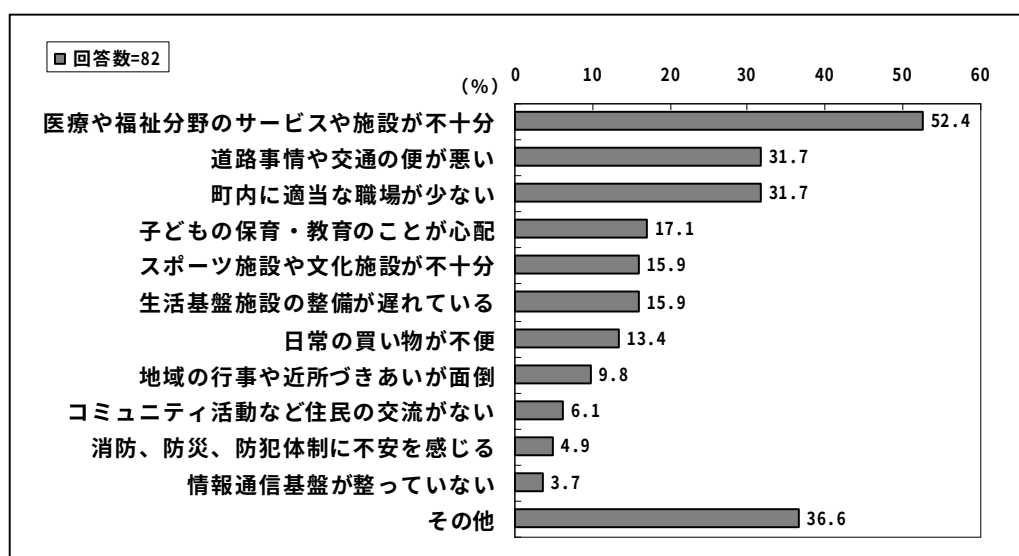
問3③ 住みたくない主な理由は何ですか。(①で「4.」または「5.」に○をつけた方のみ)【複数回答】



- 「医療や福祉分野のサービスや施設が不十分」が第1位。次いで「道路事情や交通の便が悪い」及び「町内に適当な職場が少ない」が続く。

問3で“住みたくない”と回答した人(全体の9.2%・82人)にその理由をたずねたところ、「医療や福祉分野のサービスや施設が不十分」(52.4%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「道路事情や交通の便が悪い」及び「町内に適当な職場が少ない」(同率31.7%)、「子どもの保育・教育のことが心配」(17.1%)が続き、以下、「スポーツ施設や文化施設が不十分」及び「生活基盤施設の整備が遅れている」(同率15.9%)などの順となっている。[図表8参照]

図表8 住みたくない主な理由(全体／複数回答)



2 まちの現状と今後の取り組みについて

(1) まちの各環境に対する満足度

問4 中標津町について、現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。



- 評価の最も高い項目は「上水道」。次いで「排水処理」、「河川・公園」の順。
- 評価の最も低い項目は「中心市街地の活性化」。次いで「農業」、「社会福祉・社会保障」の順。

中標津町の各環境に対する町民の評価について、満足度をたずねた45の設問項目の傾向を、“満足”(「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の合計)、「どちらともいえない」、「不満」(「どちらかといえば不満である」及び「不満である」の合計)の3区分にまとめ、その比率でみていくと、“満足”と回答した率は、「上水道」(69.3%)で最も高く、次いで「排水処理」(43.6%)、「河川・公園」(43.5%)、「道路整備」(41.9%)、「廃棄物処理」(41.8%)などの順となっている。一方、“不満”と回答した率は、「中心市街地の活性化」(52.6%)で最も高く、次いで「除排雪」(45.5%)、「医療」(42.2%)、「農業」(40.3%)、「観光」(36.8%)などの順であった。

さらに、加重平均値【※後述参照】による評価点(満足度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点)による分析を行った。

この結果、評価点の最も高い項目は「上水道」(5.27点)となっており、次いで第2位が「排水処理」(2.16点)、第3位が「河川・公園」(2.06点)と続き、以下、「防災・消防・救急」(1.96点)、「広報・広聴」(1.56点)などの順となっている。一方、評価点の低い方からみると、「中心市街地の活性化」(-3.25点)が最も低く、次いで第2位が「農業」(-2.23点)、第3位が「社会福祉・社会保障」(-2.20点)と続き、以下、「医療」(-1.90点)、「除排雪」(-1.87点)などとなっており、評価がプラス点の項目は27項目、マイナス点の項目は18項目となっている。[図表9～14参照]

中標津市街

満足度の上位3項目は第1位が「上水道」(5.24点)、第2位が「排水処理」(2.11点)、第3位が「防災・消防・救急」(2.00点)の順。一方、下位3項目は第1位が「中心市街地の活性化」(-3.51点)、第2位が「社会福祉・社会保障」(-2.28点)、第3位が「農業」(-2.12点)の順。

設定した45項目のうちプラス評価の項目は26項目、マイナス評価の項目は19項目となっている。

中標津町農協区域

満足度の上位3項目は第1位が「上水道」(5.36点)、第2位が「環境美化」(3.05点)、第3位が「河川・公園」(2.93点)の順。一方、下位3項目は第1位が「農業」(-2.74点)、第2位が「情報化」(-1.90点)、第3位が「医療」(-1.79点)の順。

設定した45項目のうちプラス評価の項目は30項目、中間点が2項目、マイナス評価の項目は13項目となっている。

計根別

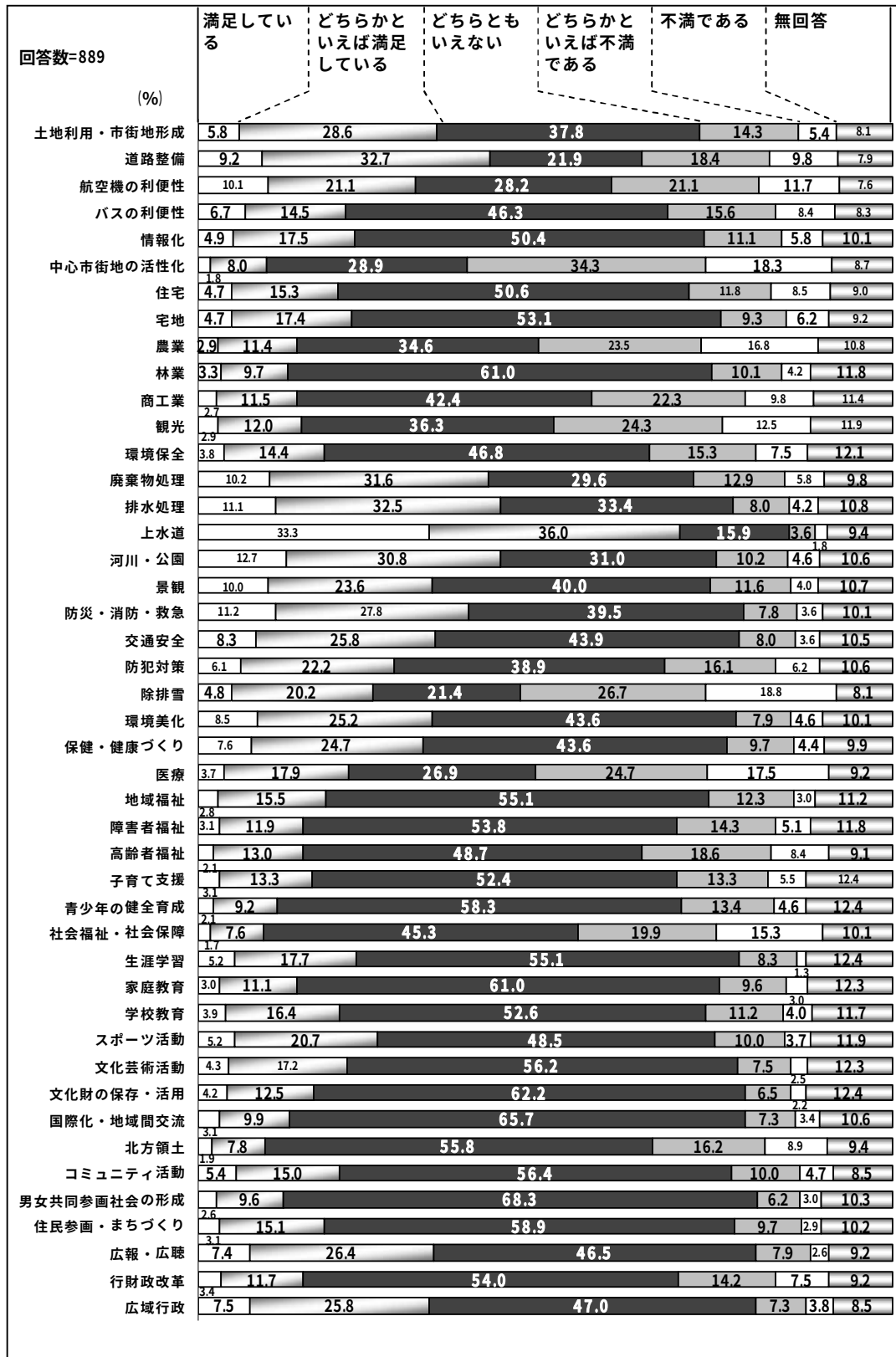
満足度の上位3項目は第1位が「上水道」(6.50点)、第2位が「排水処理」(3.13点)、第3位が「保健・健康づくり」(2.76点)の順。一方、下位3項目は第1位が「農業」(-3.30点)、第2位が「社会福祉・社会保障」(-1.67点)、第3位が「中心市街地の活性化」(-1.60点)の順。

設定した45項目のうちプラス評価の項目は31項目、マイナス評価の項目は14項目となっている。

※評価点（加重平均値）の算出方法
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left[\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「どちらかといえ} \\ \text{ば満足している」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「どちらともいえな} \\ \text{い」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかといえは不満である」} \\ \text{の回答者数} \times -5 \text{点} + \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right]}{\left[\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかといえ} \\ \text{ば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えは不満である」、「不満である」の回答者数} \end{array} \right]}$$

図表9 まちの各環境に対する満足度(全体／%)



図表 10 まちの各環境に対する満足度(全体／%)

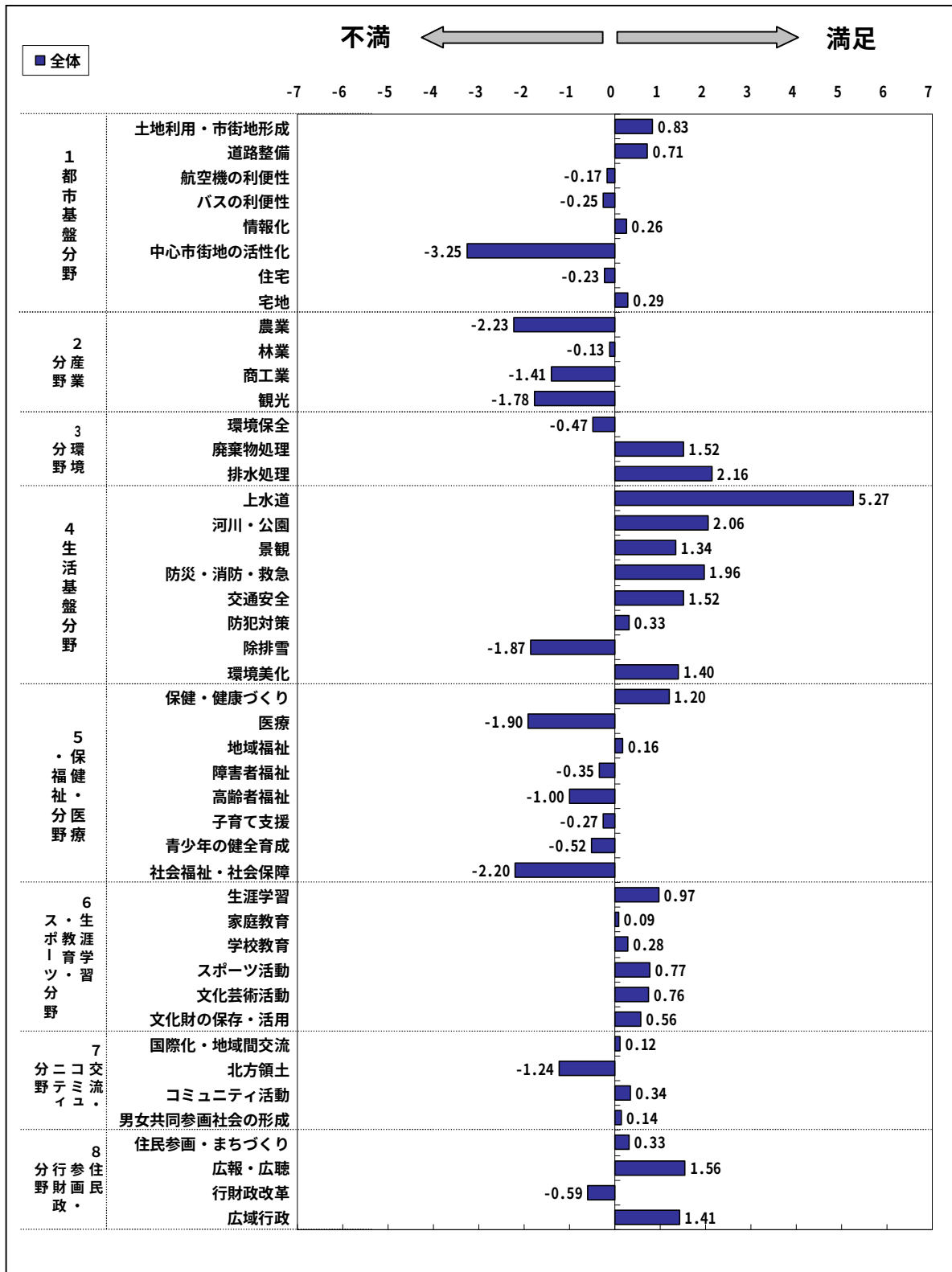
	“ 満足 ”	どちらとも いえない	“ 不満 ”
1① 土地利用・市街地形成	34.4	37.8	19.7
1② 道路整備	④ 41.9	21.9	28.2
1③ 航空機の利便性	31.2	28.2	32.8
1④ バスの利便性	21.2	46.3	24.0
1⑤ 情報化	22.4	50.4	16.9
1⑥ 中心市街地の活性化	9.8	28.9	① 52.6
1⑦ 住宅	20.0	50.6	20.3
1⑧ 宅地	22.1	53.1	15.5
2① 農業	14.3	34.6	④ 40.3
2② 林業	13.0	61.0	14.3
2③ 商工業	14.2	42.4	32.2
2④ 観光	14.9	36.3	⑤ 36.8
3① 環境保全	18.2	46.8	22.8
3② 廃棄物処理	⑤ 41.8	29.6	18.7
3③ 排水処理	② 43.6	33.4	12.2
4① 上水道	① 69.3	15.9	5.4
4② 河川・公園	③ 43.5	31.0	14.8
4③ 景観	33.6	40.0	15.6
4④ 防災・消防・救急	39.0	39.5	11.4
4⑤ 交通安全	34.1	43.9	11.6
4⑥ 防犯対策	28.3	38.9	22.3
4⑦ 除排雪	25.0	21.4	② 45.5
4⑧ 環境美化	33.7	43.6	12.5
5① 保健・健康づくり	32.3	43.6	14.1
5② 医療	21.6	26.9	③ 42.2
5③ 地域福祉	18.3	55.1	15.3
5④ 障害者福祉	15.0	53.8	19.4
5⑤ 高齢者福祉	15.1	48.7	27.0
5⑥ 子育て支援	16.4	52.4	18.8
5⑦ 青少年の健全育成	11.3	58.3	18.0
5⑧ 社会福祉・社会保障	9.3	45.3	35.2
6① 生涯学習	22.9	55.1	9.6
6② 家庭教育	14.1	61.0	12.6
6③ 学校教育	20.3	52.6	15.2
6④ スポーツ活動	25.9	48.5	13.7
6⑤ 文化芸術活動	21.5	56.2	10.0
6⑥ 文化財の保存・活用	16.7	62.2	8.7
7① 国際化・地域間交流	13.0	65.7	10.7
7② 北方領土	9.7	55.8	25.1
7③ コミュニティ活動	20.4	56.4	14.7
7④ 男女共同参画社会の形成	12.2	68.3	9.2
8① 町民参画・まちづくり	18.2	58.9	12.6
8② 広報・広聴	33.8	46.5	10.5
8③ 行財政改革	15.1	54.0	21.7
8④ 広域行政	33.3	47.0	11.1

※丸数字は上位項目の順位。無回答は除く。

図表 11 まちの各環境に対する満足度(全体／評価点)

全体

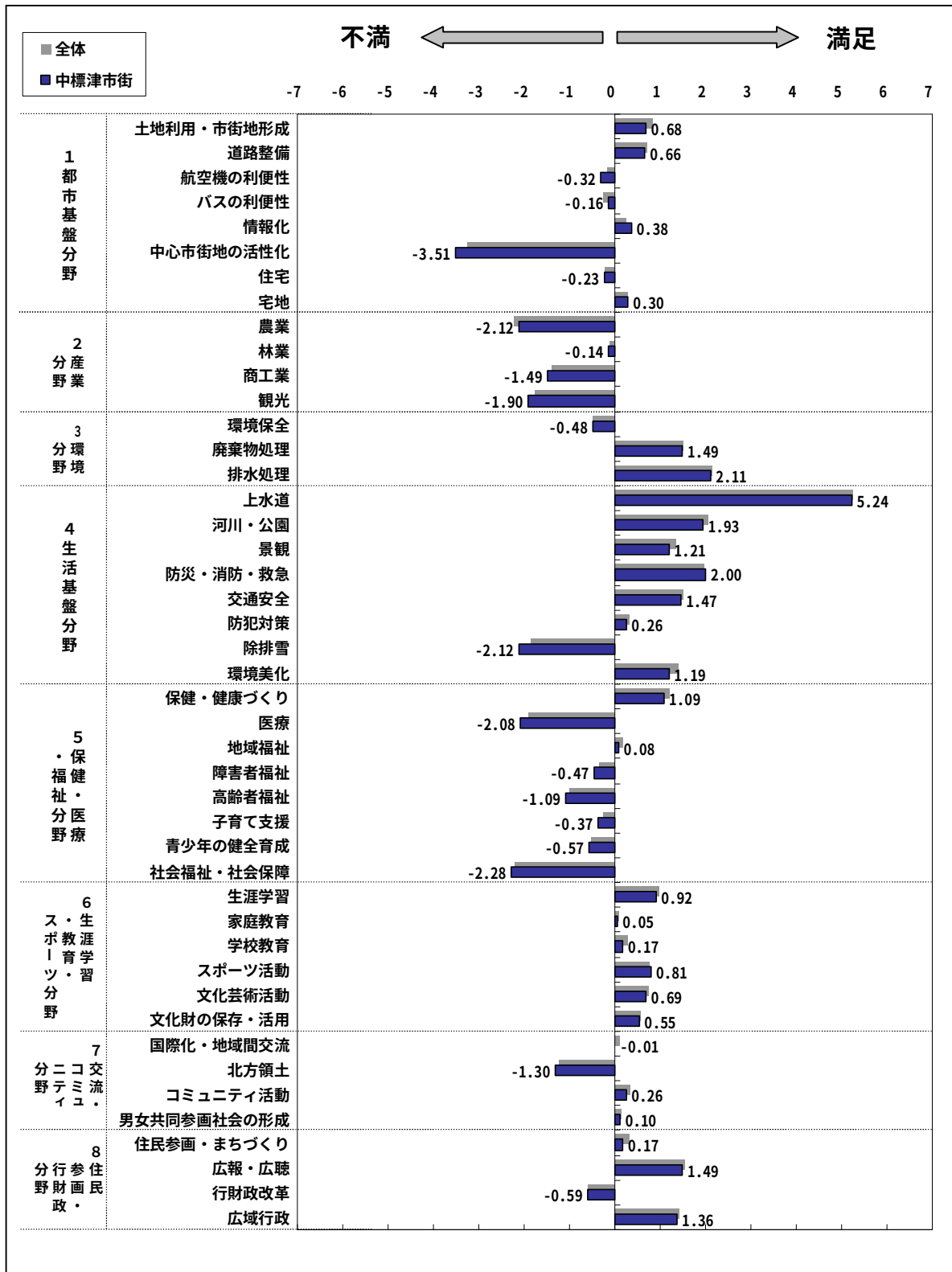
(単位：評価点)



図表 12 まちの各環境に対する満足度(中標津市街／評価点)

中標津市街

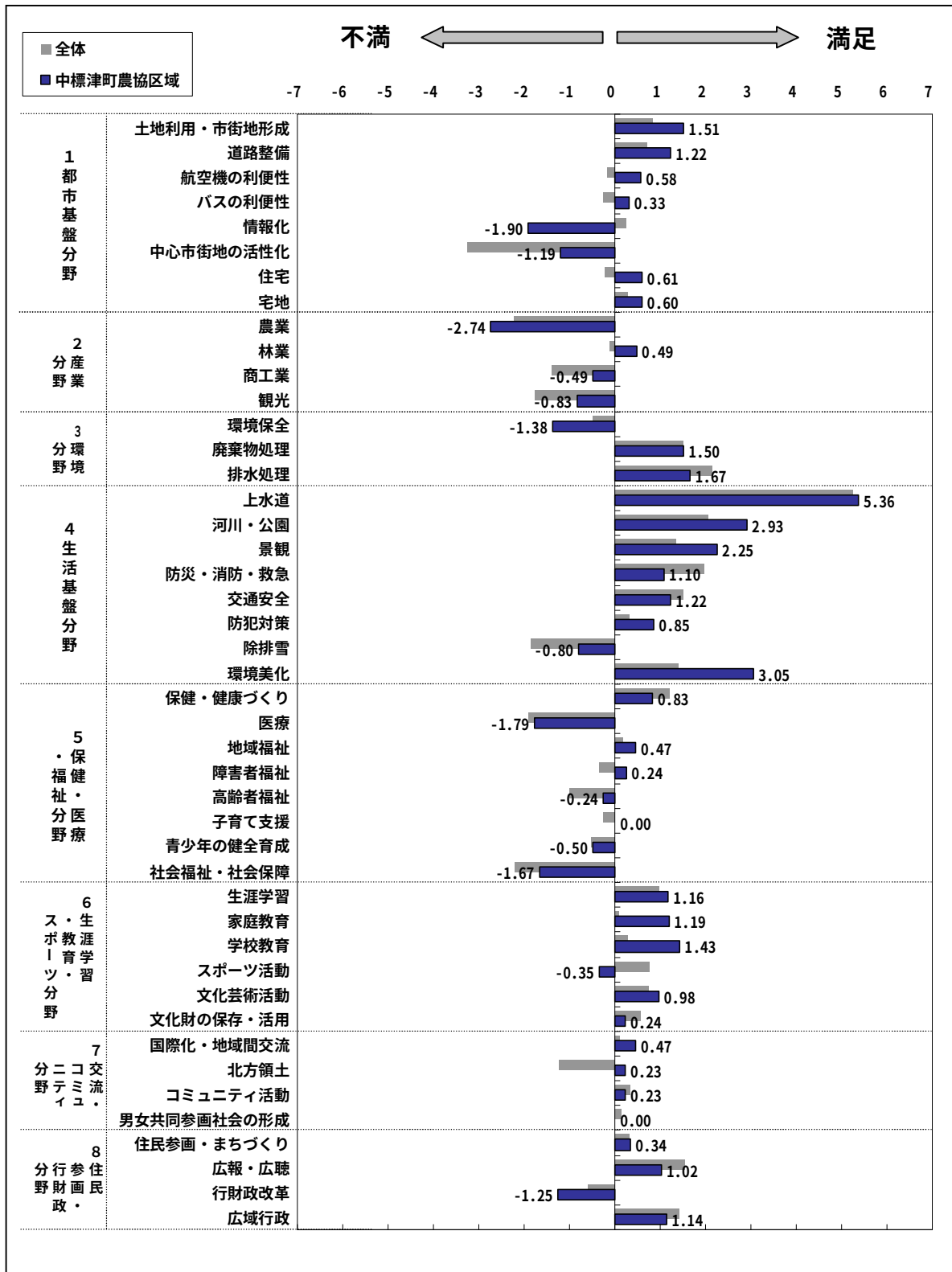
(単位：評価点)



図表 13 まちの各環境に対する満足度(中標津町農協区域／評価点)

中標津町農協区域

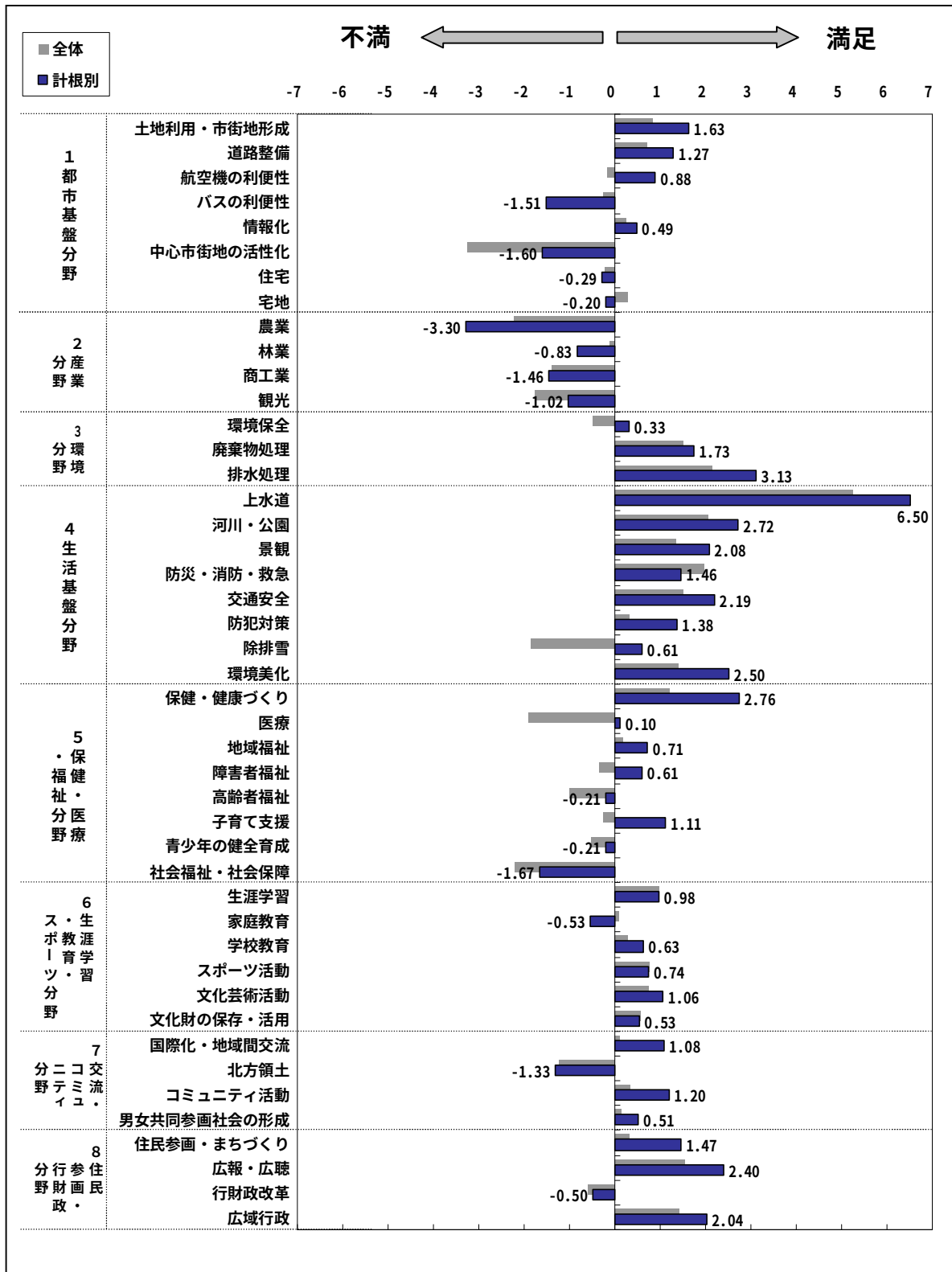
(単位：評価点)



図表 14 まちの各環境に対する満足度(計根別／評価点)

計根別

(単位：評価点)



(2) まちの各環境に対する重要度

- 重要度の最も高い項目は「医療」が第1位。次いで「除排雪」、「上水道」、「防犯対策」、「廃棄物処理」などの順。

中標津町の各環境に対する町民の重要度について、45の設問項目の傾向を、“重要である”(「重視している」及び「どちらかといえば重視している」の合計)、「どちらともいえない」、「重要でない」(「どちらかといえば重視していない」及び「重視していない」の合計)の3区分にまとめ、その比率でみていくと、“重要である”の比率が高い項目としては、「医療」(75.7%)が第1位に挙げられ、次いで第2位が「除排雪」(71.9%)、第3位が「上水道」(68.1%)と続き、以下、「廃棄物処理」(64.6%)、「防犯対策」(62.0%)などの順となっている。

さらに、加重平均値[後述参照]による評価点(重要度：最高点10点、最低点-10点)による結果をみると、重要度の最も高い項目は、「医療」(7.08点)が第1位に挙げられ、次いで「除排雪」(6.30点)、「上水道」(6.02点)が続き、以下、「防犯対策」(5.30点)、「廃棄物処理」(5.29点)の順となっている。[図表15～20参照]

中標津市街

重要度の上位3項目は第1位が「医療」(7.18点)、第2位が「除排雪」(6.34点)、第3位が「上水道」(5.93点)の順となっている。

中標津町農協区域

重要度の上位3項目は第1位が「農業」(6.46点)、第2位が「上水道」(6.34点)、第3位が「医療」(5.98点)の順となっている。

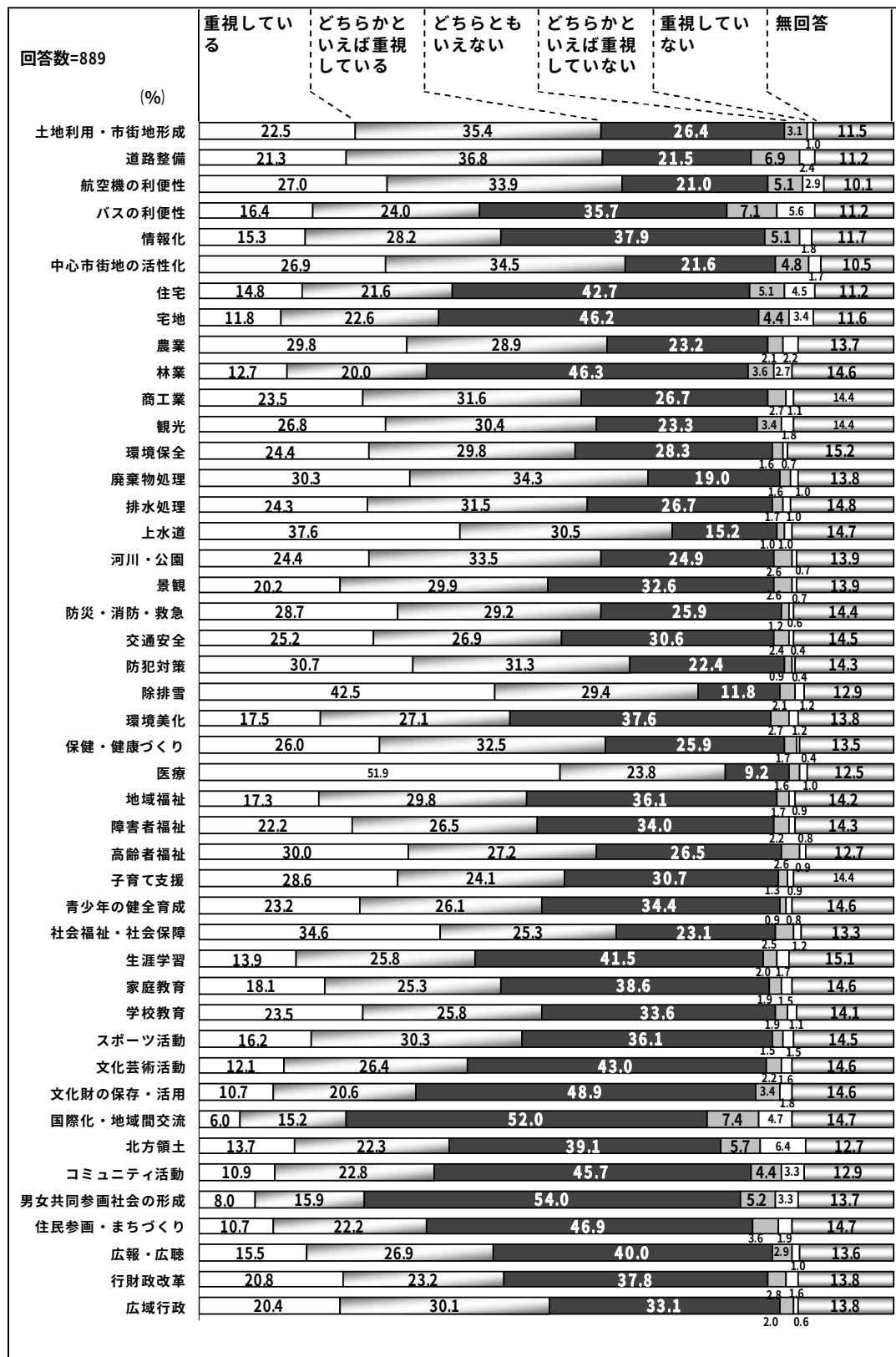
計根別

重要度の上位3項目は第1位が「除排雪」(7.23点)、第2位が「医療」(7.02点)、第3位が「上水道」(6.81点)の順となっている。

※評価点(加重平均値)の算出方法
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left[\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「どちらかといえば重視している」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかといえば重視していない」の回答者数} \times -5 \text{点} + \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right]}{\left[\begin{array}{l} \text{「重視している」、「どちらかといえば重視している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重視していない」、「重視していない」の回答者数} \end{array} \right]}$$

図表 15 まちの各環境に対する重要度(全体／%)



図表 16 まちの各環境に対する重要度(全体／%)

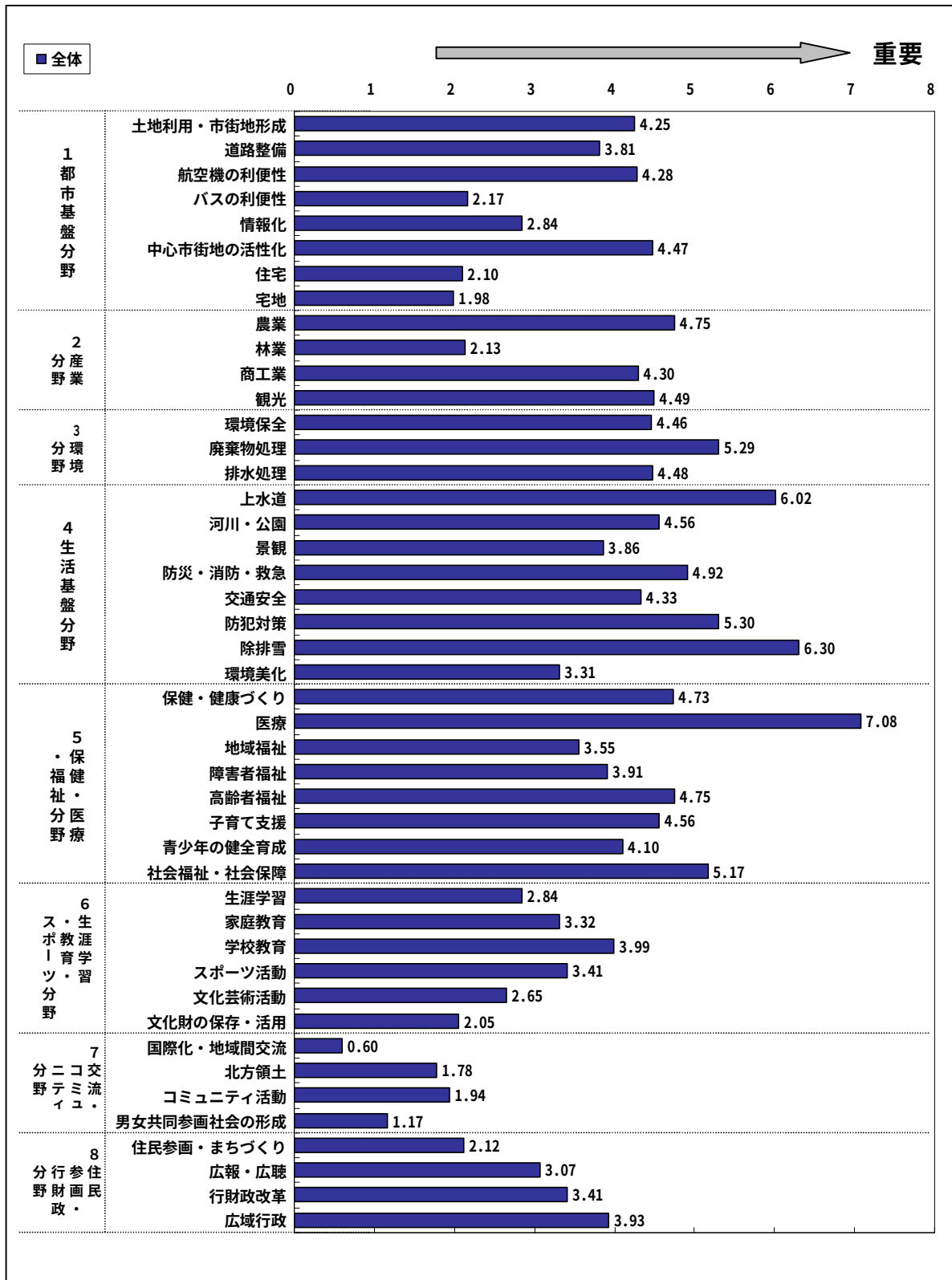
	“重要である”	どちらとも いえない	“重要でない”
1① 土地利用・市街地形成	57.9	26.4	4.1
1② 道路整備	58.1	21.5	⑤ 9.3
1③ 航空機の利便性	60.9	21.0	8.0
1④ バスの利便性	40.4	35.7	① 12.7
1⑤ 情報化	43.5	37.9	6.9
1⑥ 中心市街地の活性化	61.4	21.6	6.5
1⑦ 住宅	36.4	42.7	④ 9.6
1⑧ 宅地	34.4	46.2	7.8
2① 農業	58.7	23.2	4.3
2② 林業	32.7	46.3	6.3
2③ 商工業	55.1	26.7	3.8
2④ 観光	57.2	23.3	5.2
3① 環境保全	54.2	28.3	2.3
3② 廃棄物処理	④ 64.6	19.0	2.6
3③ 排水処理	55.8	26.7	2.7
4① 上水道	③ 68.1	15.2	2.0
4② 河川・公園	57.9	24.9	3.3
4③ 景観	50.1	32.6	3.3
4④ 防災・消防・救急	57.9	25.9	1.8
4⑤ 交通安全	52.1	30.6	2.8
4⑥ 防犯対策	⑤ 62.0	22.4	1.3
4⑦ 除排雪	② 71.9	11.8	3.3
4⑧ 環境美化	44.6	37.6	3.9
5① 保健・健康づくり	58.5	25.9	2.1
5② 医療	① 75.7	9.2	2.6
5③ 地域福祉	47.1	36.1	2.6
5④ 障害者福祉	48.7	34.0	3.0
5⑤ 高齢者福祉	57.2	26.5	3.5
5⑥ 子育て支援	52.7	30.7	2.2
5⑦ 青少年の健全育成	49.3	34.4	1.7
5⑧ 社会福祉・社会保障	59.9	23.1	3.7
6① 生涯学習	39.7	41.5	3.7
6② 家庭教育	43.4	38.6	3.4
6③ 学校教育	49.3	33.6	3.0
6④ スポーツ活動	46.5	36.1	3.0
6⑤ 文化芸術活動	38.5	43.0	3.8
6⑥ 文化財の保存・活用	31.3	48.9	5.2
7① 国際化・地域間交流	21.2	52.0	② 12.1
7② 北方領土	36.0	39.1	② 12.1
7③ コミュニティ活動	33.7	45.7	7.7
7④ 男女共同参画社会の形成	23.9	54.0	8.5
8① 町民参画・まちづくり	32.9	46.9	5.5
8② 広報・広聴	42.4	40.0	3.9
8③ 行財政改革	44.0	37.8	4.4
8④ 広域行政	50.5	33.1	2.6

※丸数字は上位項目の順位。無回答は除く。

図表 17 まちの各環境に対する重要度(全体／評価点)

全体

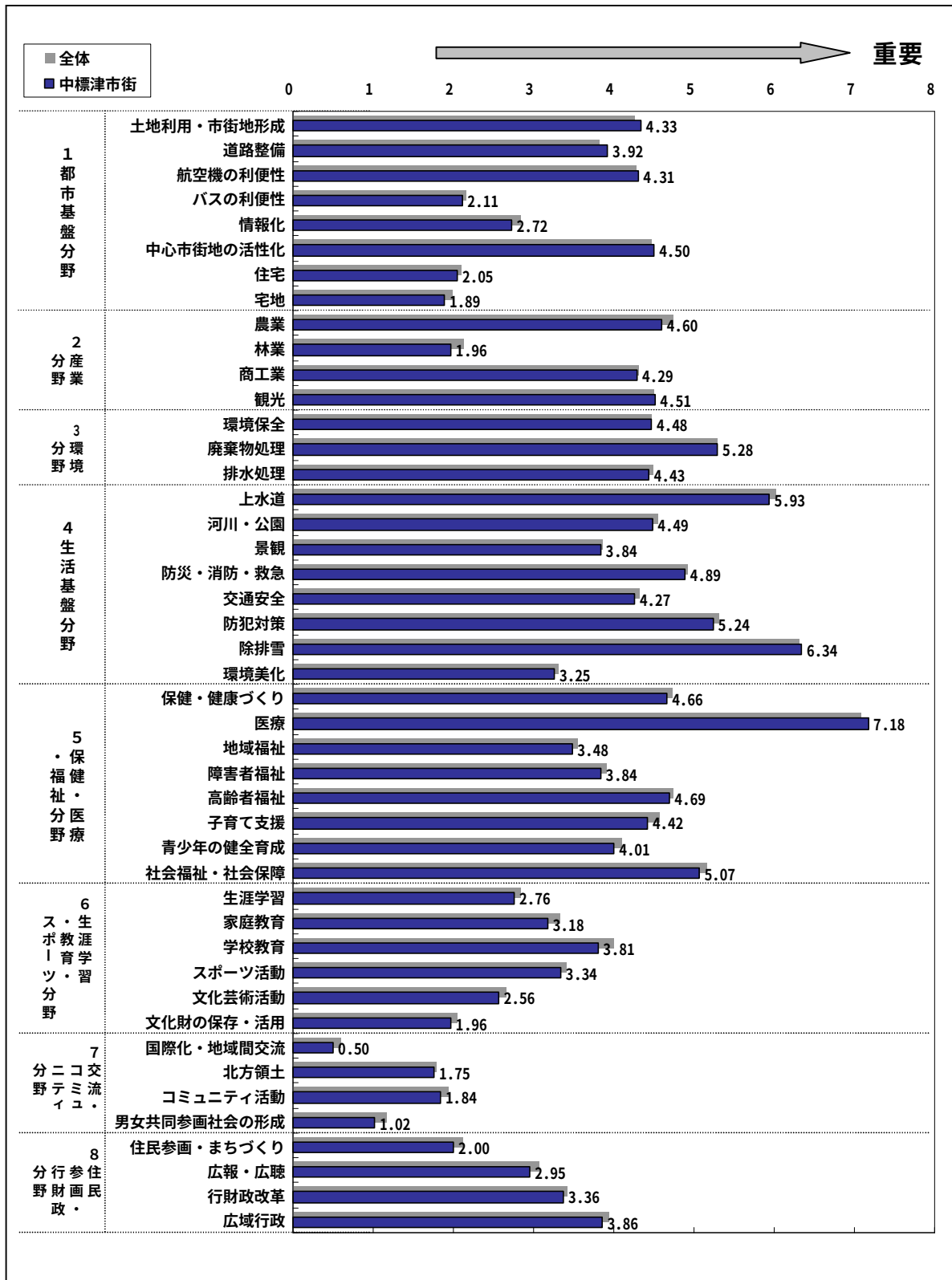
(単位：評価点)



図表 18 まちの各環境に対する重要度(中標津市街／評価点)

中標津市街

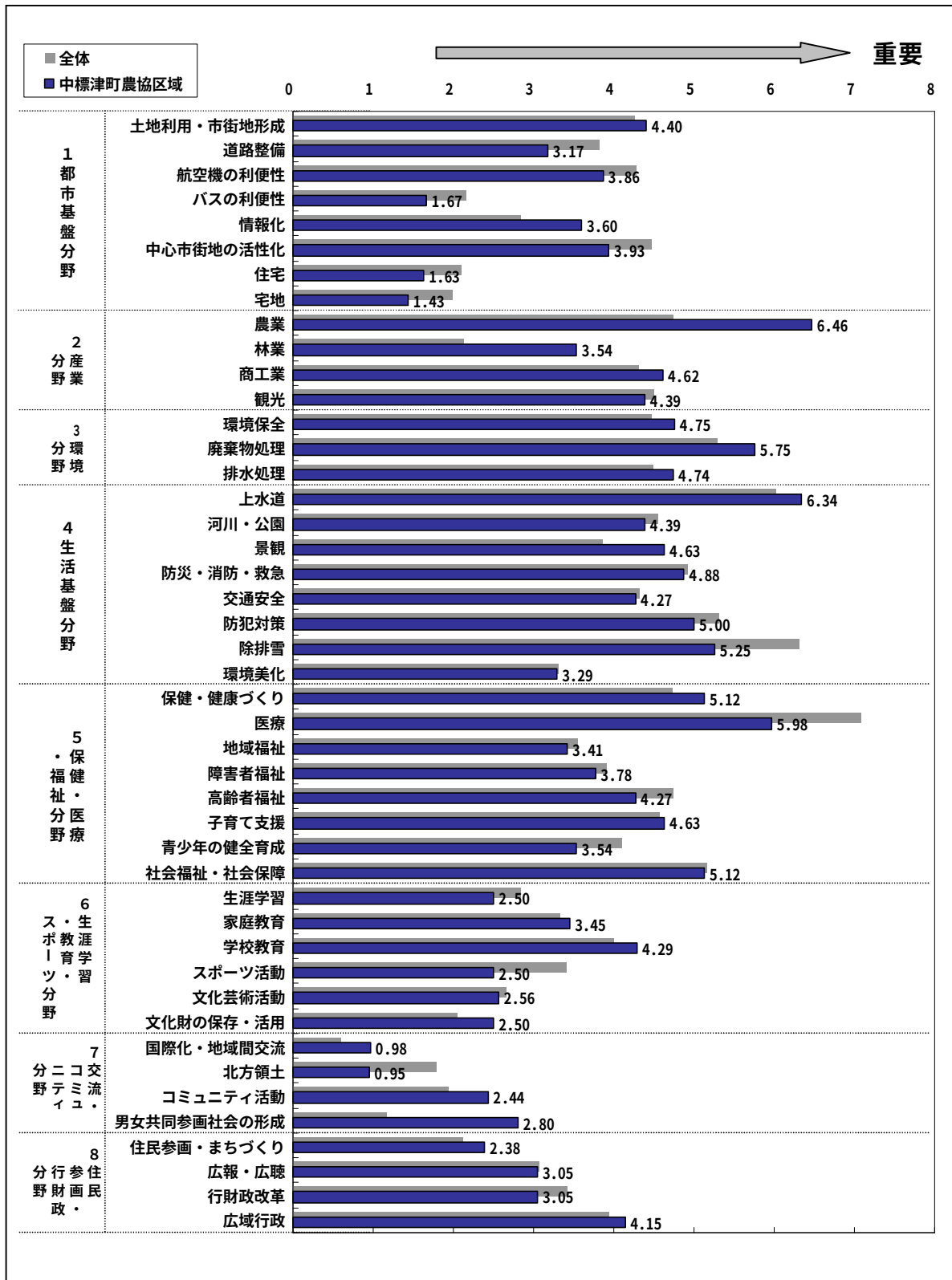
(単位：評価点)



図表 19 まちの各環境に対する重要度(中標津町農協区域／評価点)

中標津町農協区域

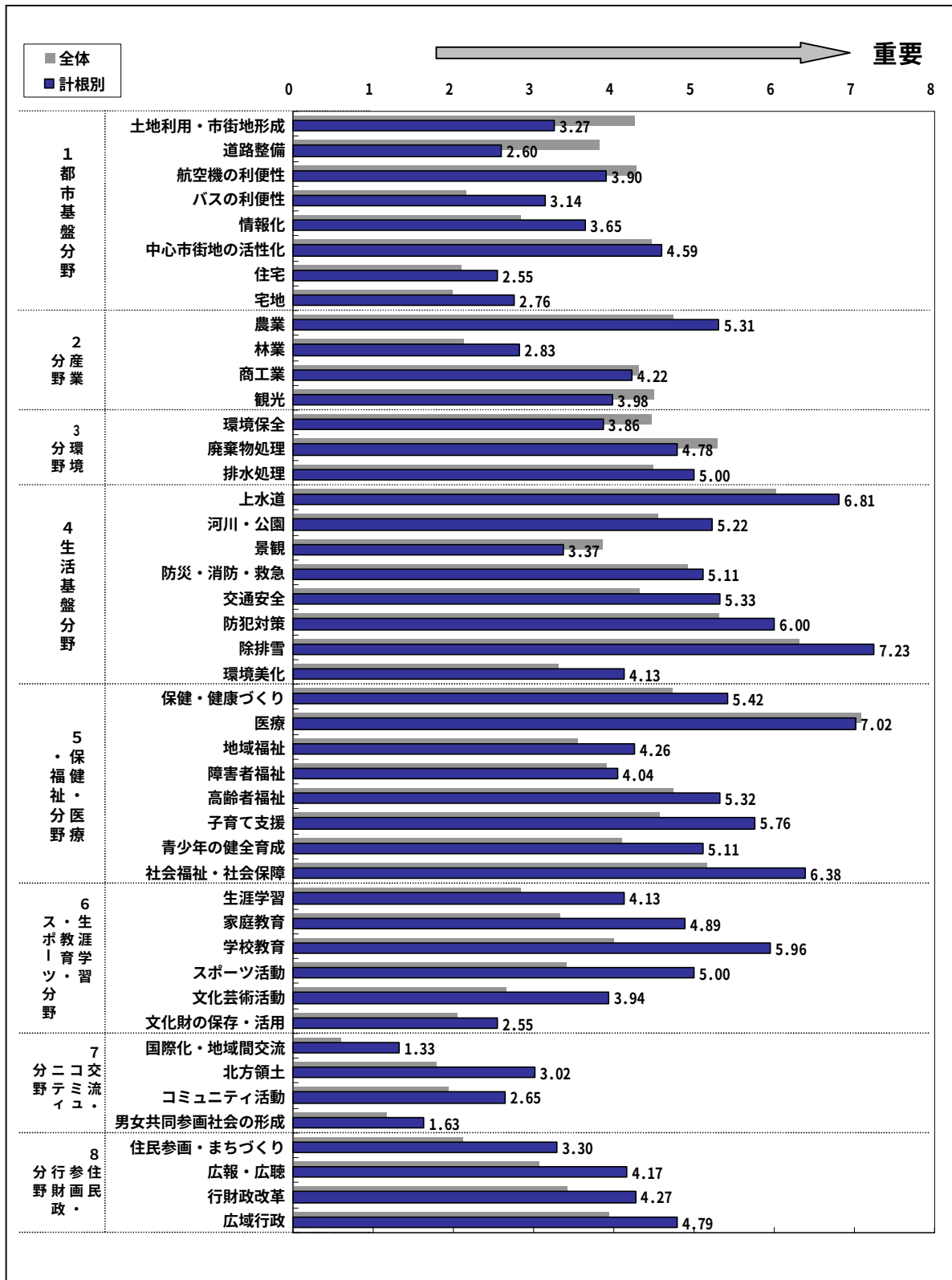
(単位：評価点)



図表 20 まちの各環境に対する重要度(計根別／評価点)

計根別

(単位：評価点)



(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

- 優先度の最も高い項目は「医療」。次いで「除排雪」、「社会福祉・社会保障」、「中心市街地の活性化」、「農業」の順。

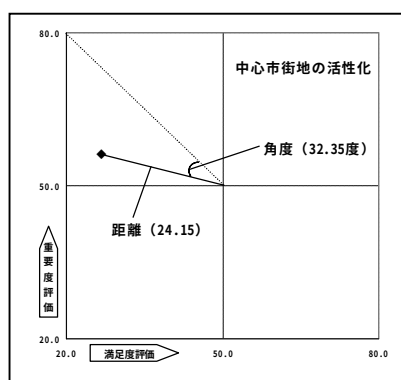
これまでみてきた満足度と重要度から、さらに町の現状評価や行政ニーズを把握するため、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成した。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなる。この散布図からの数量化[下記参照]による分析で優先度（評価点：最高点 42.43 点、中間点 0 点、最低点 -42.43 点）を算出した。

この結果をみると優先度は、「医療」（23.66 点）が第 1 位となっており、次いで「除排雪」（21.30 点）、「社会福祉・社会保障」（16.63 点）が続き、以下、「中心市街地の活性化」（15.47 点）、「農業」（13.83 点）の順となっている。[図表 21～22 参照]

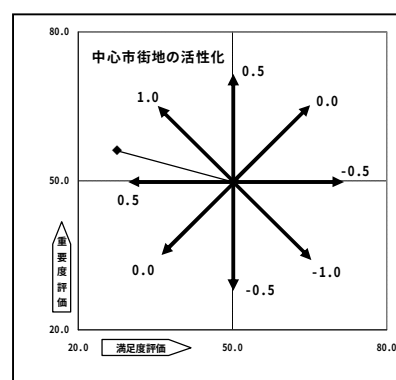
※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「中心市街地の活性化」→満足度偏差値 26.43…、重要度偏差値 55.29…
- ② ①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。
例：「中心市街地の活性化」→ $24.15\cdots = \sqrt{(26.43-50)^2 + (55.29-50)^2}$
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
例：「中心市街地の活性化」→32.35 度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）。
例：「中心市街地の活性化」→ $0.6406 = (90-32.35) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と③で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「中心市街地の活性化」→ $15.47 = 24.15\cdots \times 0.6406\cdots$

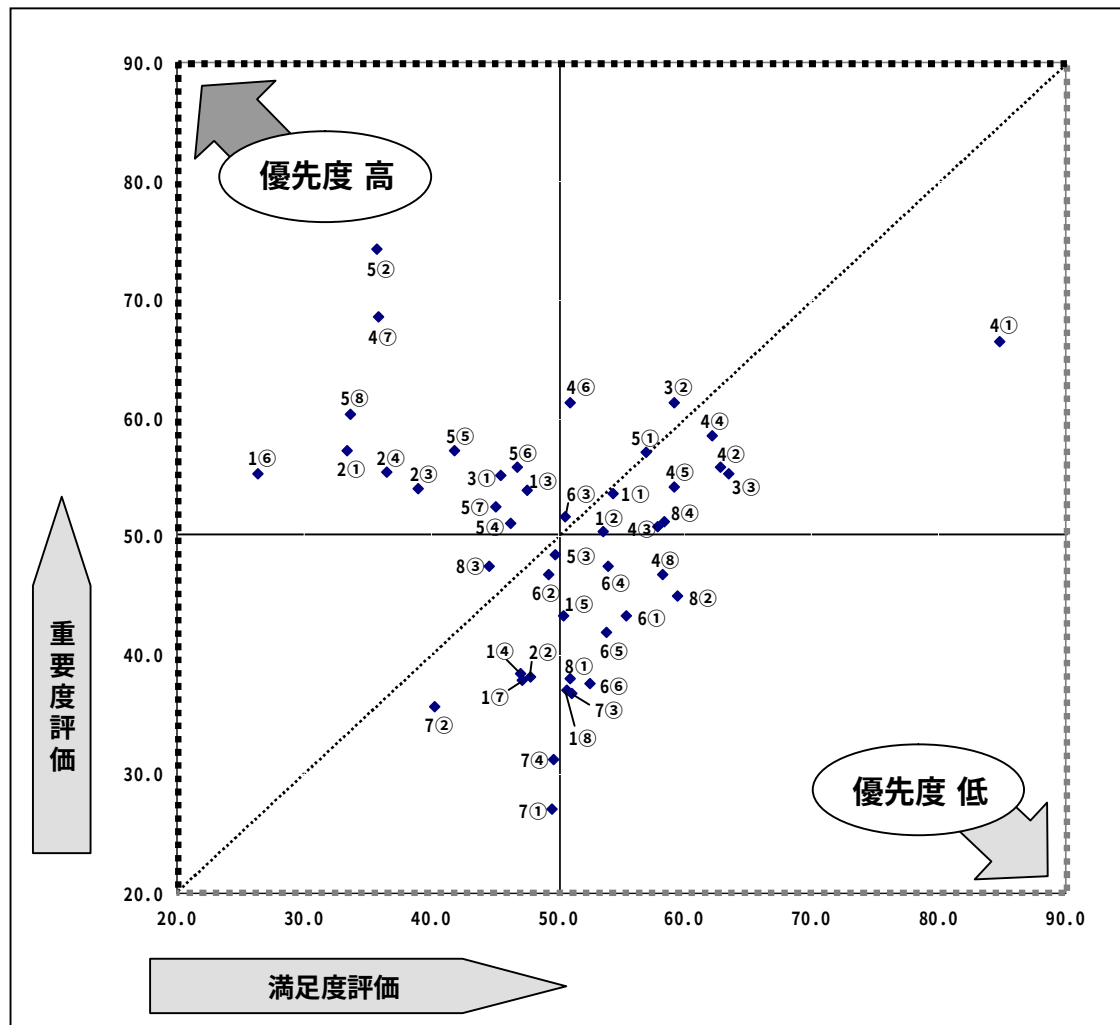
距離・角度



指数の設定



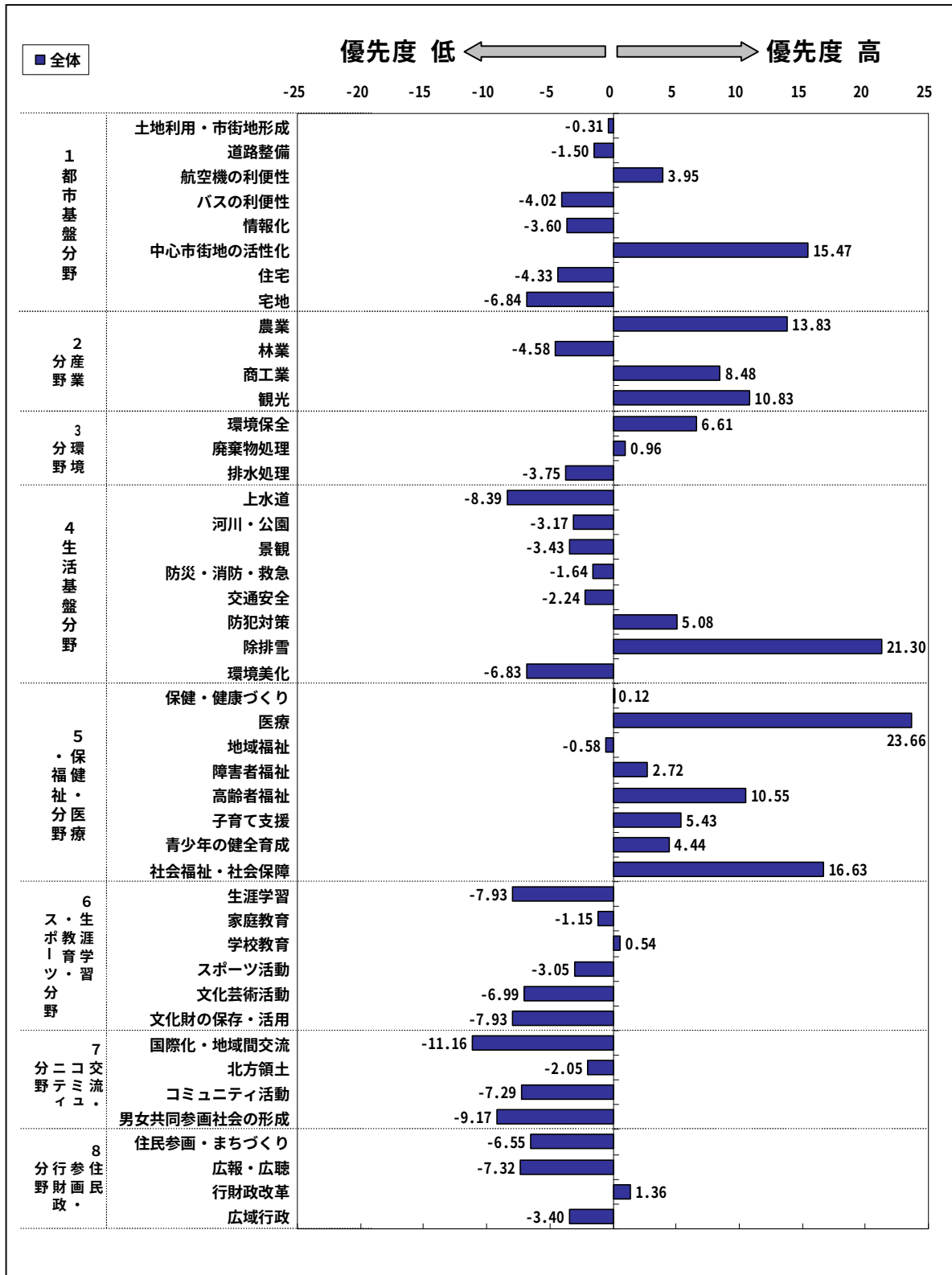
図表 21 満足度と重要度の相関（優先度）（満足度と重要度の相関、全体）



優先度高い		優先度低い	
1③航空機の利便性	1⑥中心市街地の活性化	1①土地利用・市街地形成	1②道路整備
2①農業	2③商工業	1④バスの利便性	1⑤情報化
2④観光	3①環境保全	1⑦住宅	1⑧宅地
3②廃棄物処理	4⑥防犯対策	2②林業	3③排水処理
4⑦除排雪	5①保健・健康づくり	4①上水道	4②河川・公園
5②医療	5②医療	4③景観	4④防災・消防・救急
5④障害者福祉	5⑤高齢者福祉	4⑤交通安全	4⑧環境美化
5⑥子育て支援	5⑦青少年の健全育成	5③地域福祉	6①生涯学習
5⑧社会福祉・社会保障	6③学校教育	6②家庭教育	6④スポーツ活動
8③行財政改革			
		6⑤文化芸術活動	6⑥文化財の保存・活用
		7①国際化・地域間交流	7②北方領土
		7③コミュニティ活動	7④男女共同参画社会の形成
		8①町民参画・まちづくり	8②広報・広聴
		8④広域行政	

図表 22 満足度と重要度の相関（優先度）（全体）

（単位：評価点）



(4) 全体的なまちづくりに対する満足度

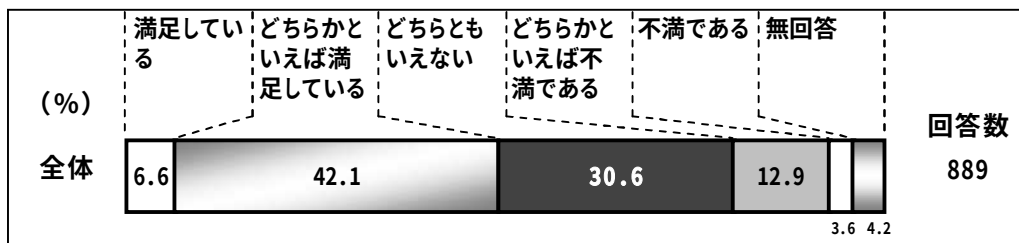
問5 あなたは、全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。



- “満足している”が48.7%、“不満である”が16.5%、「どちらともいえない」が30.6%。

全体的なまちづくりに対する満足度についてたずねたところ、「どちらかといえば満足している」と答えた人が42.1%と4割強を占め、これに「満足している」(6.6%)をあわせた“満足している”という人が48.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」12.9%及び「不満である」3.6%の合計)は16.5%となっており、全体的に満足している町民が多数を占めているといえる。なお、「どちらともいえない」は30.6%であった。[図表23 参照]

図表23 全体的なまちづくりに対する満足度（全体）

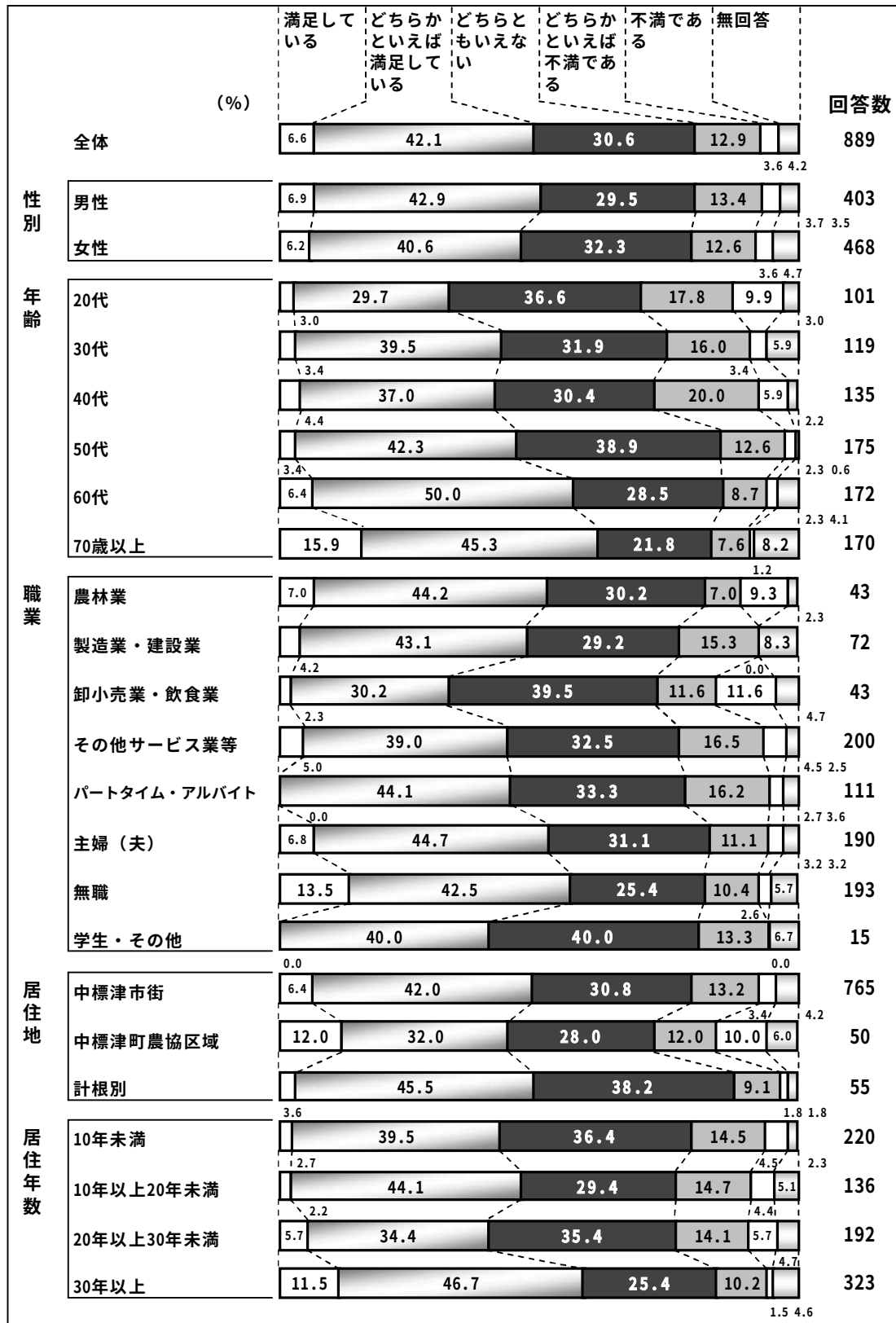


性別で“満足している”率をみると、男性(49.8%)が女性(46.8%)をやや上回っている。

年齢別では、概ね加齢とともに“満足している”率が高くなる傾向がみられ、70歳以上では“満足している”率が61.2%と6割強にのぼる。一方で20代では32.7%と3割強にとどまる結果となっている。

職業別・居住歴別・居住地別で“満足している”率の高い層をみると、職業別では無職(56.0%)、居住地では計根別(49.1%)、居住年数では30年以上(58.2%)などとなっている。[図表24 参照]

図表 24 全体的なまちづくりに対する満足度（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



3 今後のまちづくりについて

(1) 今後のまちづくりの特色について

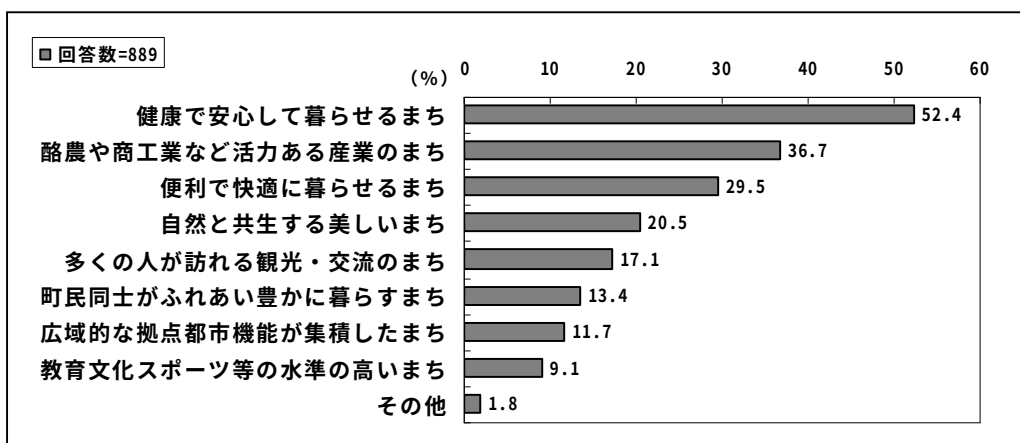
問6 あなたは、今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと思いますか。【複数回答】



- 「健康で安心して暮らせるまち」が他を引き離して第1位。

今後のまちづくりの特色をたずねたところ、「健康で安心して暮らせるまち」(52.4%)が他を引き離して第1位に挙げられ、次いで「酪農や商工業など活力ある産業のまち」(36.7%)、「便利で快適に暮らせるまち」(29.5%)、「自然と共生する美しいまち」(20.5%)、「多くの人が訪れる観光・交流のまち」(17.1%)などの順となっている。これら上位回答をみると、保健・医療・福祉の充実や第1次産業の振興を中心に、快適な住環境を重視したまちづくりが求められていることがうかがえる。[図表 25 参照]

図表 25 今後のまちづくりの特色について（全体／複数回答）



性別でみると、男性・女性ともに「健康で安心して暮らせるまち」(52.4%・47.1%)第1位となっている。

年齢別でも、すべての年代において全体と同様に「健康で安心して暮らせるまち」が第1位に挙げられている。

居住地別でみると、中標津市街では「健康で安心して暮らせるまち」(53.3%)、中標津町農協区域・計根別では「酪農や商工業など活力ある産業のまち」(52.0%・58.2%)が第1位となっている。[図表 26 参照]

図表 26 今後のまちづくりの特色について（全体、性別、年齢、居住地／複数回答）

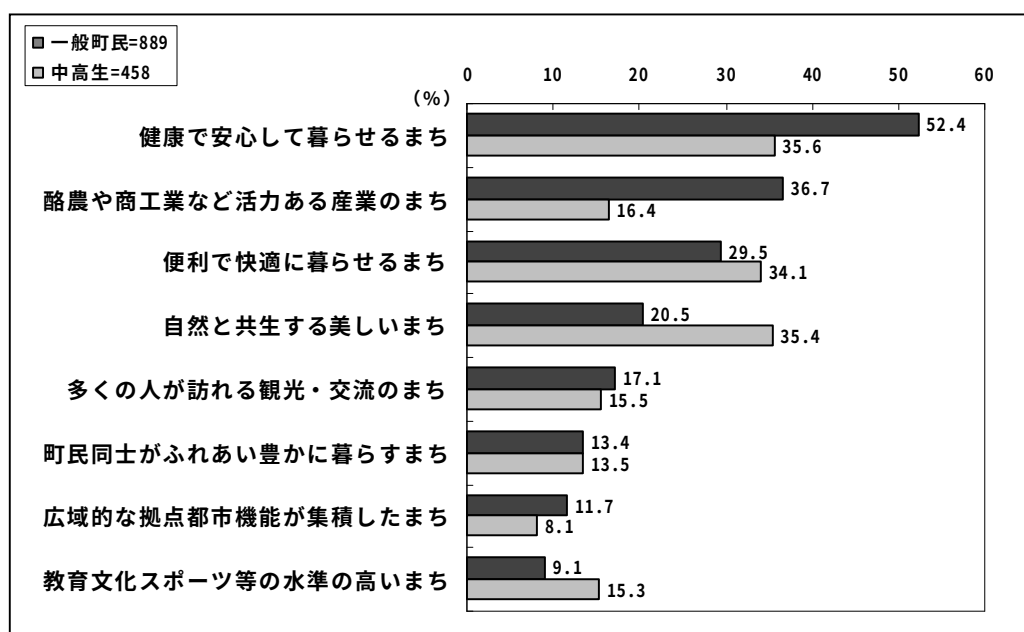
（上位3位、％）

		第1位	第2位	第3位
全体		健康で安心して暮らせるまち 52.4	酪農や商工業など活力ある産業のまち 36.7	便利で快適に暮らせるまち 29.5
性別	男性	健康で安心して暮らせるまち 47.1	酪農や商工業など活力ある産業のまち 42.4	便利で快適に暮らせるまち 28.3
	女性	健康で安心して暮らせるまち 56.6	酪農や商工業など活力ある産業のまち 32.1	便利で快適に暮らせるまち 31.4
年齢	20代	健康で安心して暮らせるまち 39.6	便利で快適に暮らせるまち 33.7	酪農や商工業など活力ある産業のまち 32.7
	30代	健康で安心して暮らせるまち 43.7	便利で快適に暮らせるまち 39.5	酪農や商工業など活力ある産業のまち 35.3
	40代	健康で安心して暮らせるまち 48.1	酪農や商工業など活力ある産業のまち 40.0	便利で快適に暮らせるまち 31.9
	50代	健康で安心して暮らせるまち 53.1	酪農や商工業など活力ある産業のまち 38.9	自然と共生する美しいまち 28.6
	60代	健康で安心して暮らせるまち 55.8	酪農や商工業など活力ある産業のまち 43.0	便利で快適に暮らせるまち 27.3
	70歳以上	健康で安心して暮らせるまち 64.1	便利で快適に暮らせるまち 30.6	酪農や商工業など活力ある産業のまち 29.4
居住地	中標津市街	健康で安心して暮らせるまち 53.3	酪農や商工業など活力ある産業のまち 34.4	便利で快適に暮らせるまち 30.5
	中標津町農協区域	酪農や商工業など活力ある産業のまち 52.0	健康で安心して暮らせるまち 44.0	便利で快適に暮らせるまち 26.0
	計根別	酪農や商工業など活力ある産業のまち 58.2	健康で安心して暮らせるまち 45.5	便利で快適に暮らせるまち 23.6

[一般町民と中高生の比較]

同様の設問を設定した「まちづくり中高生アンケート調査」と比較すると、一般町民では第1位が「健康で安心して暮らせるまち」(52.4%)、第2位が「酪農や商工業など活力ある産業のまち」(36.7%)、第3位が「便利で快適に暮らせるまち」(29.5%)となっているが、中高生では第1位が「健康で安心して暮らせるまち」(35.6%)、第2位が「自然と共生する美しいまち」(35.4%)、第3位が「便利で快適に暮らせるまち」(34.1%)が上位に挙げられ、利便性や環境への関心が強いことがうかがえる。**[図表 27 参照・中高生の結果は 129 頁参照]**

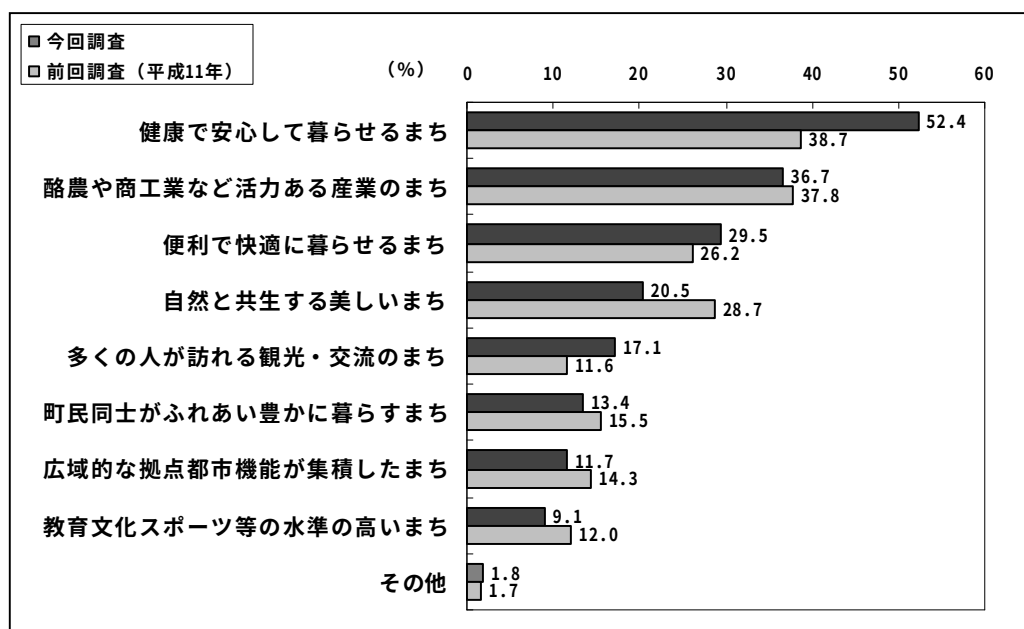
図表 27 今後のまちづくりの特色（全体、一般町民と中高生の比較）



[今回調査と前回調査（平成 11 年）との比較]

今後のまちづくりの特色を前回の調査（平成 11 年実施）と比較すると、「健康で安心して暮らせるまち」が今回・前回とも第 1 位に挙げられているが、その比率が前回の 38.7%から今回では 52.4%に大きくのびており、保健・医療・福祉、安全・安心への関心が強くなってきていることがうかがえる。[図表 28 参照]

図表 28 今後のまちづくりの特色（全体、今回調査と前回調査の比較）



4 生活環境について

(1) 今後必要な道路交通手段について

問7 あなたは、今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。【複数回答】

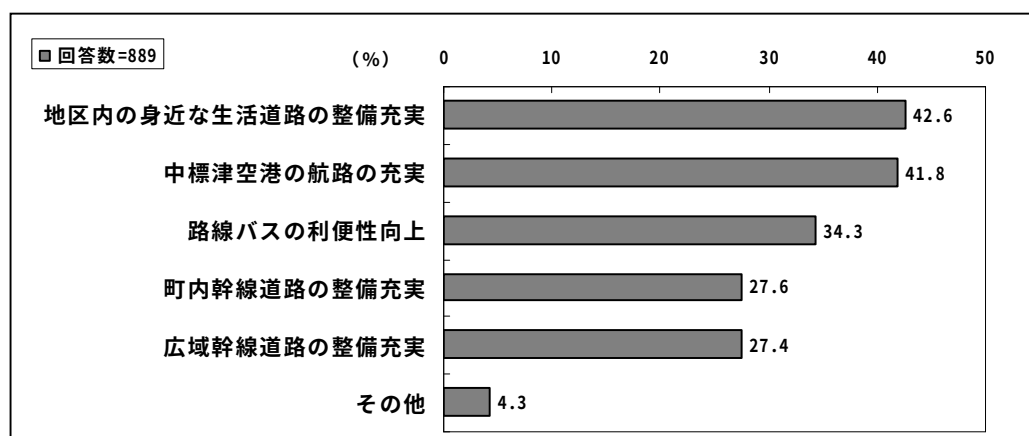


- 「地区内の身近な生活道路の整備充実」及び「中標津空港の航路の充実」が上位を占める。

町内及びその周辺で必要な道路、交通手段についてたずねたところ、「地区内の身近な生活道路の整備充実」(42.6%)及び「中標津空港の航路の充実」(41.8%)が僅差で上位を占め、次いで「路線バスの利便性向上」(34.3%)、「町内幹線道路の整備充実」(27.6%)、「広域幹線道路の整備充実」(27.4%)などの順となっている。【図表 29 参照】

これを性別、年齢別、居住地別でみてもすべての層で「地区内の身近な生活道路の整備充実」及び「中標津空港の航路の充実」が上位を占める結果となっている。

図表 29 今後必要な道路交通手段について（全体／複数回答）



(2) 今後必要な施設整備について

問8 あなたは、身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。【複数回答】



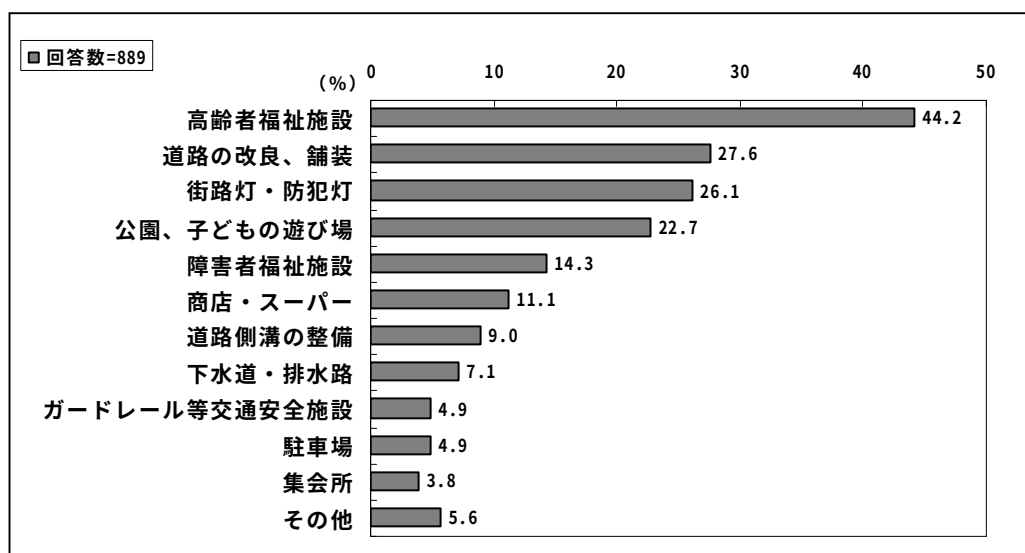
- 「高齢者福祉施設」が他を大きく引き離して第1位。次いで「道路の改良、舗装」、「街路灯・防犯灯」、「公園、子どもの遊び場」の順。

今後必要な施設整備については、「高齢者福祉施設」(44.2%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「道路の改良、舗装」(27.6%)、「街路灯・防犯灯」(26.1%)、「公園、子どもの遊び場」(22.7%)が続き、以下、「障害者福祉施設」(14.3%)、「商店・スーパー」(11.1%)、「道路側溝の整備」(9.0%)などの順となっている。

年齢別でみると、20代・30代では「公園、子どもの遊び場」、40代以上では「高齢者福祉施設」が第1位となっている。

居住地別でみると、すべての地区で「高齢者福祉施設」が第1位となっている。
[図表 30～31 参照]

図表 30 今後必要な施設整備について（全体／複数回答）



図表 31 今後必要な施設整備について（全体、年齢、居住地／複数回答）

（上位3位、％）

		第1位	第2位	第3位
全体		高齢者福祉施設 44.2	道路の改良、舗装 27.6	街路灯・防犯灯 26.1
年齢	20代	公園、子どもの遊び場 37.6	道路の改良、舗装 31.7	街路灯・防犯灯 29.7
	30代	公園、子どもの遊び場 38.7	道路の改良、舗装 31.9	街路灯・防犯灯 31.9
	40代	高齢者福祉施設 38.5	街路灯・防犯灯 35.6	道路の改良、舗装 25.2
	50代	高齢者福祉施設 52.0	街路灯・防犯灯 26.3	道路の改良、舗装 25.7
	60代	高齢者福祉施設 63.4	道路の改良、舗装 26.2	街路灯・防犯灯 24.4
	70歳以上	高齢者福祉施設 54.1	道路の改良、舗装 27.6	障害者福祉施設 14.7
居住地	中標津市街	高齢者福祉施設 43.5	街路灯・防犯灯 27.3	道路の改良、舗装 27.2
	中標津町農協区域	高齢者福祉施設 44.0	公園、子どもの遊び場 30.0	道路の改良、舗装 28.0
	計根別	高齢者福祉施設 49.1	道路の改良、舗装 34.5	公園、子どもの遊び場 18.2

(3) 自然環境や生活環境の保全について

問9 あなたは、地域の自然環境や生活環境を保全するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

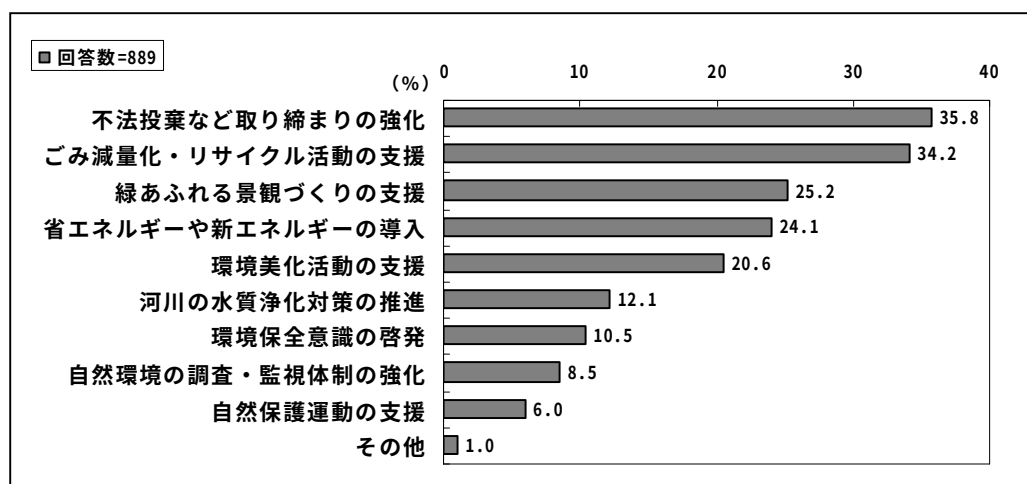


- 「不法投棄など取り締まりの強化」が第1位。次いで「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」、「緑あふれる景観づくりの支援」の順。

自然環境や生活環境を保全するために必要な取り組みについてたずねたところ、「不法投棄など取り締まりの強化」(35.8%)が第1位に挙げられ、次いで、「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」(34.2%)、「緑あふれる景観づくりの支援」(25.2%)が続き、以下、「省エネルギーや新エネルギーの導入」(24.1%)、「環境美化活動の支援」(20.6%)などの順となっている。【図表 33 参照】

居住地別でみると、中標津市街・中標津町農協区域では「不法投棄など取り締まりの強化」(35.8%・48.0%)、計根別では「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」及び「不法投棄など取り締まりの強化」(同率 29.1%)がそれぞれ第1位となっている。

図表 33 自然環境や生活環境の保全について（全体／複数回答）



(4) 高度情報化対策について

問10 あなたは、高度情報化社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

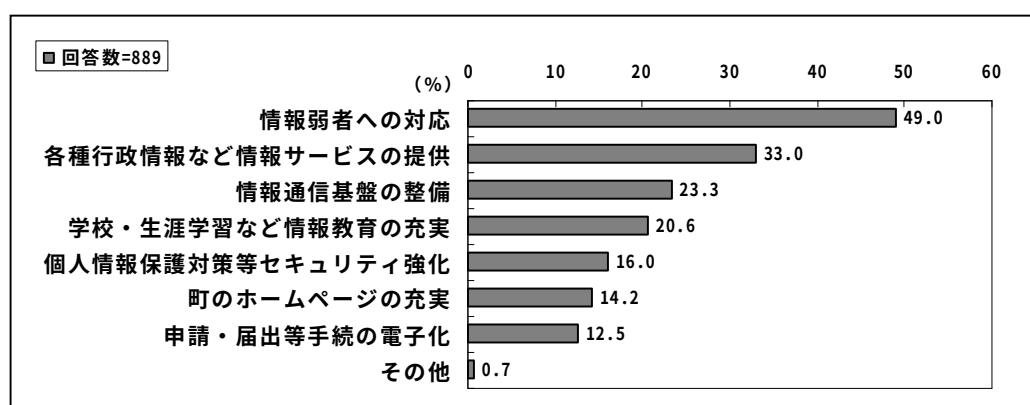


- 「情報弱者への対応」が他を大きく引き離して第1位。次いで「各種行政情報など情報サービスの提供」、「情報通信基盤の整備」の順。

高度情報化対策で重視すべき点をたずねたところ、「情報弱者への対応」(49.0%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「各種行政情報など情報サービスの提供」(33.0%)、「情報通信基盤の整備」(23.3%)、「学校・生涯学習など情報教育の充実」(20.6%)、「個人情報保護対策等セキュリティ強化」(16.0%)などの順となっている。[図表 34 参照]

これを性別、年齢別、居住地別でみても全体と同様にすべての層で「情報弱者への対応」が第1位となっている。

図表 34 高度情報化対策について（全体／複数回答）



(5) 消防・防災対策について

問11 あなたは、町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

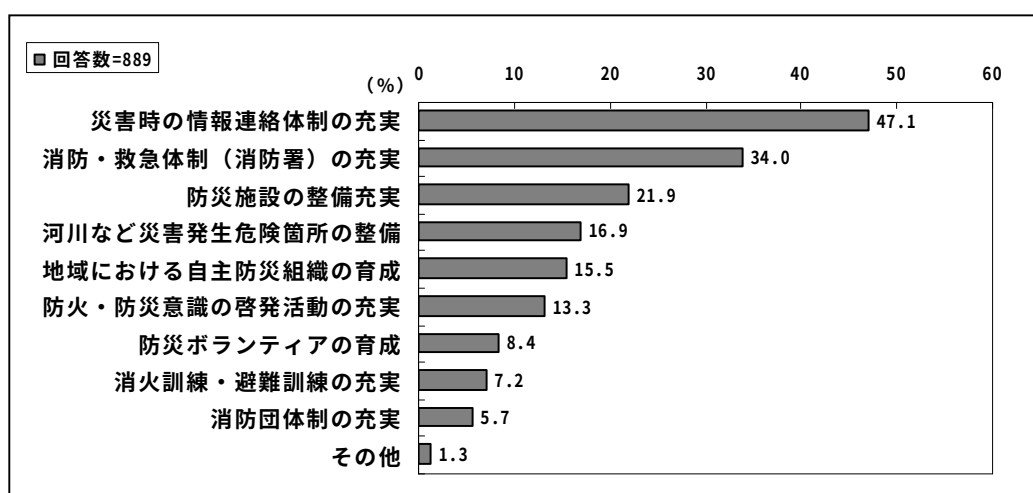


- 「災害時の情報連絡体制の充実」が他を引き離して第1位。次いで「消防・救急体制（消防署）の充実」、「防災施設の整備充実」の順。

消防・防災対策で重視すべき点をたずねたところ、「災害時の情報連絡体制の充実」(47.1%)が他を引き離して第1位に挙げられ、次いで「消防・救急体制（消防署）の充実」(34.0%)、「防災施設の整備充実」(21.9%)、「河川など災害発生危険箇所の整備」(16.9%)、「地域における自主防災組織の育成」(15.5%)などの順となっている。[図表 35 参照]

居住地別でみると、中標津市街・計根別では「災害時の情報連絡体制の充実」(48.8%・41.8%)、中標津町農協区域では「消防・救急体制（消防署）の充実」(40.0%)がそれぞれ第1位となっている。

図表 35 消防・防災対策について（全体／複数回答）



5 産業振興について

(1) 農業の振興で力を入れるべきこと

問12 あなたは、町の農業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】

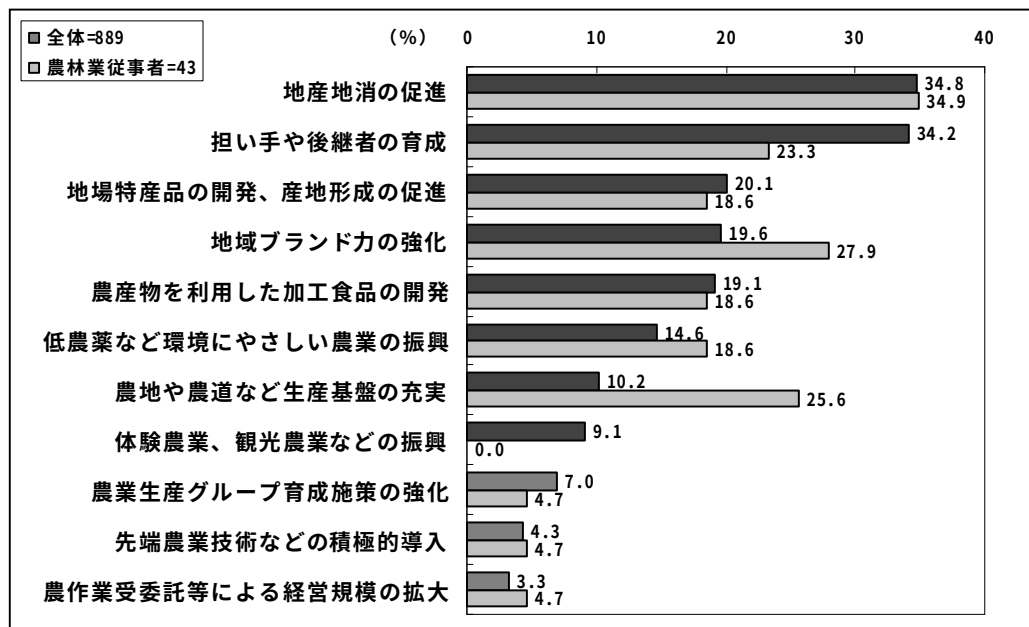


- 「地産地消の促進」及び「担い手や後継者の育成」が僅差で上位を占め、次いで「地場特産品の開発、産地形成の促進」の順。
- 農林業従事者では「地産地消の促進」が第1位。次いで「地域ブランド力の強化」、「農地や農道など生産基盤の充実」の順。

農業の振興については、「地産地消の促進」(34.8%)及び「担い手や後継者の育成」(34.2%)が僅差で上位を占め、次いで「地場特産品の開発、産地形成の促進」(20.1%)、「地域ブランド力の強化」(19.6%)、「農産物を利用した加工食品の開発」(19.1%)などの順となっている。

これに対し、職業別の農林業従事者(全体の4.8%・43人)の回答をみると、第1位が「地産地消の促進」(34.9%)、第2位が「地域ブランド力の強化」(27.9%)、第3位が「農地や農道など生産基盤の充実」(25.6%)と続く。全体と比較すると、地産地消や地域ブランドの確立、基盤整備への要望が強い結果となっている。[図表 36 参照]

図表 36 農業の振興で力を入れるべきこと（全体、農林業従事者／複数回答）



(2) 商業振興で力を入れるべきこと

問13 あなたは、町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】



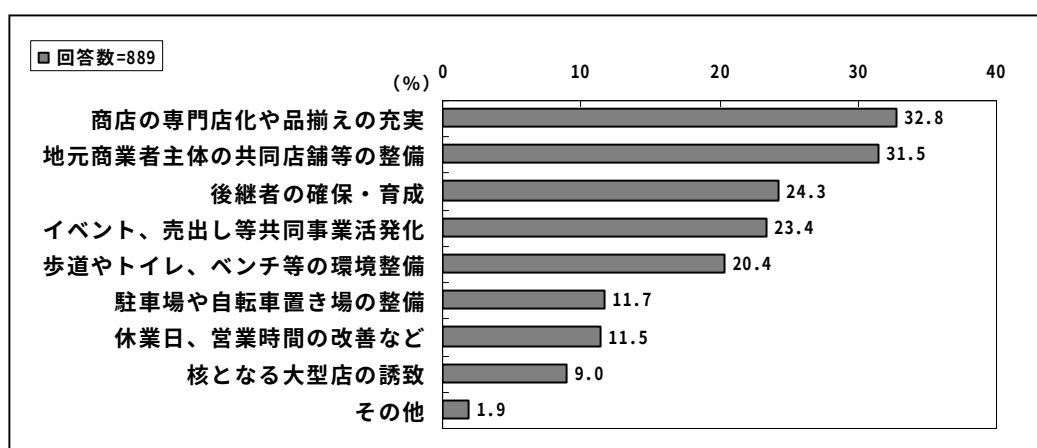
- 「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位。次いで「地元商業者主体の共同店舗等の整備」、「後継者の確保・育成」の順。

商業の振興については、「商店の専門店化や品揃えの充実」(32.8%)が第1位に挙げられ、次いで「地元商業者主体の共同店舗等の整備」(31.5%)、「後継者の確保・育成」(24.3%)、「イベント、売出し等共同事業活発化」(23.4%)、「歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備」(20.4%)などの順となっている。[図表 37 参照]

性別でみると、男性で「地元商業者主体の共同店舗等の整備」(38.2%)、女性では「商店の専門店化や品揃えの充実」(33.5%)がそれぞれ第1位となっている。

年齢別でみると、20代・30代・40代では「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位となっているが、50代・60代・70歳以上では「地元商業者主体の共同店舗等の整備」が第1位に挙げられており、年齢層によって重視すべき商業振興策に違いがみられる。

図表 37 商業振興で力を入れるべきこと（全体／複数回答）



(3) 観光の振興で力を入れるべきこと

問14 あなたは、町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】



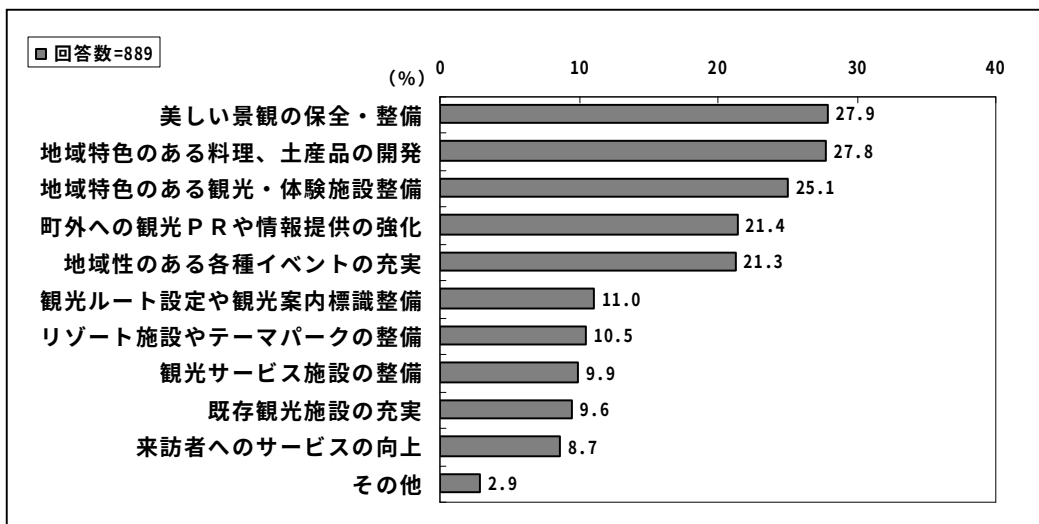
- 「美しい景観の保全・整備」及び「地域特色のある料理、土産品の開発」が僅差で上位を占める。

観光の振興については、「美しい景観の保全・整備」(27.9%)及び「地域特色のある料理、土産品の開発」(27.8%)が僅差で上位を占めており、次いで「地域特色のある観光・体験施設整備」(25.1%)、「町外への観光PRや情報提供の強化」(21.4%)、「地域性のある各種イベントの充実」(21.3%)などの順となっている。

[図表 38 参照]

これを居住地別でも、すべての居住地で「美しい景観の保全・整備」が第1位となっている。

図表 38 観光の振興で力を入れるべきこと（全体／複数回答）



6 保健・医療・福祉について

(1) 保健・医療対策について

問15 あなたは、町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

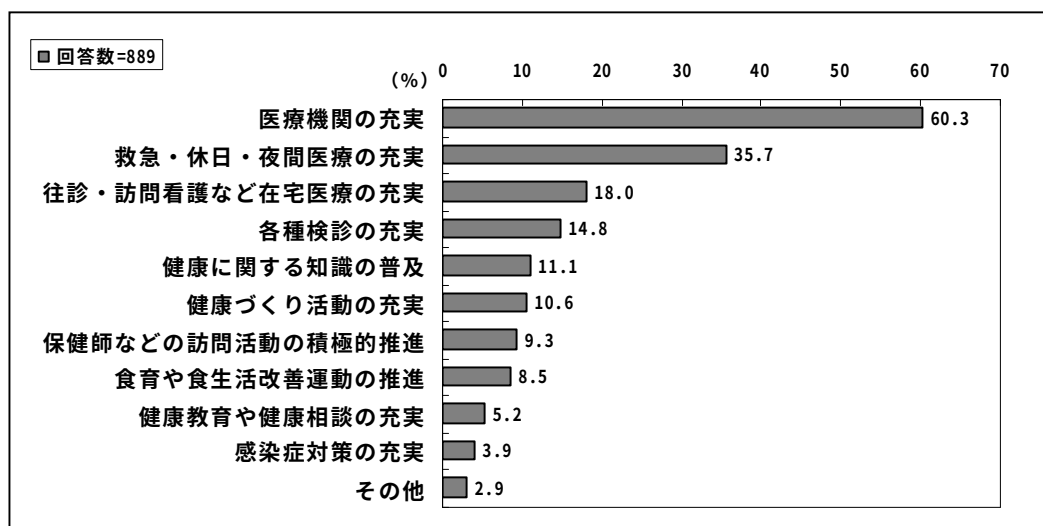


- 「医療機関の充実」が他を大きく引き離して第1位。

保健・医療対策について重点的に取り組むべき施策をたずねたところ、「医療機関の充実」(60.3%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、町内における医療機関への要望が強い結果となっている。次いで「救急・休日・夜間医療の充実」(35.7%)、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」(18.0%)、「各種検診の充実」(14.8%)などの順となっている。[図表 39 参照]

これを性別、年齢別、居住地別でも、全体と同様にすべての層で「医療機関の充実」が第1位となっている。

図表 39 保健・医療対策について（全体／複数回答）



(2) 子育て環境について

問16 あなたは、町の子育て環境を充実するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】



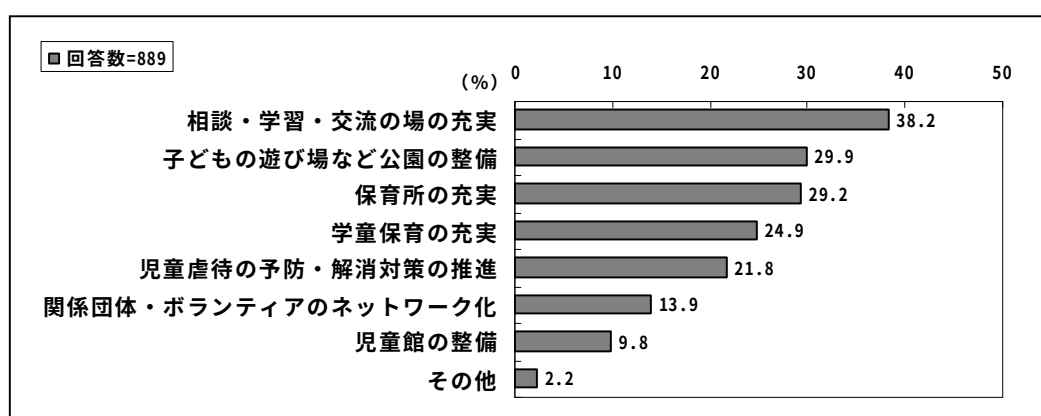
- 「相談・学習・交流の場の充実」が第1位。次いで「子どもの遊び場など公園の整備」、「保育所の充実」の順。

子育て環境の充実のために重視すべき施策についてたずねたところ、「相談・学習・交流の場の充実」(38.2%)が第1位に挙げられ、子育て相談・交流の場の充実が求められていることがうかがえる。次いで「子どもの遊び場など公園の整備」(29.9%)、「保育所の充実」(29.2%)が続き、以下、「学童保育の充実」(24.9%)、「児童虐待の予防・解消対策の推進」(21.8%)などの順となっている。

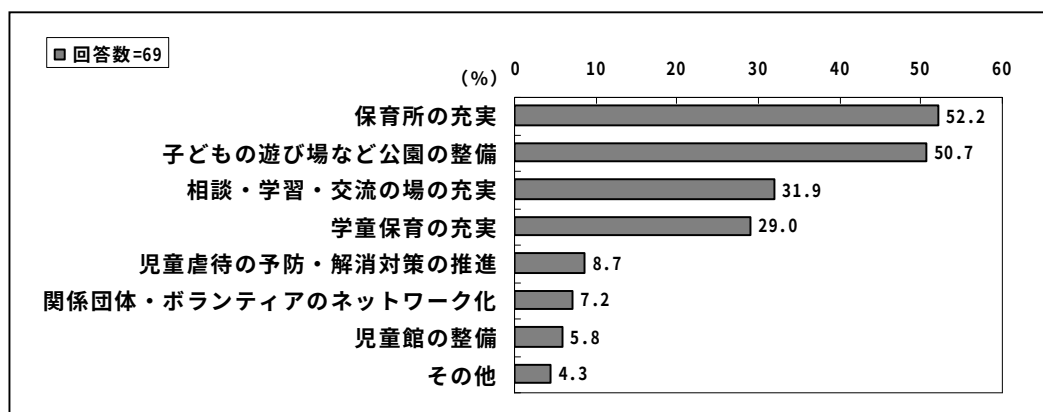
これを家族構成でみると、乳児のいる家庭では、「保育所の充実」(52.2%)及び「子どもの遊び場など公園の整備」(50.7%)が僅差で上位を占め、幼稚園児・保育園児がいる家庭、小学生・中学生がいる家庭では「子どもの遊び場など公園の整備」及び「保育所の充実」、「学童保育の充実」が上位を占める結果となっている。

[図表 40～43 参照]

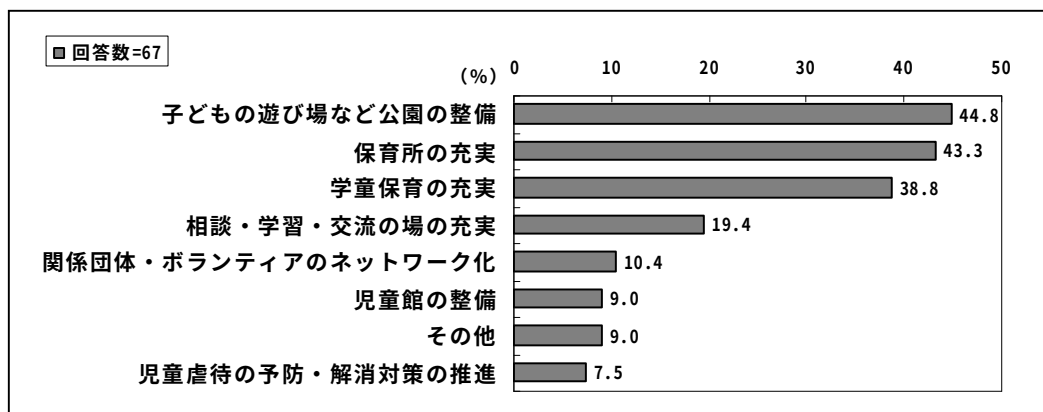
図表 40 子育て環境について（全体／複数回答）



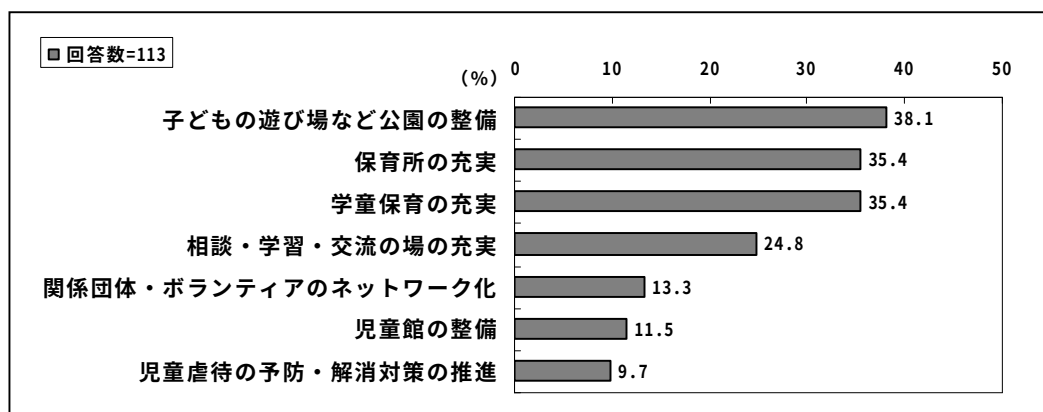
図表 41 子育て環境について（乳児がいる家庭／複数回答）



図表 42 子育て環境について（幼稚園児・保育園児がいる家庭／複数回答）



図表 43 子育て環境について（小学生・中学生がいる家庭／複数回答）



(3) 高齢者施策について

問17 あなたは、町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

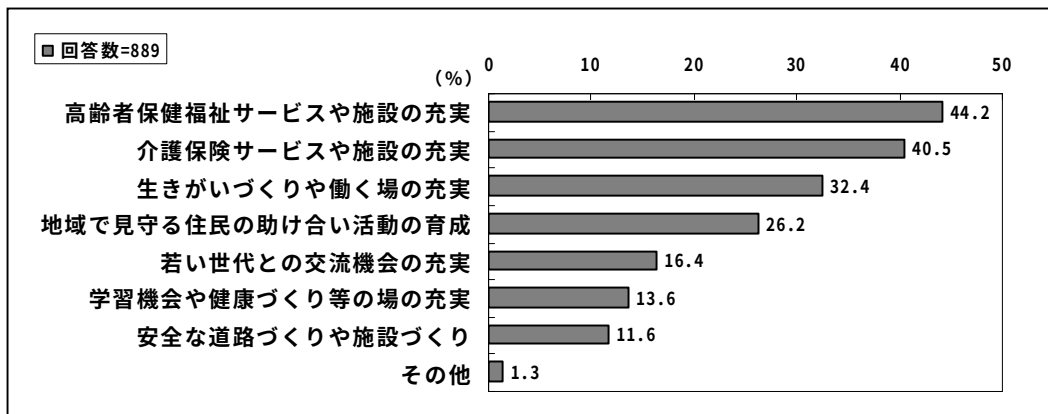


- 「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」が第1位。次いで「介護保険サービスや施設の充実」、「生きがいづくりや働く場の充実」の順。

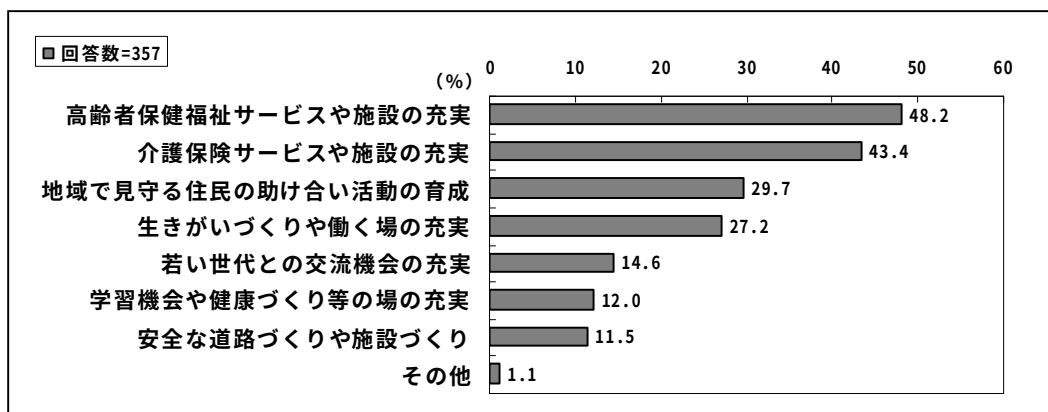
高齢者施策のために重視すべき施策についてたずねたところ、「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」(44.2%)が第1位に挙げられ、次いで「介護保険サービスや施設の充実」(40.5%)、「生きがいづくりや働く場の充実」(32.4%)が続き、介護サービスの充実を中心に、保健福祉サービスや生きがいづくりが求められていることがうかがえる。

これを65歳以上の高齢者のいる家庭の回答をみると、全体の傾向とほぼ同様の傾向を示しているが、「地域で見守る住民の助け合い活動の育成」(29.7%)が第3位に挙げられている。[図表44～45 参照]

図表44 高齢者施策について（全体／複数回答）



図表45 高齢者施策について（高齢者のいる家庭／複数回答）



7 教育・文化・スポーツについて

(1) 豊かな人間教育のために必要なこと

問18 あなたは、子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

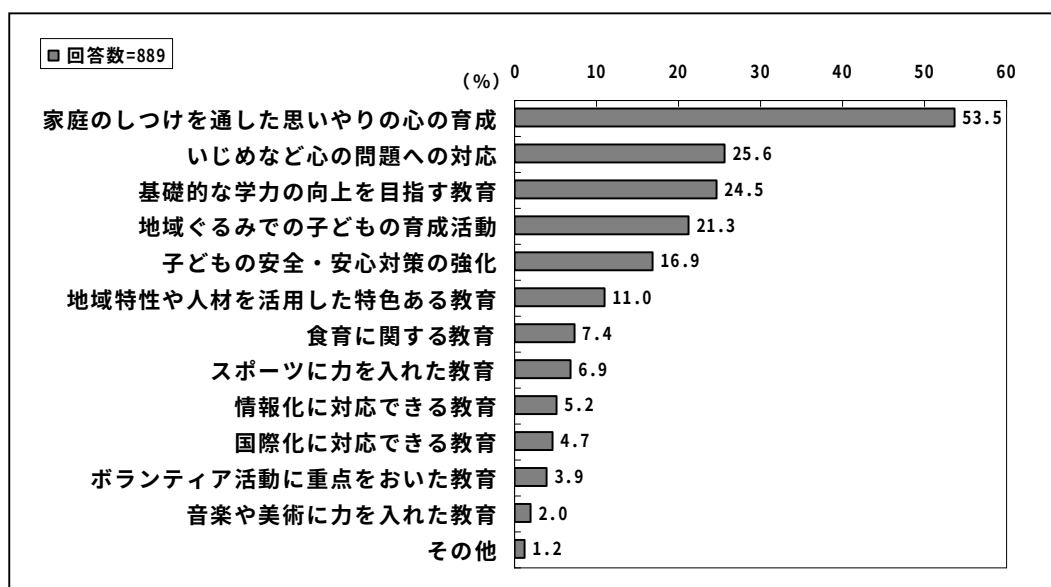


- 「家庭のしつけを通した思いやりの心の育成」が他を大きく引き離して第1位。

豊かな人間教育のために必要な取り組みについてたずねたところ、「家庭のしつけを通した思いやりの心の育成」(53.5%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、家庭での教育が重要であると認識されていることがうかがえる。次いで「いじめなど心の問題への対応」(25.6%)、「基礎的な学力の向上を目指す教育」(24.5%)、「地域ぐるみでの子どもの育成活動」(21.3%)、「子どもの安全・安心対策の強化」(16.9%)、「地域特性や人材を活用した特色ある教育」(11.0%)などの順となっている。[図表 46 参照]

これを性別、年齢別でみてもすべての層で全体と同様に「家庭のしつけを通した思いやりの心の育成」が第1位となっている。

図表 46 豊かな人間教育のために必要なこと（全体／複数回答）



(2) 生涯学習・文化活動の活発化に必要なこと

問19 あなたは、生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

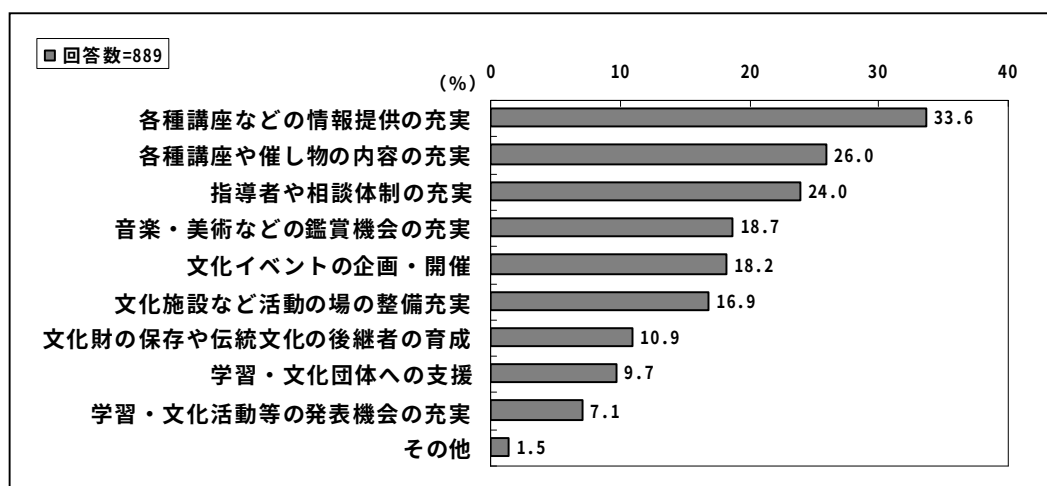


- 「各種講座などの情報提供の充実」が第1位。次いで「各種講座や催し物の内容の充実」、「指導者や相談体制の充実」の順。

生涯学習活動・文化活動の活発化に必要なことは、「各種講座などの情報提供の充実」(33.6%)が第1位に挙げられ、次いで「各種講座や催し物の内容の充実」(26.0%)、「指導者や相談体制の充実」(24.0%)などが続き、特にソフト面での充実が上位に挙げられている。その他では「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」(18.7%)、「文化イベントの企画・開催」(18.2%)、「文化施設など活動の場の整備充実」(16.9%)などの順となっている。[図表 47 参照]

これを性別、年齢別でみてもほとんどの層で「各種講座などの情報提供の充実」が第1位となっているが、年齢別の60代・70歳以上では「指導者や相談体制の充実」が第1位となっている。

図表 47 生涯学習・文化活動の活発化に必要なこと（全体／複数回答）



(3) スポーツ活動の活発化に必要なこと

問20 あなたは、スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】



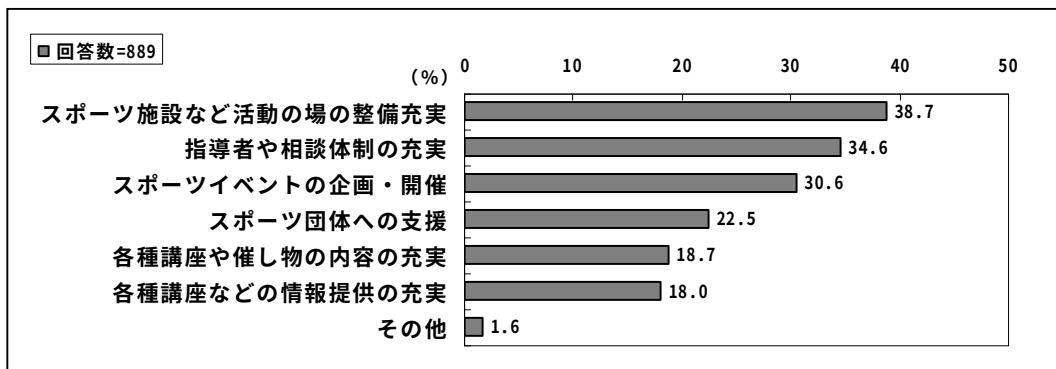
- 「スポーツ施設など活動の場の整備充実」が第1位。次いで「指導者や相談体制の充実」、「スポーツイベントの企画・開催」の順。

スポーツ活動の活発化に必要な取り組みについてたずねたところ、「スポーツ施設など活動の場の整備充実」(38.7%)が第1位に挙げられ、次いで「指導者や相談体制の充実」(34.6%)、「スポーツイベントの企画・開催」(30.6%)が続き、施設などのハード面での充実とともに、指導者の確保、イベントの企画などソフト面の充実も求められていることがうかがえる。その他では「スポーツ団体への支援」(22.5%)、「各種講座や催し物の内容の充実」(18.7%)などの順となっている。

【図表 48 参照】

これを年齢別でみると、20代では「スポーツイベントの企画・開催」(47.5%)、30代・50代・70歳以上では「スポーツ施設など活動の場の整備充実」(44.5%・38.9%・37.6%)、40代・60代では「指導者や相談体制の充実」(36.3%・37.8%)が第1位となっている。

図表 48 スポーツ活動の活発化に必要なこと（全体／複数回答）



8 男女共同参画について

(1) 男女共同参画社会の形成のために必要なこと

問21 あなたは、男女共同参画社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

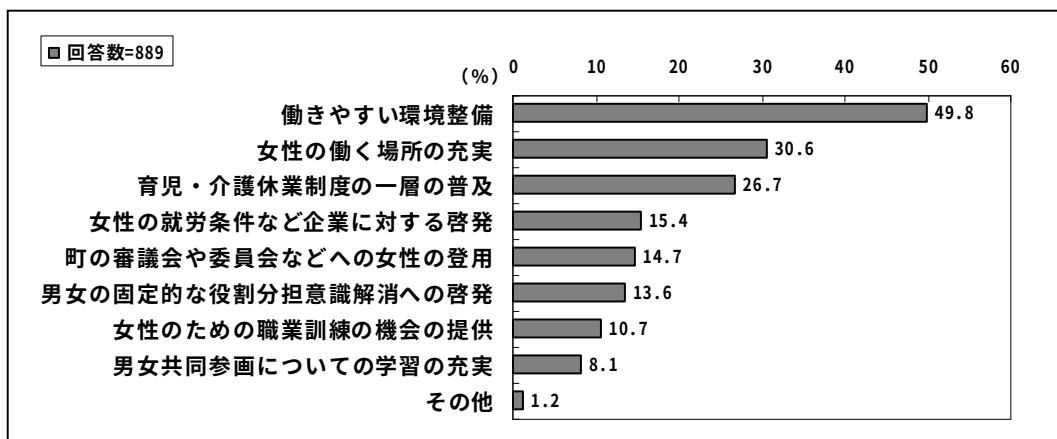


- 「働きやすい環境整備」が他を引き離して第1位。次いで「女性の働く場所の充実」、「育児・介護休業制度の一層の普及」の順。

男女共同参画社会を形成するために取り組むべきことは、「働きやすい環境整備」(49.8%) が他を引き離して第1位に挙げられ、次いで「女性の働く場所の充実」(30.6%)、「育児・介護休業制度の一層の普及」(26.7%) が続き、保育所や福祉サービスの充実をはじめ、女性が働きやすい環境整備など労働環境面での整備が特に求められていることがうかがえる。その他では「女性の就労条件など企業に対する啓発」(15.4%)、「町の審議会や委員会などへの女性の登用」(14.7%)などの順となっている。[図表 49 参照]

これを性別、年齢別でみてもすべての層で全体と同様に「働きやすい環境整備」が第1位となっている。

図表 49 男女共同参画社会の形成のために必要なこと（全体／複数回答）



9 地域間交流について

(1) 国内外との交流活動に必要なだと思うこと

問22 あなたは、国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

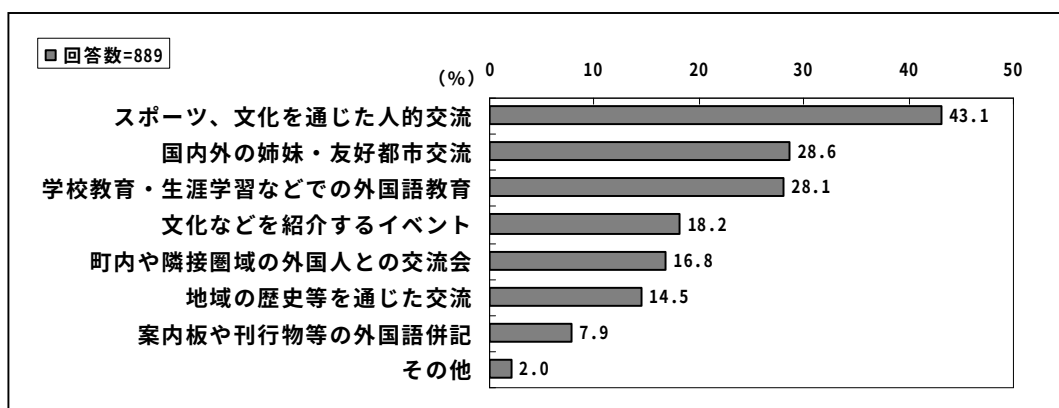


- 「スポーツ、文化を通じた人的交流」が他を引き離して第1位。次いで「国内外の姉妹・友好都市交流」、「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」の順。

国内外との交流活動で必要なことについてたずねたところ、「スポーツ、文化を通じた人的交流」（43.1%）が他を引き離して第1位に挙げられ、次いで「国内外の姉妹・友好都市交流」（28.6%）、「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」（28.1%）などの順となっている。【図表 50 参照】

これを性別、年齢別でみてもすべての層で全体と同様に「スポーツ、文化を通じた人的交流」が第1位となっている。

図表 50 国内外との交流活動に必要なと思うこと（全体／複数回答）



10 町民活動・協働について

(1) 地域活動・ボランティア活動について

問23① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。



- 現在“参加している”人が23.7%、一方、“参加していない”人は66.3%。
- 今後“参加したい”人が56.6%、一方、“参加したくない”人は33.4%。

ボランティア活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「参加していないが、今後は参加したい」が35.3%と最も多く、次いで、「参加しておらず、今後も参加しない」(31.0%)、「参加しており、今後も参加したい」(21.3%)、「参加しているが、今後はやめたい」(2.4%)となっている。

これを現在の参加状況でみると、現在“参加している”人(「参加しており、今後も参加したい」21.3%及び「参加しているが、今後はやめたい」2.4%の合計)が23.7%、一方、“参加していない”人(「参加していないが、今後は参加したい」35.3%及び「参加しておらず、今後も参加しない」31.0%の合計)が66.3%となっている。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人(「参加していないが、今後は参加したい」35.3%及び「参加しており、今後も参加したい」21.3%の合計)が56.6%、今後“参加したくない”人(「参加しておらず、今後も参加しない」31.0%及び「参加しているが、今後はやめたい」2.4%の合計)が33.4%となっており、現在“参加している”人の23.7%から今後“参加したい”人が56.6%と大きく増加する結果となっている。

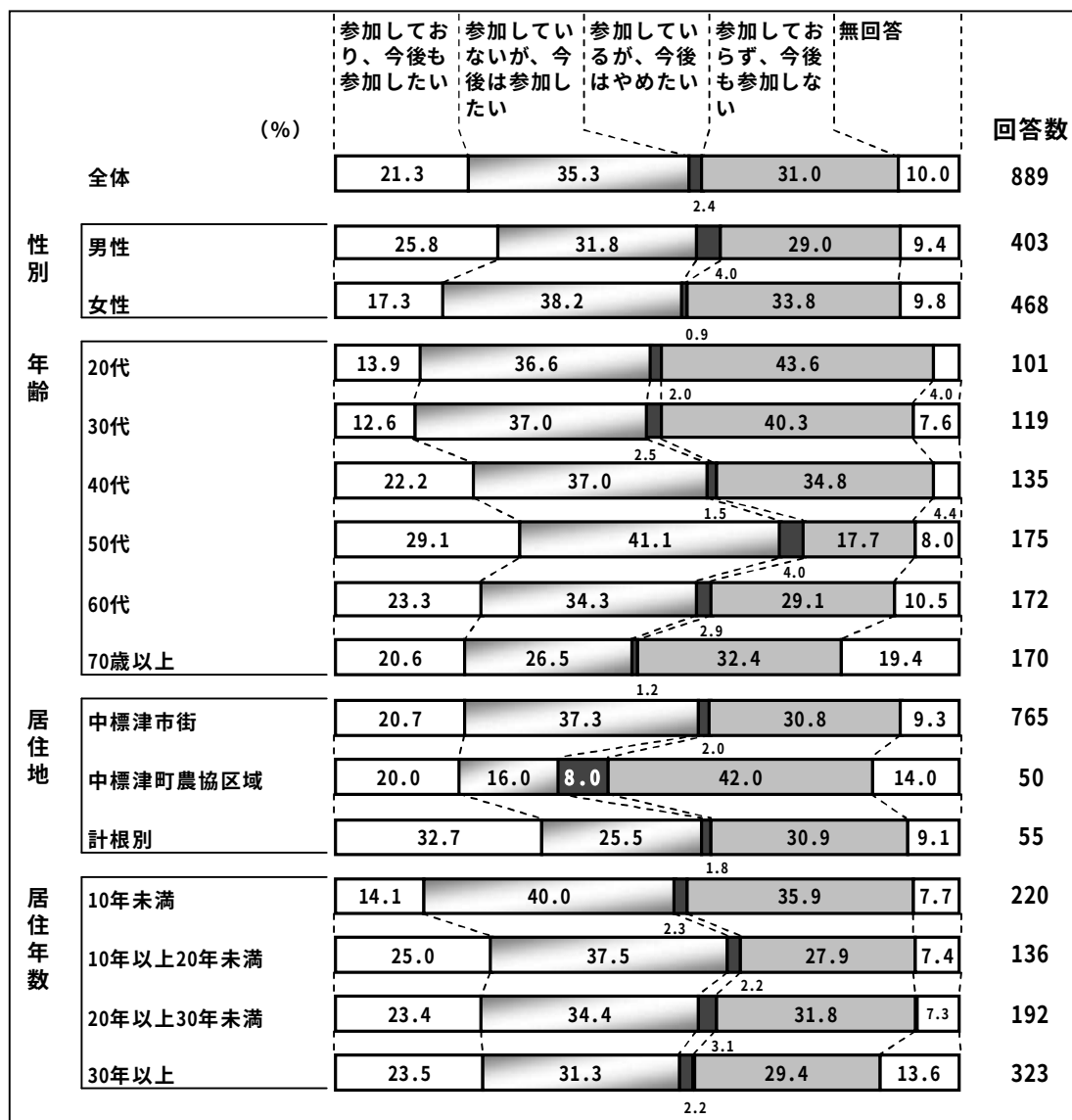
性別で“参加したい”率をみると、男性で57.6%、女性で55.5%となっている。

年齢別でみると、40代、50代、60代で“参加したい”と回答する率が高い傾向がみられ、特に50代では70.2%と約7割に達する。

さらに、居住年数別でも、すべての層で“参加したい”が“参加したくない”を上回る結果となっている。

居住地別では、中標津市街・計根別で“参加したい”が“参加したくない”を上回っている。[図表 51 参照]

図表 51 地域活動・ボランティア活動について（全体、性別、年齢、居住地、居住年数）



(2) 参加したい地域活動等について

問23② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（問23①で“参加したい”と回答した人のみ）【複数回答】

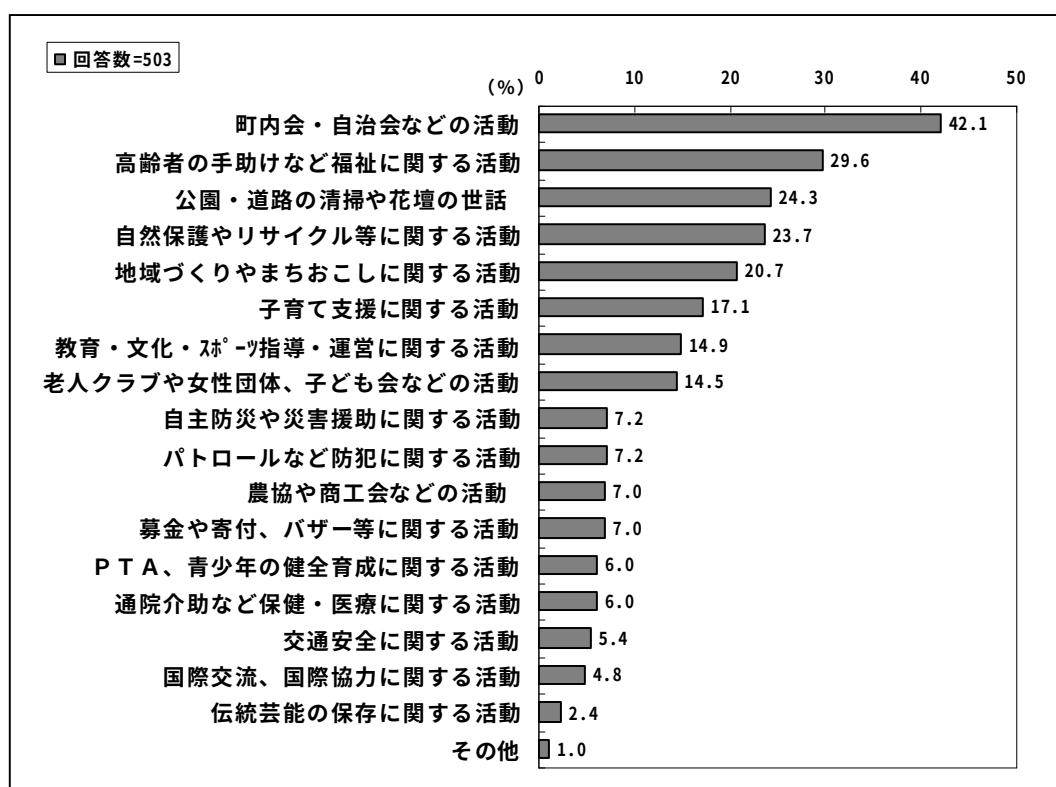


- 「町内会・自治会などの活動」が第1位。次いで「高齢者の手助けなど福祉に関する活動」、「公園・道路の清掃や花壇の世話」の順。

問 22①で今後“参加したい”（56.6%・503 人）と回答した人に、参加したい活動をたずねたところ、「町内会・自治会などの活動」（42.1%）が第1位に挙げられ、次いで「高齢者の手助けなど福祉に関する活動」（29.6%）、「公園・道路の清掃や花壇の世話」（24.3%）、「自然保護やリサイクル等に関する活動」（23.7%）、「地域づくりやまちおこしに関する活動」（20.7%）などの順となっている。[図表 52 参照]

これを年齢別でみると、20 代では「子育て支援に関する活動」及び「教育・文化・スポーツ指導・運営に関する活動」（同率 31.4%）、30 代では「子育て支援に関する活動」（35.6%）、40 代・50 代・60 代・70 歳以上では「町内会・自治会などの活動」（43.8%・42.3%・47.5%・55.0%）がそれぞれ第1位となっている。

図表 52 参加したい地域活動等について（全体／複数回答）



(3) 町民参画・協働について

問24 これからのまちづくりは、より多くの町民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。【複数回答】

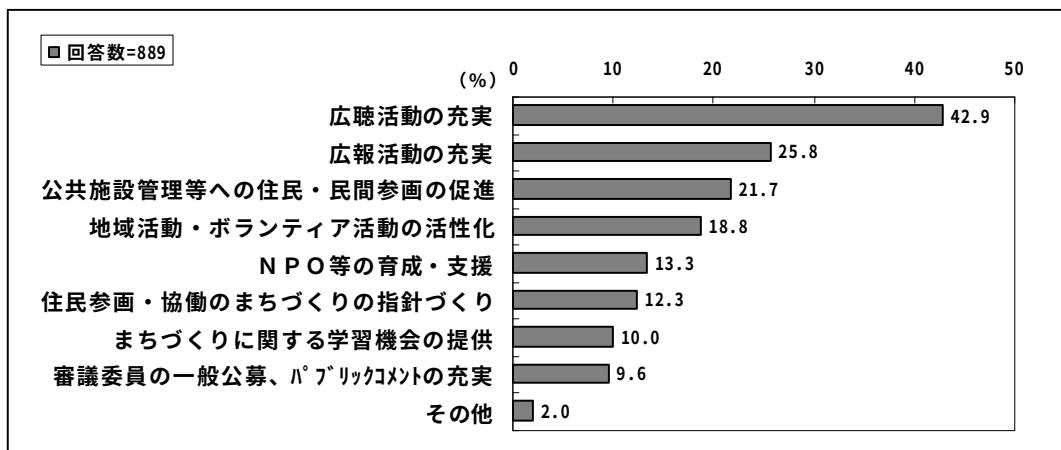


- 「広聴活動の充実」が他を引き離して第1位。次いで「広報活動の充実」、「地域活動・ボランティア活動の活性化」の順。

町民参画・協働のまちづくりを進めるために必要なことは、「広聴活動の充実」(42.9%)が他を引き離して第1位に挙げられ、次いで「広報活動の充実」(25.8%)が続き、広報・広聴活動を重視していることがうかがえる。その他では「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」(21.7%)、「地域活動・ボランティア活動の活性化」(18.8%)、「NPO等の育成・支援」(13.3%)などの順となっている。【図表 53 参照】

これを性別、年齢別でも、ほとんどの層で「広聴活動の充実」及び「広報活動の充実」が上位を占める。

図表 53 町民参画・協働について（全体／複数回答）



11 日ごろの行動について

① 3 R運動について

問25① ごみの減量化のため、3 R運動（リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生使用）をしていますか。



- 3 R運動をしている人は 75.9%。

3 R運動については、している人が 75.9%となっており、7 割強の人が 3 R運動に取り組んでいる。

年齢別でみると、30 代・50 代でしている人が 8 割を超える。

居住地別では、している人は中標津市街で 77.3%と最も多くなっている。[図表 54 参照]

図表 54 3 R運動について(全体、年齢、居住地)

		(%)	はい	いいえ	無回答	回答数
年齢	全体		75.9	14.1	10.0	889
	20代		72.3	23.8	4.0	101
	30代		80.7	13.4	5.9	119
	40代		77.8	19.3	3.0	135
	50代		82.9	10.9	6.3	175
	60代		76.2	11.6	12.2	172
	70歳以上		67.1	11.2	21.8	170
居住地	中標津市街		77.3	13.9	8.9	765
	中標津町農協区域		70.0	18.0	12.0	50
	計根別		63.6	18.2	18.2	55

②環境に配慮した生活について

問25② 自然保護や省資源・省エネルギーなど、環境に配慮した生活をしていますか。



● 環境に配慮した生活をしている人は 69.9%。

環境に配慮した生活をしているかについては、している人が 69.9%とほぼ7割を占める。

年齢別でみると、40代及び60代でしている人が8割近くにのぼる。

居住地別では、している人は中標津市街で71.5%と最も多くなっている。[図表55 参照]

図表 55 環境に配慮した生活について(全体、年齢、居住地)

		(%)	はい	いいえ	無回答	回答数
年齢	全体		69.9	18.7	11.5	889
	20代		64.4	30.7	5.0	101
	30代		64.7	29.4	5.9	119
	40代		77.0	20.0	3.0	135
	50代		70.9	20.6	8.6	175
	60代		78.5	10.5	11.0	172
	70歳以上		62.9	10.0	27.1	170
居住地	中標津市街		71.5	18.4	10.1	765
	中標津町農協区域		54.0	32.0	14.0	50
	計根別		67.3	12.7	20.0	55

③避難路・避難場所の認知度について

問25③ 身近な避難路・避難場所を知っていますか。



● 避難路・避難場所を知っている人は 57.4%。

避難路・避難場所の認知度について、知っている人が 57.4%、知らない人は 32.8%となっている。

年齢別でみると、知っている人が 60 代で 66.3%と最も高く、30 代で 44.5%と最も低くなっている。

居住地別では、知っている人は、中標津市街及び中標津町農協区域で 58.0%（同率）、計根別では 52.7%となっている。[図表 56 参照]

図表 56 避難路・避難場所の認知度について(全体、年齢、居住地)

		(%)			回答数
		はい	いいえ	無回答	
年齢	全体	57.4	32.8	9.8	889
	20代	49.5	45.5	5.0	101
	30代	44.5	49.6	5.9	119
	40代	60.7	36.3	3.0	135
	50代	62.9	30.3	6.9	175
	60代	66.3	22.7	11.0	172
	70歳以上	55.3	24.7	20.0	170
居住地	中標津市街	58.0	33.5	8.5	765
	中標津町農協区域	58.0	30.0	12.0	50
	計根別	52.7	27.3	20.0	55

④防災対策について

問25④ 防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）をしていますか。

● 防災対策をしている人は 32.6%。

食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など防災対策をしているかどうかについては、対策をしている人が 32.6%と 3 割強、一方、していない人が 56.4%と半数を超える。

年齢別でみると、防災対策をしている人が 60 代で 38.4%と最も多く、30 代で 28.6%と最も少なくなっている。

居住地別では、中標津町農協区域（26.0%）は、災害の備えをしている率が最も低い。[図表 57 参照]

図表 57 防災対策について(全体、年齢、居住地)

		(%)	はい	いいえ	無回答	回答数
年齢	全体		32.6	56.4	11.0	889
	20代		30.7	64.4	5.0	101
	30代		28.6	65.5	5.9	119
	40代		32.6	63.7	3.7	135
	50代		29.7	62.3	8.0	175
	60代		38.4	50.6	11.0	172
	70歳以上		33.5	41.8	24.7	170
	計根別		32.7	47.3	20.0	55
居住地	中標津市街		33.1	57.1	9.8	765
	中標津町農協区域		26.0	62.0	12.0	50
	計根別		32.7	47.3	20.0	55

⑤地域の防犯活動への参加について

問25⑤ 地域での防犯活動に参加していますか。

- 防犯活動に参加している人は 12.6%。

地域の防犯活動への参加については、参加している人は 12.6%にとどまり、参加していない人が多数を占める。

年齢別でみると、加齢とともに参加している率が上昇する傾向がみられ、70 歳以上では 17.6%である一方、参加している率の最も低い 20 代ではわずか 2.0%となっている。

居住地別では、参加している人は中標津町農協区域が 16.0%でやや多い。[図表 58 参照]

図表 58 地域の防犯活動への参加について(全体、年齢、居住地)

		(%)			回答数
		はい	いいえ	無回答	
年齢	全体	12.6	75.8	11.6	889
	20代	2.0	93.1	5.0	101
	30代	7.6	86.6	5.9	119
	40代	9.6	86.7	3.7	135
	50代	14.9	77.1	8.0	175
	60代	17.4	70.3	12.2	172
	70歳以上	17.6	55.9	26.5	170
居住地	中標津市街	12.4	77.5	10.1	765
	中標津町農協区域	16.0	68.0	16.0	50
	計根別	12.7	65.5	21.8	55

⑥健康診査の受診について

問25⑥ 定期的に健康診査を受診していますか。

● 健康診査を受診している人は 60.0%。

定期的に健康診査を受診については、受診している人は60.0%と6割にのぼる。
年齢別でみると、受診している人は40代で68.9%と最も多く、20代で47.5%と最も低くなっている。

居住地別では、している人が中標津市街で61.7%と6割を超える一方、中標津町農協区域では44.0%と4割強にとどまっている。[図表 59 参照]

図表 59 健康診査の受診について(全体、年齢、居住地)

		(%)	はい	いいえ	無回答	回答数
年齢	全体		60.0	30.0	10.0	889
	20代		47.5	47.5	5.0	101
	30代		51.3	42.9	5.9	119
	40代		68.9	28.1	3.0	135
	50代		65.1	28.6	6.3	175
	60代		61.6	27.9	10.5	172
	70歳以上		59.4	18.2	22.4	170
居住地	中標津市街		61.7	29.4	8.9	765
	中標津町農協区域		44.0	44.0	12.0	50
	計根別		52.7	30.9	16.4	55

⑦運動の習慣について

問25⑦ あなたは、運動の習慣（週2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続）がありますか。



● 運動の習慣がある人は 32.5%。

運動の習慣があるかについては、習慣がある人は 32.5%にとどまり、習慣のない人が多数を占める。

年齢別では、運動の習慣がある人は 60 代では 39.5%、70 歳以上では 42.4%と 4 割前後となっているが、20 代～50 代では 3 割弱にとどまる。

居住地別では、3 地区とも習慣がある人は 3 割前後となっている。[図表 60 参照]

図表 60 運動の習慣について(全体、年齢、居住地)

		(%)	はい	いいえ	無回答	回答数
年齢	全体		32.5	57.3	10.2	889
	20代		27.7	67.3	5.0	101
	30代		26.1	68.1	5.9	119
	40代		27.4	69.6	3.0	135
	50代		27.4	66.3	6.3	175
	60代		39.5	48.8	11.6	172
	70歳以上		42.4	34.7	22.9	170
居住地	中標津市街		33.3	57.9	8.8	765
	中標津町農協区域		30.0	58.0	12.0	50
	計根別		29.1	49.1	21.8	55

⑧地域福祉活動への参加について

問25⑧ あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加していますか。



- 地域福祉活動に参加している人は 16.0%。

地域福祉活動に参加しているかについては、参加している人は 16.0%にとどまり、一方、参加していない人が 73.2%と 7 強を占める。

年齢別では、50 代・60 代・70 歳以上では 2 割前後の人が参加しているが、20 代・30 代・40 代では 1 割弱にとどまる。

居住地別では、参加している人は中標津町農協区域で 26.0%と最も多く、計根別で 12.7%と最も低くなっている。[図表 61 参照]

図表 61 地域福祉活動への参加について(全体、年齢、居住地)

		(%)			回答数
		はい	いいえ	無回答	
年齢	全体	16.0	73.2	10.8	889
	20代	9.9	85.1	5.0	101
	30代	8.4	85.7	5.9	119
	40代	8.9	88.1	3.0	135
	50代	19.4	73.1	7.4	175
	60代	20.9	66.9	12.2	172
	70歳以上	21.8	54.7	23.5	170
居住地	中標津市街	15.6	75.0	9.4	765
	中標津町農協区域	26.0	60.0	14.0	50
	計根別	12.7	67.3	20.0	55

⑨インターネットの活用について

問25⑨ 日常生活の中でインターネットを活用していますか。



- インターネットを活用している人は 39.1%。

日常生活でのインターネットの活用については、活用している人が 39.1%と約4割となっており、一方、活用していない人が 50.2%と約半数を占める。

年齢別でみると、若い年齢層ほどインターネットを活用している人が多く、30代では 70.6%と約7割となっている一方、70歳以上では 7.1%にとどまる。

居住地別では、中標津市街では 41.6%と4割以上となっている一方、計根別では 18.2%と2割以下となっている。[図表 62 参照]

図表 62 インターネットの活用について(全体、年齢、居住地)

		(%)			回答数
		はい	いいえ	無回答	
年齢	全体	39.1	50.2	10.7	889
	20代	68.3	26.7	5.0	101
	30代	70.6	23.5	5.9	119
	40代	64.4	32.6	3.0	135
	50代	35.4	57.7	6.9	175
	60代	17.4	70.9	11.6	172
	70歳以上	7.1	68.8	24.1	170
居住地	中標津市街	41.6	49.2	9.3	765
	中標津町農協区域	30.0	56.0	14.0	50
	計根別	18.2	61.8	20.0	55

⑩ 「広報なかしべつ」について

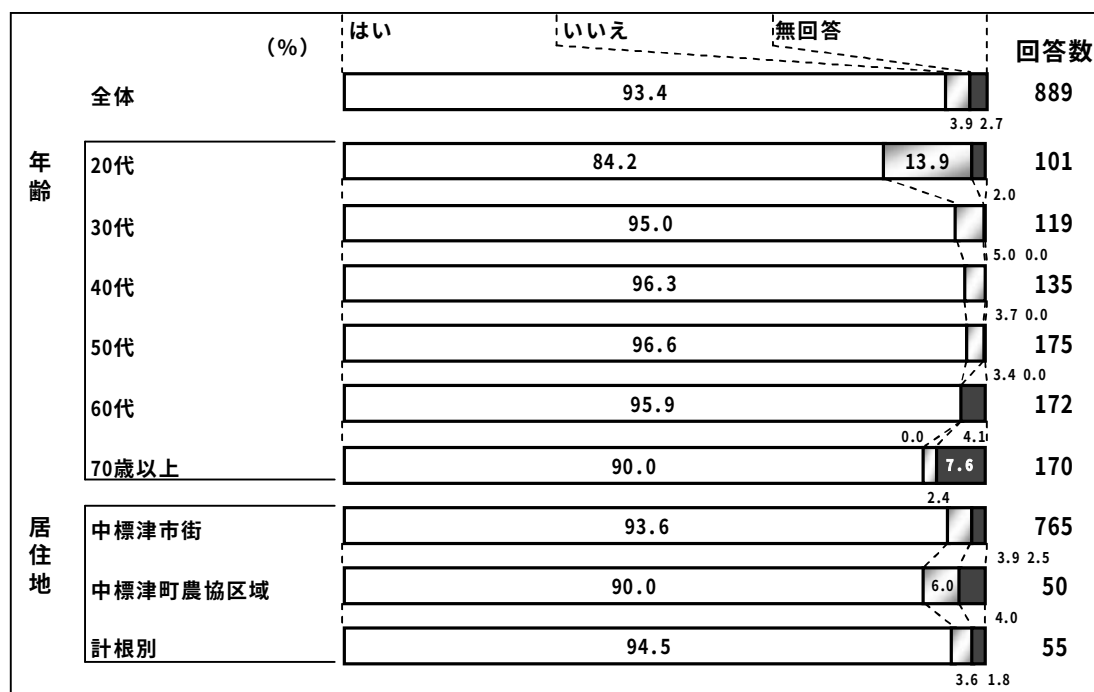
問25⑩ 町の発行する「広報なかしべつ」を読んでいますか。

- 「広報なかしべつ」を読んでいる人は93.4%。

「広報なかしべつ」について、読んでいる人が93.4%と9割以上となっており、多くの町民に読まれている結果となっている。

属性別でも、すべての層で読んでいる人が9割前後となっている。[図表 63 参照]

図表 63 「広報なかしべつ」について(全体、年齢、居住地)



⑪町のホームページについて

問25⑪ 町のホームページを見たことがありますか。

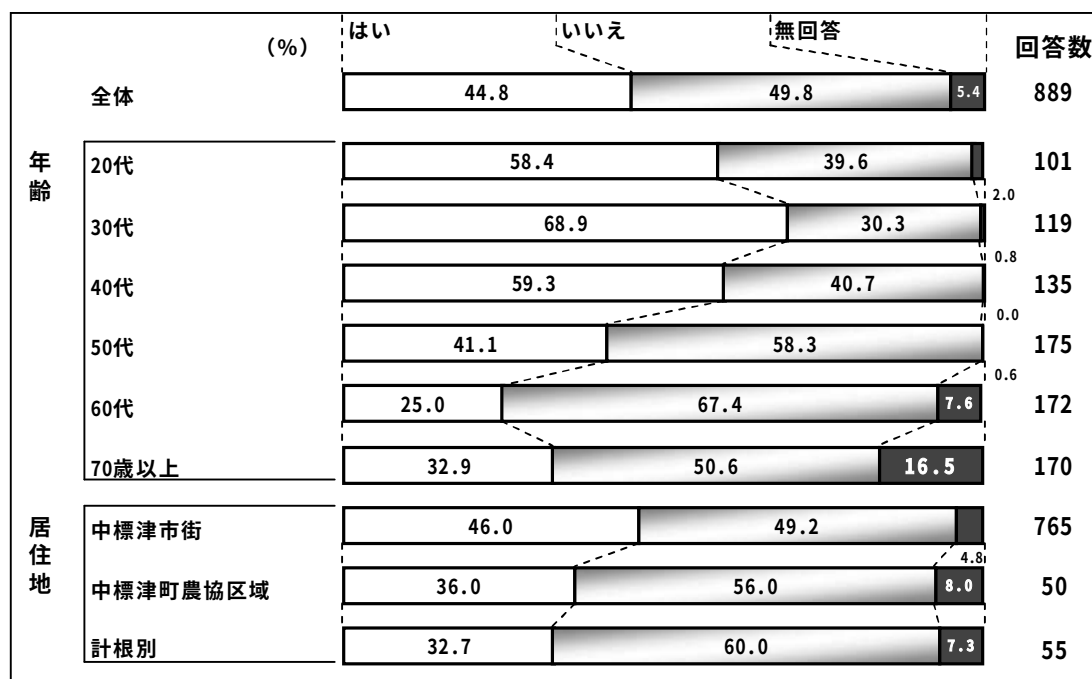
● 町のホームページを見たことがある人は 44.8%。

町のホームページを見たことがあるかについては、見たことがある人は 44.8%と4割強となっており、一方、見たことがない人は 49.8%と約半数となっている。

年齢別でみると、概ね若い層ほどホームページを見ている人が多く、30代では 68.9%となっている一方、60代では 25.0%にとどまる。

居住地別では、中標津市街で見たことのある人が 46.0%と多くなっている。[図表 64 参照]

図表 64 町のホームページについて(全体、年齢、居住地)



⑫町政への関心について

問25⑫ 町政に関心がありますか。

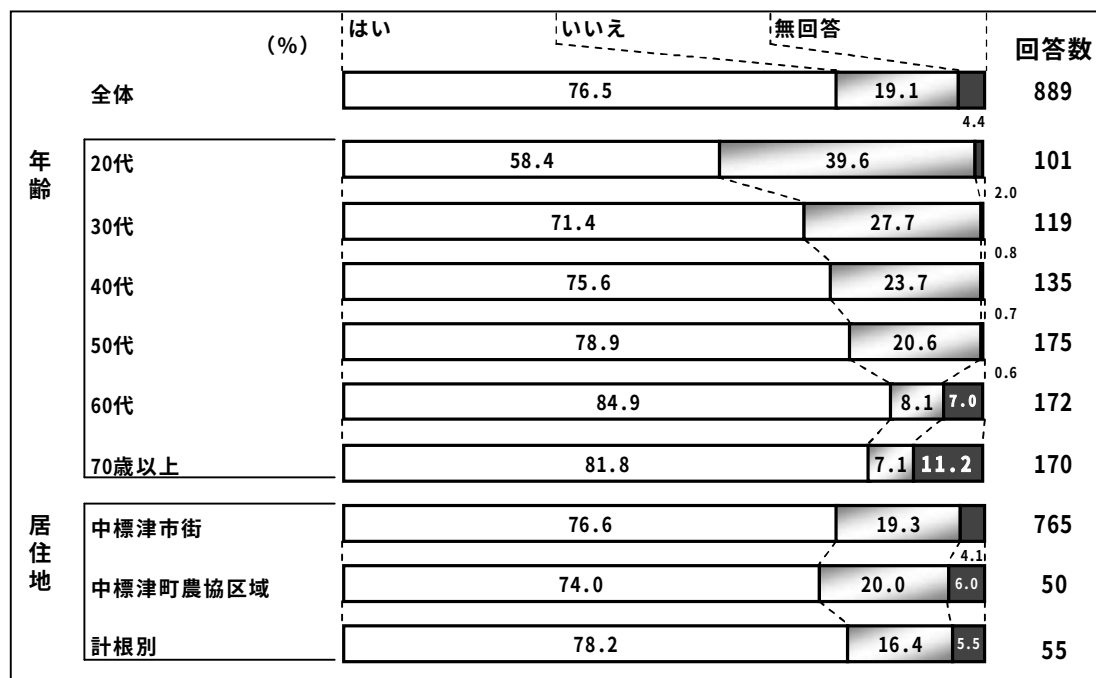
● 町政に関心がある人は 76.5%。

町政への関心については、関心がある人は 76.5%となっており、概ね町政への関心が高いといえる。

年齢別でみると、町政に関心がある人が概ね加齢とともに増加し、60 歳以上で 84.9%と 8 割を超える一方、20 代では 58.4%にとどまる。

居住地別でみると、3 地区ともに関心がある人が 7 割を超える。[図表 65 参照]

図表 65 町政への関心について(全体、年齢、居住地)



⑬町総合計画について

問25⑬ 町総合計画を読んだことがありますか。



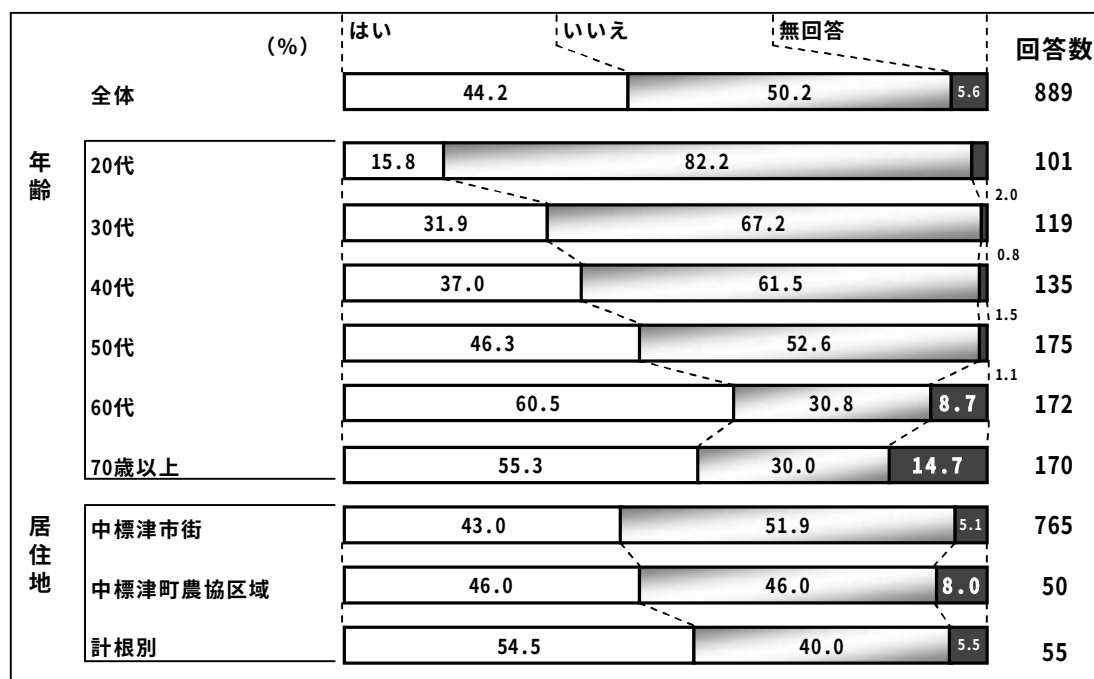
- 町総合計画を読んだことがある人は44.2%。

町総合計画について、読んだことがある人は44.2%と4割強にとどまり、読んだことがない人が50.2%と約5割を占める。

属性別でみると、概ね加齢とともに読んだことがある人が増加し、60代で60.5%となっている一方、20代では15.8%にとどまる。

居住地別では、計根別で読んだことのある人が54.5%と半数を超える。[図表66参照]

図表66 町総合計画について(全体、年齢、居住地)



Ⅲ 中高生アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。



● “愛着を感じている”が68.1%。一方、“愛着を感じていない”は8.3%。

中高生のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらった。

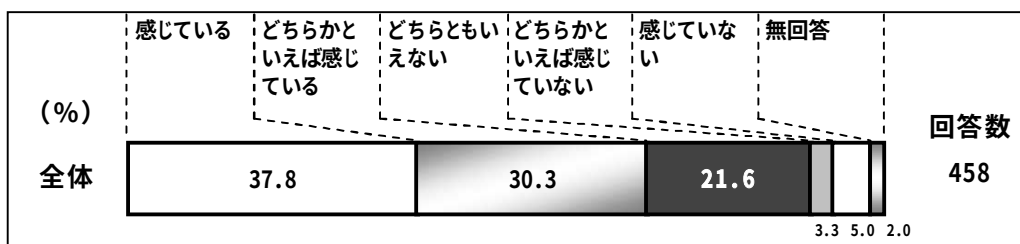
その結果、愛着を「感じている」と回答した人が37.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば感じている」が30.3%で続き、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が68.1%と7割近くを占める。これに対して、“愛着を感じていない”(「どちらかといえば感じていない」3.3%及び「感じていない」5.0%の合計)は8.3%と約1割にとどまり、総じてまちへの愛着度は高いといえる。なお、「どちらともいえない」は21.6%であった。[図表 67 参照]

性別でみると、“愛着を感じている”率は、男性(67.7%)・女性(68.4%)とも7割近くを占め大きな差はみられないが、明確に「感じている」と回答した率は男性(43.6%)が女性(32.1%)を約11ポイント上回り、男性の愛着度が比較的高いことがうかがえる。

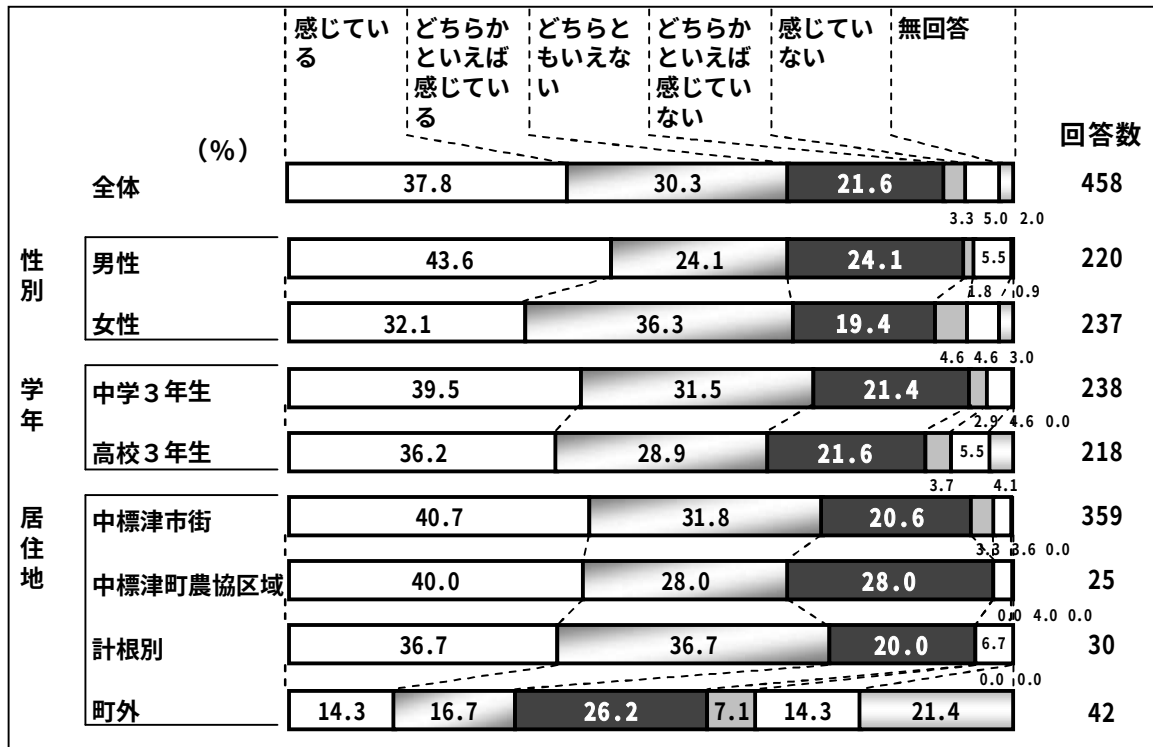
学年別では、“愛着を感じている”率は、中学3年生が71.0%、高校3年生が65.1%となっている。

居住地別では、“愛着を感じている”率は、計根別が73.4%、中標津市街が72.5%、中標津町農協区域が68.0%となっている。[図表 68 参照]

図表 67 まちへの愛着度について（全体）



図表 68 まちへの愛着度について（全体、性別、学年、居住地）



(2) 今後の定住意向について

問3 ①あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。



● “住み続けたい”が48.0%、一方、“住みたくない”は20.1%。

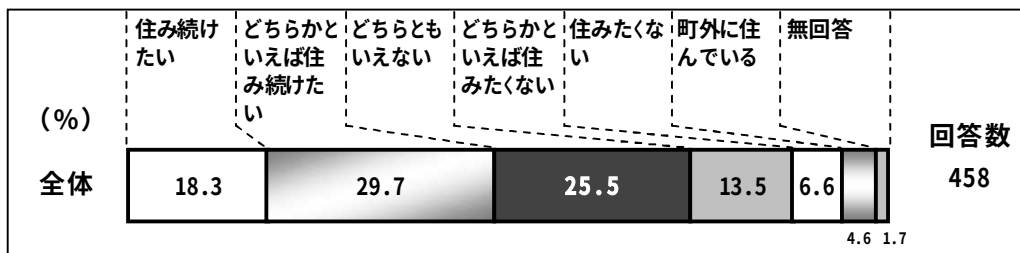
今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「どちらかといえば住み続けたい」が29.7%と約3割を占め、これに「住み続けたい」(18.3%)をあわせた48.0%の人が“住み続けたい”という意向を示している。一方、「どちらかといえば住みたくない」(13.5%)及び「住みたくない」(6.6%)と答えた“住みたくない”という人の合計は20.1%となっている。なお、「どちらともいえない」は25.5%となっている。[図表69参照]

性別で“住み続けたい”率をみると、男性(50.9%)が女性(45.5%)を約5ポイント上回る。

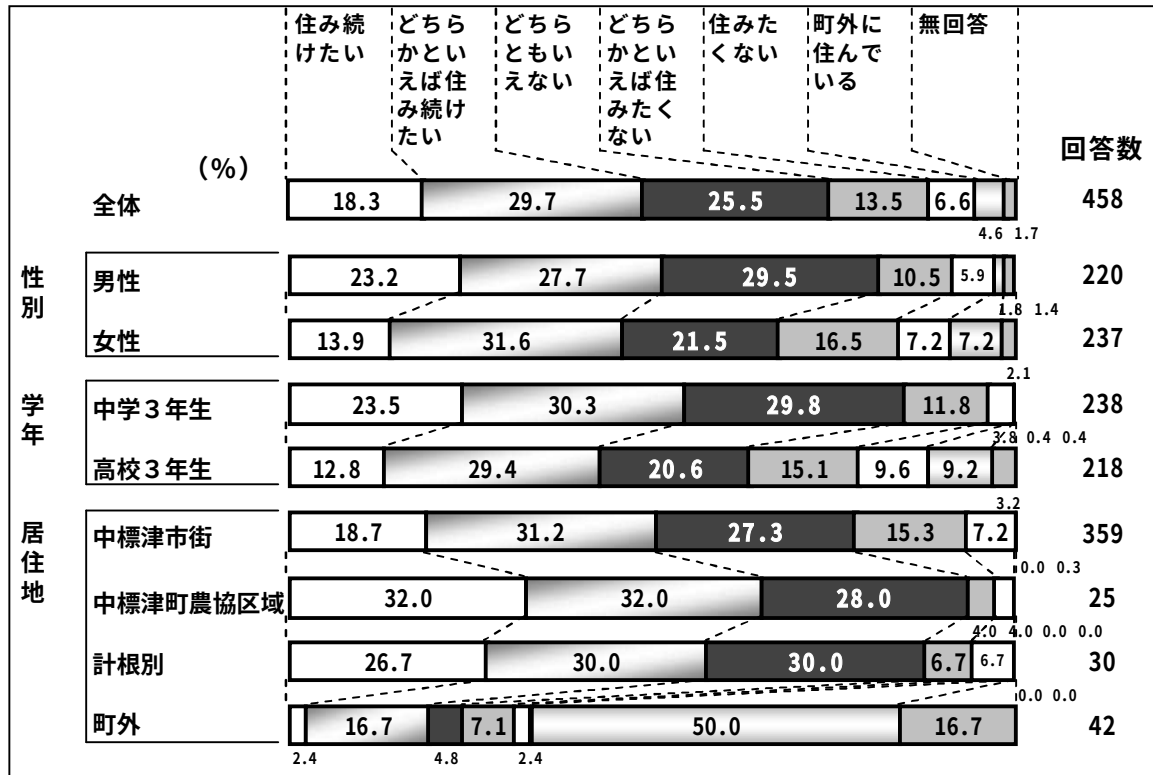
学年別では、“住み続けたい”率は、中学3年生が53.8%、高校3年生が42.2%となっている。

居住地別では、“住み続けたい”率は、中標津町農協区域が64.0%、計根別が56.7%、中標津市街が49.9%となっている。[図表70参照]

図表69 今後の定住意向について（全体）



図表 70 今後の定住意向について（全体、性別、学年、居住地）



(3) 住み続けたい主な理由について

問3 ②住み続けたい主な理由は何ですか。【複数回答】

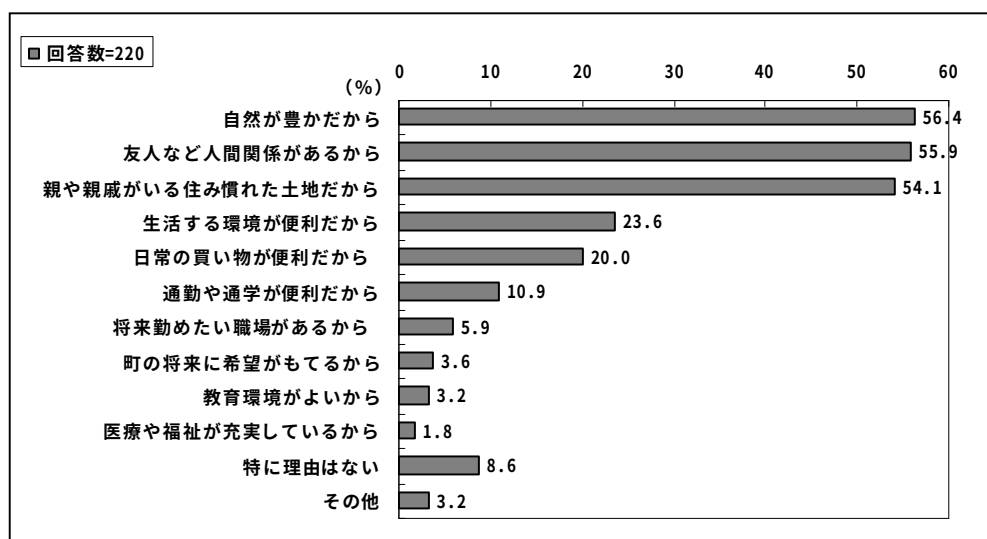


- 「自然が豊かだから」が第1位。次いで「友人など人間関係があるから」、「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」の順。

住み続けたい主な理由については、「自然が豊かだから」(56.4%)が第1位に挙げられ、次いで僅差で「友人など人間関係があるから」(55.9%)、「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」(54.1%)が続き、これらが他を引き離して住み続けたい理由の上位を占める。その他では「生活する環境が便利だから」(23.6%)、「日常の買い物が便利だから」(20.0%)、「通勤や通学が便利だから」(10.9%)などの順となっている。[図表 71 参照]

これを学年別でみると、中学3年生では「友人など人間関係があるから」(62.5%)、高校3年生では「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」(64.1%)が第1位となっている。

図表 71 住み続けたい主な理由（全体／複数回答）



(4) 住みたくない主な理由について

問3 ③住みたくない主な理由は何ですか。【複数回答】

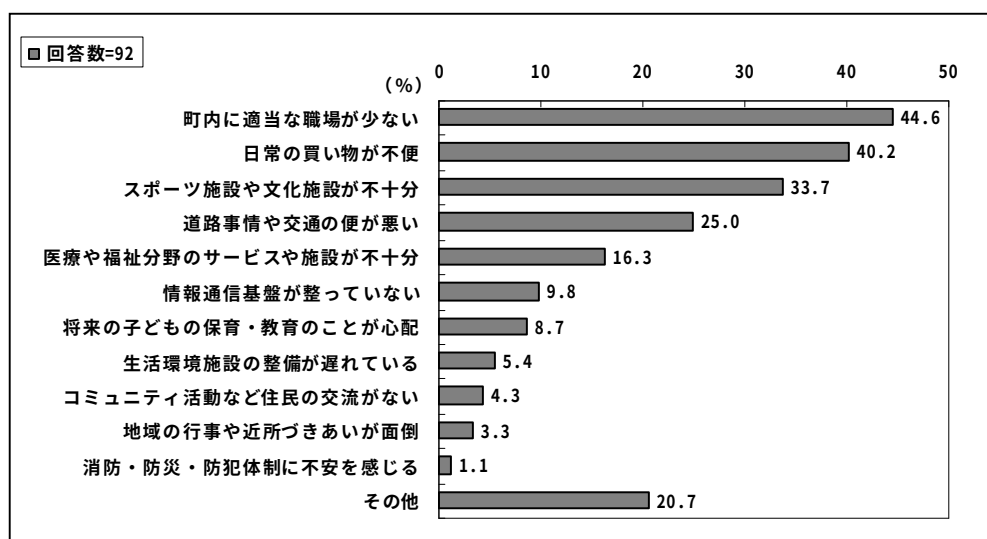


- 「町内に適当な職場が少ない」が第1位。次いで「日常の買い物が不便」、「スポーツ施設や文化施設が不十分」の順。

住みたくない主な理由については、「町内に適当な職場が少ない」(44.6%)が第1位に挙げられ、次いで「日常の買い物が不便」(40.2%)、「スポーツ施設や文化施設が不十分」(33.7%)、「道路事情や交通の便が悪い」(25.0%)、「医療や福祉分野のサービスや施設が不十分」(16.3%)などのとなっている。[図表 72 参照]

これを学年別でみると、中学3年生では「日常の買い物が不便」(51.4%)、高校3年生では「町内に適当な職場が少ない」(50.0%)が第1位となっている。

図表 72 住みたくない主な理由（全体／複数回答）



(5) 就職、進学で離れたあと、中標津町に戻りたいか

問4 あなたは、就職や進学で中標津町を離れたあとに、また中標津町に戻ってきたいと思いますか。



● “そう思う”が51.9%、一方、“思わない”は15.1%。

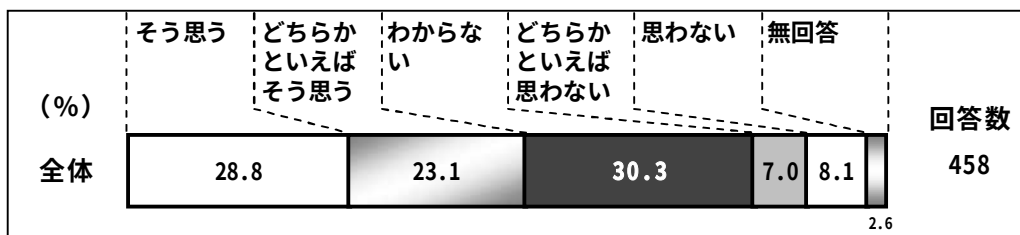
就職、進学で離れたあと、中標津町に戻りたいかどうかをたずねたところ、「わからない」30.3%と約3割を占める。また、「そう思う」(28.8%)及び「どちらかといえばそう思う」(23.1%)をあわせた51.9%の人が“そう思う”と回答し、約半数が中標津町を離れたあと、町に戻ってきたいという意向を示している。一方、「どちらかといえば思わない」(7.0%)及び「思わない」(8.1%)と答えた“思わない”という人の合計は15.1%にとどまる。[図表73参照]

性別で“そう思う”率をみると、男性(56.4%)が女性(47.7%)を約9ポイント上回る。

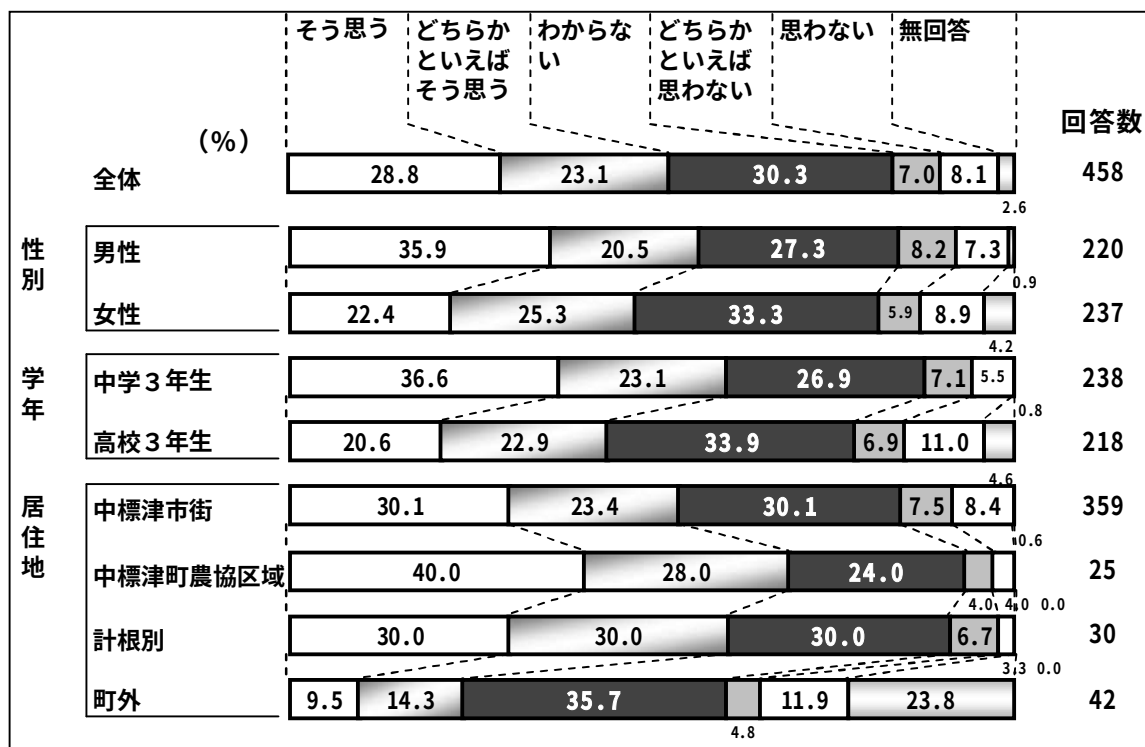
学年別では、“そう思う”率は、中学3年生が59.7%、高校3年生が43.5%となっている。

居住地別では、“そう思う”率は、中標津農協区域(68.0%)が他の地域に比べて高い傾向がみられた。[図表74参照]

図表73 就職、進学で離れたあと、中標津町に戻りたいか（全体）



図表 74 就職、進学で離れたあと、中標津町に戻りたいか（全体、性別、学年、居住地）



(6) まちの暮らしやすさについて

問5 あなたは、中標津町の暮らしやすさについて満足していますか。



- “満足している”が57.0%、「どちらともいえない」が24.7%、“不満である”が15.3%。

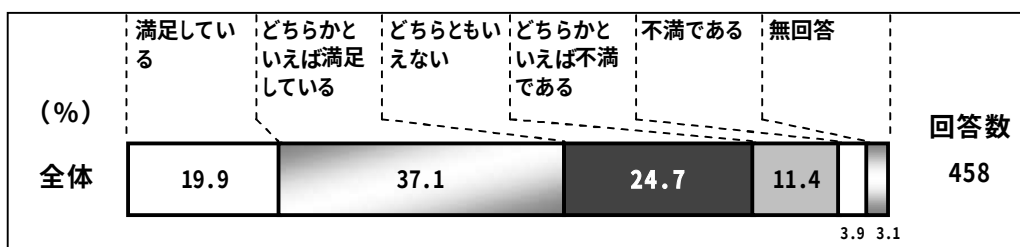
中高生がまちの暮らしやすさに満足しているかどうかをたずねたところ、「どちらかといえば満足している」と答えた人が37.1%で最も多く、これに「満足している」(19.9%)をあわせた“満足している”という人が57.0%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」11.4%及び「不満である」3.9%の合計)は15.3%となっており、全体的に満足している中高生が多数を占めているといえる。なお、「どちらともいえない」は24.7%であった。[図表75 参照]

性別で“満足している”率をみると、男性(57.8%)が女性(56.2%)を約2ポイント上回る。

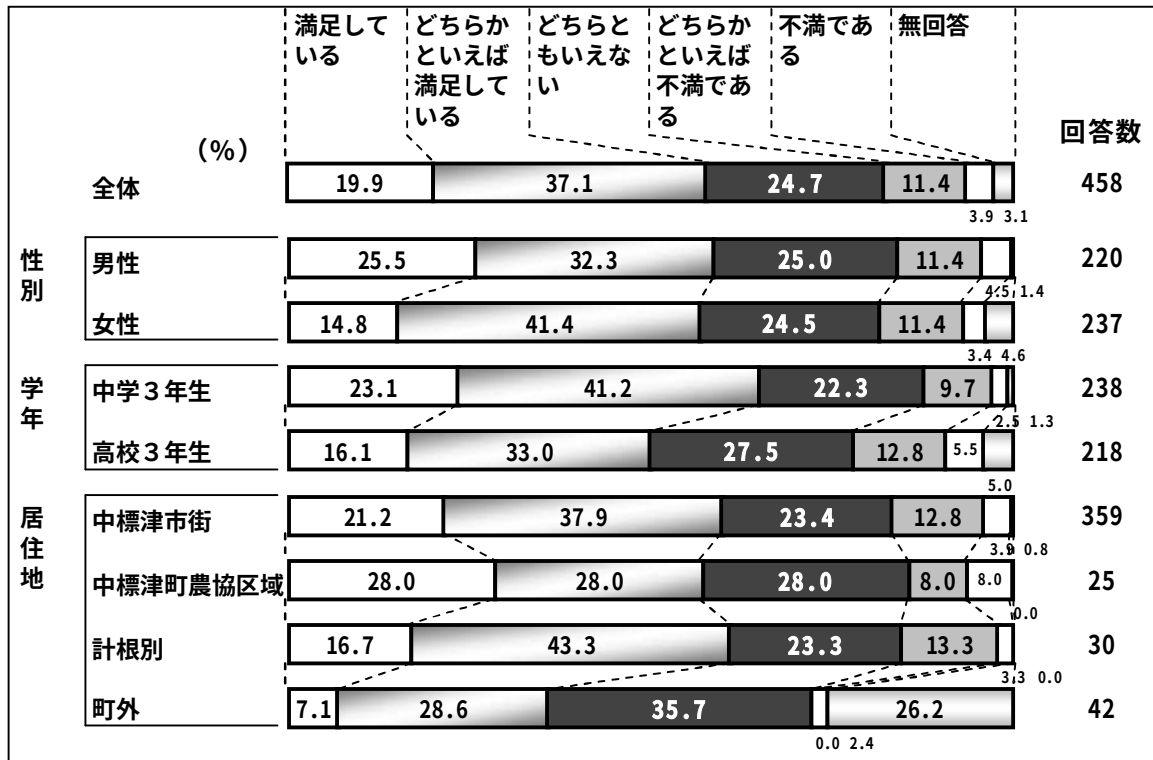
学年別では、“満足している”率は、中学3年生が64.3%、高校3年生で49.1%となっている。

居住地別では、“満足している”率は、計根別で60.0%、中標津市街で59.1%、中標津農協区域が56.0%となっている。[図表76 参照]

図表75 まちの暮らしやすさについて（全体）



図表 76 まちの暮らしやすさについて（全体、性別、学年、居住地）



2 今後のまちづくりについて

(1) 今後のまちづくりの特色について

問6 あなたは今後のまちづくりについて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと思いますか。【複数回答】



- 「健康で安心して暮らせるまち」、「自然と共生する美しいまち」、「便利で快適に暮らせるまち」が僅差で上位を占める。

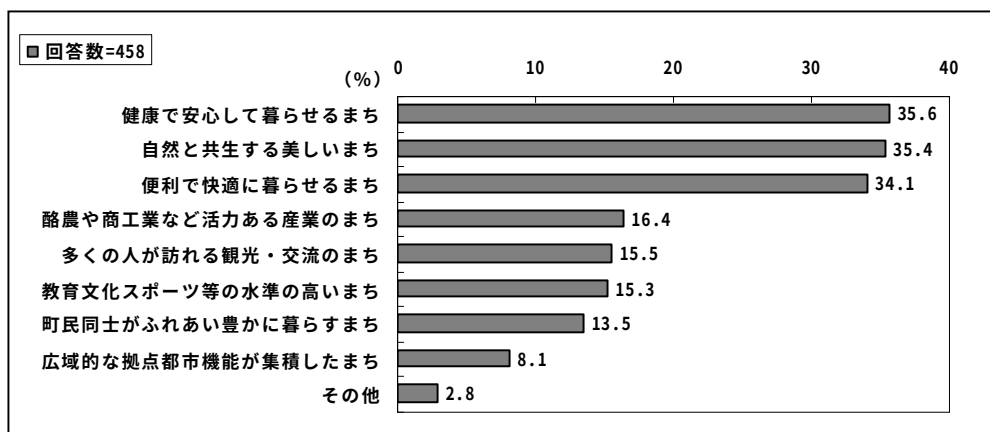
今後のまちづくりの特色について、「健康で安心して暮らせるまち」(35.6%)、「自然と共生する美しいまち」(35.4%)、「便利で快適に暮らせるまち」(34.1%)が僅差で続き、これらが上位を占める結果となっている。その他では「酪農や商工業など活力ある産業のまち」(16.4%)、「多くの人が訪れる観光・交流のまち」(15.5%)、「教育文化スポーツ等の水準の高いまち」(15.3%)などの順となっている。[図表 77 参照]

性別でみると、男性では「便利で快適に暮らせるまち」(33.6%)、女性では「健康で安心して暮らせるまち」(39.7%)が第1位となっている。

学年別でみると、中学3年生では「健康で安心して暮らせるまち」(37.8%)、高校3年生では「便利で快適に暮らせるまち」(34.4%)が第1位となっている。

居住地別でみると、中標津市街では「健康で安心して暮らせるまち」(37.9%)、中標津町農協区域では「健康で安心して暮らせるまち」及び「酪農や商工業など活力ある産業のまち」(同率 40.0%)、計根別では「自然と共生する美しいまち」(56.7%)がそれぞれ第1位となっている。[図表 78 参照]

図表 77 今後のまちづくりの特色について（全体／複数回答）



図表 78 今後のまちづくりの特色について（全体、性別、学年、居住地／複数回答）

（上位3位、％）

		第1位	第2位	第3位
全体		健康で安心して暮らせるまち 35.6	自然と共生する美しいまち 35.4	便利で快適に暮らせるまち 34.1
性別	男性	便利で快適に暮らせるまち 33.6	自然と共生する美しいまち 31.8	健康で安心して暮らせるまち 30.9
	女性	健康で安心して暮らせるまち 39.7	自然と共生する美しいまち 38.4	便利で快適に暮らせるまち 34.6
学年	中学3年生	健康で安心して暮らせるまち 37.8	自然と共生する美しいまち 36.1	便利で快適に暮らせるまち 34.0
	高校3年生	便利で快適に暮らせるまち 34.4	自然と共生する美しいまち 33.9	健康で安心して暮らせるまち 33.5
居住地	中標津市街	健康で安心して暮らせるまち 37.9	自然と共生する美しいまち/便利で快適に暮らせるまち 34.3	
	中標津町農協区域	健康で安心して暮らせるまち/酪農や商工業など活力ある産業のまち 40.0		便利で快適に暮らせるまち 32.0
	計根別	自然と共生する美しいまち 56.7	酪農や商工業など活力ある産業のまち 40.0	便利で快適に暮らせるまち 36.7

(2) 今後力を入れるべき施策について

問7 あなたは、今後のまちづくりの中で、特にどのような取り組みに力を入れてほしいと思いますか。【複数回答】



- 「自然の保護」が第1位。次いで「インターネット環境の充実」、「文化・スポーツ環境の充実」の順。

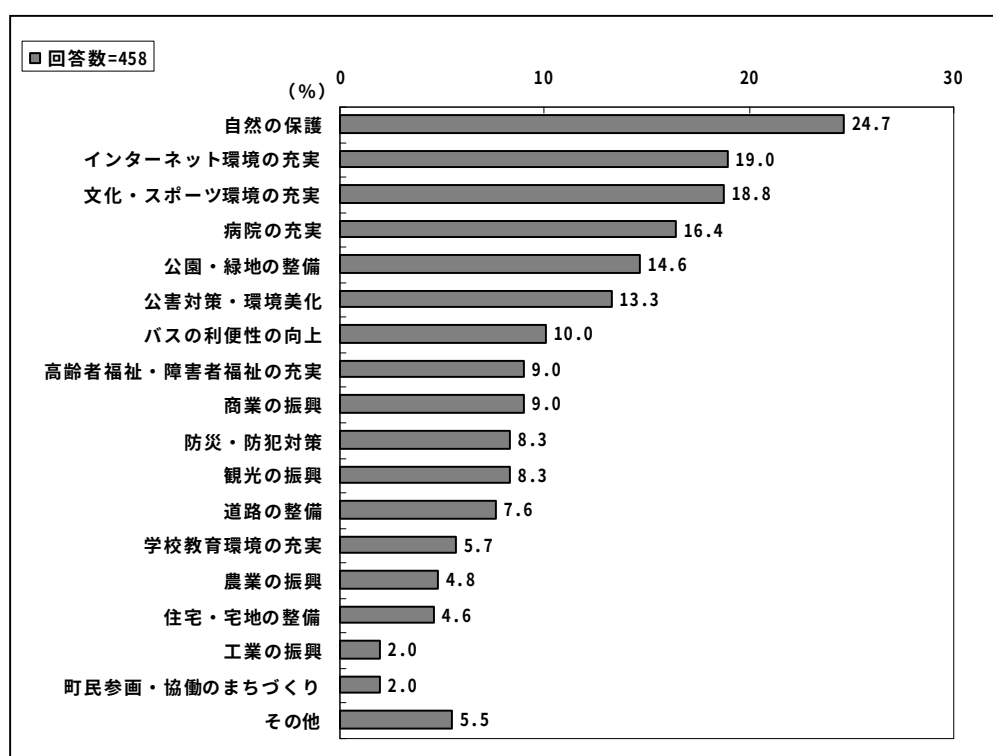
今後力を入れるべき施策については、「自然の保護」(24.7%)が第1位に挙げられ、次いで「インターネット環境の充実」(19.0%)、「文化・スポーツ環境の充実」(18.8%)が続き、以下、「病院の充実」(16.4%)、「公園・緑地の整備」(14.6%)、「公害対策・環境美化」(13.3%)、「バスの利便性の向上」(10.0%)などの順となっている。[図表 79 参照]

これを性別でみると、男性では「インターネット環境の充実」(27.7%)、女性では「自然の保護」(25.3%)が第1位となっている。

学年別では、中学3年生では「自然の保護」(29.0%)、高校3年生では「病院の充実」(22.0%)が第1位となっている。

居住地別でみると、中標津市街・中標津町農協区域では「自然の保護」(24.2%・32.0%)、計根別では「インターネット環境の充実」(43.3%)がそれぞれ第1位となっている。[図表 80 参照]

図表 79 今後力を入れるべき施策について（全体／複数回答）



図表 80 今後力を入れるべき施策について（全体、性別、学年、居住地／複数回答）

（上位3位、％）

		第1位	第2位	第3位
全体		自然の保護 24.7	インターネット環境 の充実 19.0	文化・スポーツ環境 の充実 18.8
性別	男性	インターネット環境 の充実 27.7	文化・スポーツ環境 の充実 26.8	自然の保護 24.1
	女性	自然の保護 25.3	病院の充実 19.8	公園・緑地の整備 14.8
学年	中学3年生	自然の保護 29.0	インターネット環境 の充実 23.9	文化・スポーツ環境 の充実 21.4
	高校3年生	病院の充実 22.0	自然の保護 20.2	文化・スポーツ環境 の充実 15.6
居住地	中標津市街	自然の保護 24.2	文化・スポーツ環境 の充実 20.1	インターネット環境 の充実 17.8
	中標津町農協区域	自然の保護 32.0	農業の振興 28.0	インターネット環境 の充実 24.0
	計根別	インターネット環境 の充実 43.3	自然の保護 33.3	文化・スポーツ環境 の充実 20.0

3 地域活動やボランティア活動について

(1) 地域活動やボランティア活動について

問8 あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。【複数回答】



- 「身近な地域でのお祭り」が第1位。

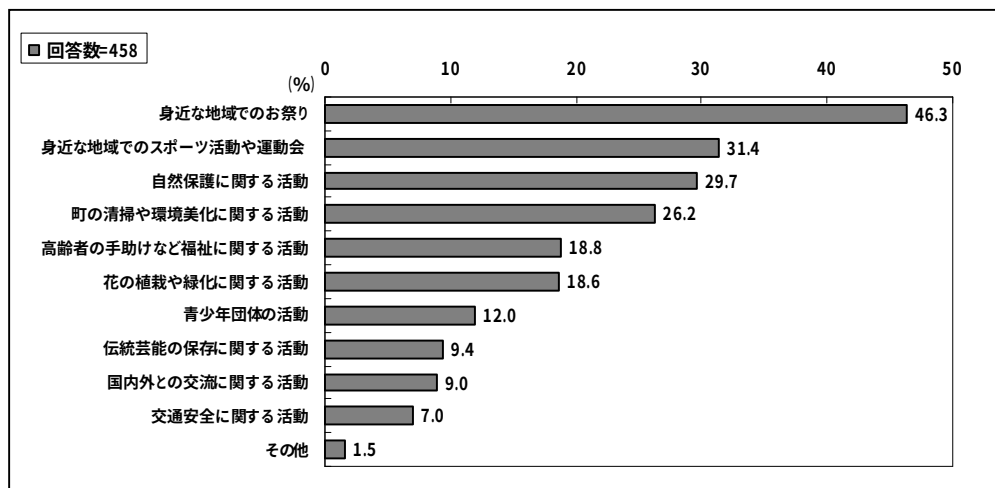
参加したい地域活動やボランティア活動については、「身近な地域でのお祭り」（46.3%）が第1位に挙げられ、次いで「身近な地域でのスポーツ活動や運動会」（31.4%）、「自然保護に関する活動」（29.7%）、「町の清掃や環境美化に関する活動」（26.2%）が続く結果となっている。[図表 81 参照]

これを性別でみると、男性では「身近な地域でのスポーツ活動や運動会」（40.9%）、女性では「身近な地域でのお祭り」（52.7%）が第1位となっている。

学年別では、中学3年生・高校3年生ともに「身近な地域でのお祭り」（50.0%・42.2%）が第1位となっている。

居住地別でみると、中標津市街・中標津町農協区域では「身近な地域でのお祭り」（48.5%・48.0%）、計根別では「自然保護に関する活動」（43.3%）がそれぞれ第1位となっている。[図表 82 参照]

図表 81 地域活動やボランティア活動について（全体／複数回答）



図表 82 地域活動やボランティア活動について（全体、性別、学年、居住地／複数回答）

（上位3位、％）

		第1位	第2位	第3位
全体		身近な地域でのお祭り 46.3	身近な地域でのスポーツ活動や運動会 31.4	自然保護に関する活動 29.7
性別	男性	身近な地域でのスポーツ活動や運動会 40.9	身近な地域でのお祭り 39.1	自然保護に関する活動 38.2
	女性	身近な地域でのお祭り 52.7	高齢者の手助けなど福祉に関する活動 24.9	町の清掃や環境美化に関する活動 22.4
学年	中学3年生	身近な地域でのお祭り 50.0	自然保護に関する活動 34.0	身近な地域でのスポーツ活動や運動会 33.2
	高校3年生	身近な地域でのお祭り 42.2	身近な地域でのスポーツ活動や運動会 29.8	町の清掃や環境美化に関する活動 28.9
居住地	中標津市街	身近な地域でのお祭り 48.5	身近な地域でのスポーツ活動や運動会 33.4	自然保護に関する活動 30.1
	中標津町農協区域	身近な地域でのお祭り 48.0	自然保護に関する活動 36.0	身近な地域でのスポーツ活動や運動会 28.0
	計根別	自然保護に関する活動 43.3	身近な地域でのお祭り 40.0	身近な地域でのスポーツ活動や運動会 30.0

4 中標津町の特徴・自慢について

(1) 中標津町で自慢のできるもの

問8 中標津町であなたが自慢できるものは何ですか。物でも場所でもなんでもかまいません。具体的に下の枠内に2つまで書いてください。

自由記述された特色等を集約すると記入された意見は全 602 っており、集約した特色等を分類すると以下のようにとりまとめられ、きれいな水や空気、豊かな自然や広大な土地といった『自然環境・景観』に関する意見が 271 件最も多く、次いで牛や牛乳など『酪農・農業』に関する意見が 95 件、ショッピングセンターや住みやすさといった『都市環境・商業環境』に関する意見が 78 件、ゆめの森公園や中標津空港など『施設』に関する意見が 72 件などとなっており、これらが町の自慢であると認識されていることがうかがえる。[図表 83 参照]

図表 83 町の自慢できるもの（自由記述）

自然環境・景観	件数		
自然	73	きれいな水	1
自然の豊かさ	43	ゴミがあまり落ちてない	1
開陽台	30	ちょうど良い気候	1
緑が多いこと	16	みどりが多い	1
空気がきれい	15	ゆったりしている	1
おいしい水	8	雨の日ほとんど降っている	1
空気がおいしい	6	音が静か	1
木の多さ	6	開陽台の夜景	1
森	5	学校からみえる夜景	1
緑	5	気候がよい	1
水	4	気候が比較的よい	1
環境	4	景色	1
空気	4	景色の美しさ	1
自然の美しさ	4	計根別に広がる牧草地	1
自然が豊か	3	建物と自然のバランス	1
動物がいること	3	広い土地	1
のどか	2	広大な土地	1
花	2	自然もあり町も大きくなっている	1
町がきれい	2	自然を感じられるところ	1
木	1	自然環境	1
アウトドアなことができる	1	水がきれい	1
いなか	1	星がキレイに見える	1
エゾリンドウ	1	晴れている時の星	1
		静かさ	1

雪	1
都会にはない空気	1
農業関係	1
武佐岳	1
木とか花いっぱい	1
夜景	1
夕日がきれい	1
涼しいこと	1
計	271

酪農・農業	件数
牛	20
酪農	15
牛乳	14
じゃがいも	10
乳製品	7
農業	6
チーズ	5
酪農が盛ん	4
人より牛の方が多いこと	3
じゃがいもの生産量	2
ゴーダチーズ	1
コーヒー牛乳	1
じゃがパン	1
ヨーグルト（乳製品）	1
牛乳など	1
農業がけっこう盛んに行なわれている	1
農業がさかん	1
農業関係	1
牧場	1
計	95

都市環境・商業環境	件数
ショッピングセンター	16
住みやすさ	12
お店	2
事件が少ない	2
人口が増えている	2
お店の多さ	1
スーパー	1
チーズ工場がある	1
バイパス沿いが充実している	1
ボーリング場	1
まっすぐな道路	1
レンタルビデオ店	1
安全	1

飲食店がいっぱいある	1
何もないのがいい	1
活気がある	1
広すぎず、狭すぎず、ちょうどいい町の広さ	1
事件が少ない	1
自転車でどこでも行ける距離	1
小さい町だけど楽しいよ	1
静かな生活	1
地場産業の多さ	1
町がきれい	1
町にしては発展していること	1
町はちいさいけど色々な物がある	1
町外に出なくても買い物ができる	1
提灯が日本一	1
店がいっぱいある	1
店が近くて便利	1
店が充実していること	1
田舎	1
田舎なところ	1
田舎にしては店など物が豊富	1
都会すぎず田舎すぎないところ	1
都会と違って落ち着けるとこ	1
都市化しているところ	1
日常的な生活に不便しない	1
買物しやすい、買いやすい	1
発展している	1
犯罪が少ない	1
必要なものはだいたい手に入ること	1
平和	1
平和な所	1
暮らしやすい	1
暮らしやすいところ	1
豊かさ	1
本屋	1
無駄なスペースがない	1
和む	1
計	78

施 設	件数
ゆめの森公園	31
中標津空港	25
しるべっと	8
スポーツ施設	1
ムツゴロウ牧場	1
運動公園	1
公園の多さ	1

たくさんの施設	1
雪印工場	1
町営球場	1
武道館	1
計	72

学 校	件数
中標津中学校	10
学校	3
中標津高野球部	3
中標津高校	2
N高祭	1
ジャージ	1
スポーツが強い	1
学校の活動が充実していると思う	1
高校のグラウンドが広い	1
高校のグラウンドが大きい	1
高校の甲子園出場(90)	1
卓球が強いこと	1
中学校	1
中標津高校の展望台	1
中標津中がでっかい	1
中標津中学校がきれいなこと	1
計	30

人・地域性	件数
人	3
町の人やさしい	3
町長	3
さっぱりしているところ	2
あいさつ	1
なごやか	1
ほのぼのしている	1
ボランティアが盛ん	1
みんな仲良し	1
みんな優しい	1
街の人がやさしい	1
元気がある	1
人とのふれあい	1
人の良さ	1
中標津で出来た仲間	1
中標津町のために頑張っている 方々がたくさんいること	1
町の人がいい人	1
町の人全員が優しい	1
町民	1
町民の優しさ	1

友人	1
よい友人がいること	1
計	29

祭り・イベント	件数
お祭り	5
イベントが楽しい	1
夏祭り	1
色々なイベントがある	1
計	8

その他	件数
映画のロケ地	4
食べ物がおいしい	3
全部	2
おいしいものがある	1
ちょうちんが日本一	1
ファイターズクラブ	1
運動しやすい	1
芸能人などが来る	1
社会人野球、チーム名メップクラ ブ	1
昔からある文化	1
標津ようかん	1
有名なソフトボール選手が来たこ と	1
有名人が来ること	1
計	19

総計	602
----	-----

**第6期中標津町総合発展計画策定に係る
まちづくりアンケート調査**

キャッチフレーズ及び自由意見

**平成21年11月
中標津町**

目 次

1 キャッチフレーズ.....	1
(1) キャッチフレーズの記入状況.....	1
(2) キャッチフレーズ一覧.....	2
2 自由意見	9
(1) 自由意見の記入状況（一般町民）.....	9
(2) 自由意見一覧（一般町民）.....	10
①中標津市街	10
②中標津農協区域	19
③計根別	20
④居住地不明.....	22
(3) 自由意見の記入状況（中高生）.....	23
(4) 自由意見一覧（中高生）.....	24
①中学3年生.....	24
②高校3年生.....	26
③学年不明.....	28

1 キャッチフレーズ

(1) キャッチフレーズの記入状況

自由意見欄にキャッチフレーズ等を記入した人は243人と、回答者（889人）に対する記入率は27.3%となっており、記入件数は248件であった。これらの自由記述されたキャッチフレーズ等を年齢別でとりまとめると次のとおりとなる。

キャッチフレーズの記入状況（全体、年齢別）

		回答者数	記入者数	記入率（%）	件数
全体		889	243	27.3%	248
年齢別	20代	101	43	42.6%	43
	30代	119	34	28.6%	34
	40代	135	37	27.4%	38
	50代	175	54	30.9%	55
	60代	172	37	21.5%	40
	70歳以上	170	34	20.0%	34
	年齢不詳	17	4	23.5%	4

(2) キャッチフレーズ一覧

年代	内 容
20代	330℃から360℃へ
	この街がふるさとでよかった
	フレッシュ
	みんな道東（同等） 中標津！ 最東の産業
	安心、安全で生活できる町
	安心、安全な暮らし
	安心して子どもの産めるまちづくり
	安心と活力のあるまち 中標津
	安心安全な町
	活気ある、誰もが住みやすい中標津町
	環境にやさしい、住みやすい、医療充実
	観光、福祉の町
	希望の扉
	牛の町、ミルクの源、ラグビーのなかしべつ
	元気、活力、安心
	古さと新しさの調和
	誇りある、感動できる、中標津
	交通事故ゼロのまち！ どんな人にもやさしい町
	今のままの自然をそのままに、たくさんの子どもがいる町
	子どもたちや高齢者のための明るいまちづくり
	子どもの笑顔で溢れる町
	思いやり 行政と住民の相互的關係
	自然・農業・動物
	自然があふれ、楽しい 活力ある町
	自然が豊富という意味での田舎性と、発展した都会性の両立
	自然や特色を生かした街づくり
	自然豊かなかしべつ
	自分が育った町を自慢できる町に！
	住みやすい、安全、美しい、楽しい まちづくり
	住みやすい町 ナンバー 1
	笑顔、安心、余裕のある町
	新世界なかしべつ
	人に優しい中標津町
	成長しつづけるまち
	他人の町から自分の町へ！
	大好きになる中標津町！ 町民皆でまちづくり！

年代	内 容
	町から市へ
	道内道外の飛行機が存続されるように
	日本一すばらしい中標津町
	聞く・実行するまちづくり
	酪農王国中標津
	緑あふれる、子どものびのび中標津！
	緑あふれる住みやすい町
30代	10年後も変わらず、今の町の様子のままでいてほしい
	あつまるまち ひろがるまち なかしべつ
	ごみのない美しいまち
	すべての世代がチャレンジできる町！
	なごやかなまち なかしべつ
	ふれあい・自然愛護
	安心して暮らせるまち
	一度は行きたい、キャンパーの聖地
	子どもたちが楽しく、ずっと住みたくなるようなまちづくり
	子育てを応援する町
	自然・牛・愛ある町
	自分の子どもも中標津に住み続けたいと思えるような町
	若者が帰る町
	住みやすく安全な町
	住みよいまちづくり
	住民のための施設が整った街
	住民主体のまちづくり
	小さな企業が頑張れる町
	人がいて牛がいて くさくないまち
	切磋琢磨
	地域産業、地域を愛せるまち
	地域力
	中心街の活性化と周辺大型店舗との専門差別化
	中標津出身医師
	道東どまん中標津
	農と商の“調和”
	農業王国 中標津町
	美しい自然いっぱいの町づくり
	豊かな自然、住みやすい町、道東の拠点
	豊かな町
	豊かな緑 きれいな町 元気な子供

年代	内 容
	陽の光の中で自然を育て、笑いあふれる中標津
	老若男女が心地よい町
	老若融合
40代	高齢者にやさしい町 （同キャッチフレーズ2件）
	アイデアあふれるまちづくり
	クリーンで最先端を行く酪農王国
	グローバル、都市間交流、観光都市、地産地消
	ナチュラルライフ
	みんなが住みやすい町
	みんなで学び大きく育てる豊かな心とまち みんなは1人のため、1人はみんなのために
	みんなで住む町 おもいやり
	安心、便利、気持ちが良い
	一次産業の活性化と医療の充実
	何度も来たくなる町
	活力のある町
	帰りたい町 中標津
	健康生活の促進
	思いやり
	思いやる心が明るい明日へ続く
	自然に生かされる町 中標津
	自然豊かなスモール町政！
	笑顔のあふれる きれいな町
	人、中心、アナログ
	人が集まる町 再び訪れたい町
	人と自然が一体化し、害のない町
	人に、生き物に、やさしい町
	世界遺産 知床岬の玄関口 中央知床
	生産
	他地域に負けない専門性を持つ町へレベルアップ
	中信（中標津の中と信頼関係の信）
	中心的な町づくり
	中標津らしい町づくり
	中標津市になるように
	町外の人がうらやましくなる町
	調和、町輪、町和
	田舎と都会が共存する、東京から1時間半の避暑地
	文明と大自然の共存の町 北海道のプロバンス地方

年代	内 容
	明るく元気で、子どもが素直に育つ町
	明るく元気な町！
	緑豊かな心のふれあうまちづくり！若年層の積極的なまちづくりへの参画
	老人がたくさん住む町
50代	10年後の標津川 清流に『梅花藻』が咲く 標津川
	クリーン・なかしべつ
	クリーンライフ
	すこやか町
	スローライフ・シティー
	みんなが参加する地域社会づくり
	ゆっくり、のんびり安心した暮らし
	安心・安全・心豊かな
	安心して暮らせる、医療機関の充実した町
	安心して暮らせるまちづくり
	安心して暮らせる町
	医療と福祉の充実
	花一杯の我が故郷 中標津
	皆で楽しく協力しあい 自慢できる町にしよう
	活気ある快適な中標津町
	環境と人にやさしいまちづくり
	元気な街
	現実を見るとお先真っ暗社会
	高齢化社会
	高齢者、障害者にやさしいまちづくり
	高齢者が生きがいある町に。住みよい町に。子供を安心して産めるような町に。
	高齢者にやさしい町
	子どもから高齢者まで安心して生活できる町
	子どもたちへ続くまちづくり
	自然は自分の手で保全していく、家族のため
	自然も人もうるおいのある町づくり
	自立
	若者が集まる町
	若者には夢と希望を、高齢者には生きがいを
	弱者も安心して暮らせるまち
	弱者を助ける明るい町
	少なくとも現状維持できるかが課題
	食 心
	進化する中標津

年代	内 容
	星が見える町 中標津！
	生きていてよかった…と思える町づくり
	静かで落ち着きのある街
	地産地消で自給率アップできる町
	町民が元気になる町
	日本の食糧基地としての中核都市
	日本一福祉の充実した町 中標津！
	農・工・商すべての産業が活性化しなければまちづくりは伴わない
	美しい自然・高い教養と個性のある人づくり
	福祉の充実
	福祉の充実・商業の活性化
	暮らしやすい町
	豊かな自然に包まれ、健康で明るく安心のできるまちづくり
	北の大地に輝くゲートウェイなかしべつ
	明るい街 夢のある街
	優しく、元気に、親切に！
	緑、酪農、健康
	緑の公園の中に、商業施設や公共施設がある、夢のような町づくり
	老後の安心、安全、安住
	老人と子供
60代	10年先の町を今日からつくろう
	かがやけ
	きれいで住みやすい町
	こころ豊かな人住む 生き活き中標津
	コンパクトシティー中標津
	コンパクトな田園都市なかしべつ
	チーズ
	もっとたくさん子どもたちの楽しい声が聞こえる街に！
	安心して住める、ゆとりのまちづくりをしよう
	安心して暮らせる中標津
	快適に汗を流して働き、家族笑顔でいられる暮らし
	開陽台を背景に、緑あふれる道東の拠点 我が愛する中標津町！
	活気のあるまちづくり
	活気のある町政
	活力みなぎる緑の郷土
	共に支えあい 心豊かな町づくり
	共に支えあう街
	空気のおいしいまち 牛乳のおいしいまち

年代	内 容
	健康で住みやすい町
	健全な町
	元気な町 連携の町
	古きものも失わぬ進歩
	高齢化社会に対応した地域づくり
	子どもたちや老人が元気で明るく住み良い町
	思いやりのある町 美しく住みよい町 安全で楽しい町
	思いやりの心のあるまちづくり
	自然を大切に リサイクルの町
	若い活力、老後の安心、中標津
	住んでてよかった我が町 なかしべつ
	住民の自治意識の向上
	心 和む古里づくり
	森の都 中標津町
	人間の住める町
	地平線・緑・空港・交流
	仲良く支えあう家族
	豊かな自然と大地
	明るい未来
	酪農を基盤とした活力のある中標津町
	緑、情熱、生きがい
	緑の大地と福祉の町
70歳以上	お互いに幸せで全体的に仲良く、の考え。
	これからも安心な街・中標津町
	だれもが安心して住める町
	なかなかいい町！
	まちづくりは人づくり
	みんなが健康でしあわせに暮らせる町
	みんなで築こう 中標津の世紀
	みんなで仲良く町づくり
	やっぱり開陽台とおいしい牛肉の食べられる町中標津でしょう
	わかちあう心を
	安心安全
	近隣町の中核都市として機能をする
	健康 安全 安心に住める町
	健康と福祉の町 なかしべつ
	向こう三軒両隣
	高齢者を大切にする町！

年代	内 容
	子どもと高齢者が楽しく交流できる町
	思いやり溢れる地の涯の牛群れる町
	自然が多く発展中の町
	自然と共生
	自然と健康の町
	自然豊かな人情味のある町
	住みよい世の中、安心して暮らせる町にしたい
	住みよい町 楽しい町
	助け合いと健康
	笑顔のみえる町にしたい
	大好き なかしべつ
	地場産業の伸びる町
	町計画の再構築
	年寄りと若者がいつも交流している、ぬくもりのある温かい町
	福祉活動の充実
	北海道の原点はここにある。住民がつくりあげた町、中標津町。
	未来に向けて緑豊かな中標津であること！
	魅力ある町
年齢不詳	4 町中心的役割
	いい香り 集めて清し 標津川
	グリーンの多い落ち着いた町
	緑あふれる大地に育まれた 元気な中標津っ子

2 自由意見

(1) 自由意見の記入状況（一般町民）

自由意見欄に意見等を記入した人は313人（居住地不明者含む）と、回答者（889人）に対する記入率は35.2%であった。これらの自由記述された要望や意見を集約すると記入された意見は667件となっている。

集約した意見を、「都市基盤・環境分野」「保健・医療・福祉分野」「教育・文化・スポーツ」「産業分野」「まちづくり・行財政分野」という5つの分野で区分し、居住地別に件数・意見の内容をまとめると次のとおりとなる。

自由意見の記入状況（全体、居住地別）

	全体	居住地別			
		中標津市街	中標津町 農協区域	計根別	居住地不明
回答者数	889	765	50	55	19
自由意見記入数	313	282	14	13	4
記入率（%）	35.2%	36.9%	28.0%	23.6%	21.1%
意見の件数	667	601	27	34	5

※居住地不明は問1(5)居住地が無回答のもの

自由意見の分野別意見数（全体、居住地別）

		全体	居住地別			
			中標津市街	中標津町 農協区域	計根別	居住地不明
全体		667	601	27	34	5
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
分野別	都市基盤・ 環境分野	148	138	5	3	2
		22.2%	23.0%	18.5%	8.8%	40.0%
	保健・医療・ 福祉分野	161	142	10	8	1
		24.1%	23.6%	37.0%	23.5%	20.0%
	教育・文化・ スポーツ分野	56	51	1	4	0
		8.4%	8.5%	3.7%	11.8%	0.0%
	産業分野	115	105	3	7	0
		17.2%	17.5%	11.1%	20.6%	0.0%
	まちづくり・ 行財政分野	187	165	8	12	2
		28.0%	27.5%	29.6%	35.3%	40.0%

(2) 自由意見一覧（一般町民）

①中標津市街

分野	項目	内 容	件数
都市基盤・環境	道路	砂利道の舗装	5
		道路の草刈り	4
		生活道路の舗装	3
		道路の整備格差の解消	3
		道路整備は計画的に行ってほしい	3
		道路の整備	2
		道路標識の整備	2
		沿道の花の配色を考える	1
		街路樹が大きいので一回り小さく整備	1
		高速道路の整備	1
		自然を破壊してまで道路をつくることへの疑問	1
		町道の整備	1
		道路の危険箇所の解消	1
		道路や施設のバリアフリー化	1
		道路等の計画的な補修	1
		歩道に駐車する人への注意喚起	1
		歩道の拡幅	1
		歩道の確保	1
		歩道の段差の解消	1
		牧草地の真ん中に立派な舗装道路は不要	1
		計	35
	公共交通	バス停の増設	3
		路線バスの利便性の向上	2
		バスの運行の利便性向上	1
		バスをエコカーにする	1
		バスをなくさないでほしい	1
		釧路からのバスの運行の利便性向上	1
		札幌から中標津間の交通の利便性の向上	1
		札幌行きのバスの便の充実	1
		循環バスの広範囲の運行	1
		巡回バスを町営にしてほしい	1
		中標津空港の利便性の向上	1
		飛行機料金の引き下げ	1
		計	15
	街灯	街灯の増設	5
		計	5
	除雪	除雪方法の見直し（玄関先に雪の塊を置かないでほしい）	5
		除雪の充実	2
		除雪をもう少しきれいに行ってほしい	1
		冬期の雪対策の強化	1
		計	9
	市街地	コンパクトで住みやすいまちづくり	2
		これ以上の市街地の拡大は不要	1
		街中にサロンのような休憩所を設置	1
		空き地の整備	1
		空き地への植樹	1
		景観に統一感を持たせてほしい	1
		市街地の空き店舗の取り壊し（景観整備）	1
		市街地中心部の活性化	1
		中心街の整備	1

分野	項目	内 容	件数
		繁華街の駐車スペースの確保	1
		計	11
	住宅	公営住宅の階段の清掃指導	1
		持ち家対策の検討	1
		収入が少なく家族も居ないと公営住宅に入れないのはおかしい	1
		団地の壁の修繕	1
		独身者専用の町営住宅の設置	1
		計	5
	公園・緑地	安心して遊ばせられる公園の充実	1
		運動公園の受付職員の削減	1
		遠軽の太陽の丘公園のような公園の設置	1
		気軽に行ける小さな公園の充実	1
		公園のトイレの清掃	1
		公園の維持・存続	1
		公園の遊具の整備	1
		公園は住民の声を参考にした有効な施設をつくってほしい	1
		公園を車椅子でも利用できるように整備	1
		桜の木の手入れの充実（役場の体制を強化する）	1
		桜はきちんと間隔をとって植えるべき（間隔が狭いと枯れてしまう）	1
		人工的な公園は不要	1
		東7条公園のトイレの改装	1
		標津川の水辺の散策路の整備	1
		無駄に公園を増設しないでほしい	1
		計	15
	交通安全・防犯	ガードレールを設置すると左右確認しにくい場所がある	1
		交通安全対策の強化	1
		公営住宅への駐車禁止	1
		高齢者の自転車マナーの指導	1
		犯罪のない安心安全相互信頼ができるまちづくり	1
		不審者対策の強化	1
		文化会館周辺の駐車場の取り締まり	1
		計	7
	ごみ処理	ポイ捨て禁止対策	2
		ごみの自宅前収集	1
		ごみや犬のフンが多い	1
		ごみ袋の値下げ	1
		紙おむつのごみの無料回収	1
		町内会に入っていないくても資源ごみが出せるようにしてほしい	1
		不法投棄の厳重処罰	1
		計	8
	環境保全	町の美化	3
		自然を生かしたまちづくり	2
		自然環境の保護	2
		ソーラーパネルを公共施設に設置	1
		温暖化対策の強化	1
		家の前に花を植えている家が多くてよい	1
		花や緑地の美化・保全	1
		街路樹周辺の草刈りや花壇等の環境の美化	1
		環境対策の充実	1
		公衆トイレの増設	1
		自然との共生	1
		自然にやさしいきれいなまちづくり	1
		省エネ、省資源のための工夫を凝らす	1
		風力発電の実施	1
		緑豊かなまちづくり	1

分野	項目	内 容	件数
		計	19
	上下水道	バイパス南側地域の下水道整備	1
		上下水道料の引き下げ	1
		計	2
	火葬場・墓地	火葬場のトイレと遺族控え室の拡幅	1
		斎場の新設	1
		墓地に水桶を用意してほしい	1
		計	3
	その他	町の整備格差の解消	2
		ライフライン整備	1
		旧若竹小学校は若竹の里になったので、看板も書き換えるべき	1
		計	4
分野計			138
保健・医療 ・福祉	保健・医療	医療の充実	5
		医療機関の充実	5
		医師不足の解消	4
		予防医療の充実	3
		医師の充実	2
		医師の質の向上	1
		医療の質の向上	1
		医療費が高い	1
		緩和ケアの専門医の確保	1
		救急車の有料化（一律5千円）	1
		後期高齢者医療支援金の税金引き下げ	1
		終末医療の充実	1
		診療時間、曜日の充実	1
		整形外科の充実	1
		町民の健康促進	1
		町民の健康促進のため、スポーツ施設の共通利用券を発行する	1
		病気にならない健康生活の促進	1
		保険料に見合った医療サービスの提供	1
		計	32
	町立病院	町立病院の経営健全化	3
		町立病院に緩和病棟を設置	1
		町立病院の医師・看護師の意識の改善	1
		町立病院の医師の長期滞在	1
		町立病院の医療体制の充実	1
		町立病院の患者対応の改善	1
		町立病院の看護師の確保	1
		町立病院の事務職員の削減	1
		町立病院の車椅子用トイレの拡張	1
		町立病院の受診科の担当医の確保	1
		町立病院の職員の意識改革	1
		町立病院の待ち時間の解消	1
		町立病院の有効活用	1
		計	15
	国民健康保険	国民健康保険料の引き下げ	7
		計	7
	子育て支援	安心して子どもを産み育てられる環境の整備	5
		出産・子育てに関する経済的支援の充実	3
		産休の充実	1
		子どもの医療費の無料化（6年生まで）	1
		子どもの医療費の無料化（7才まで）	1
		子育てのための、親と祖父母の意識改革	1
		子育て環境の充実	1

分野	項目	内 容	件数
		子育て支援の充実	1
		児童館の駐車場の拡大	1
		児童手当の年齢引き上げ（中学３年まで）	1
		少子化対策の強化	1
		働きながら安心して子育てできる環境づくり	1
		母子家庭ばかり優遇されているように感じる	1
		計	19
	保育所	保育料の引き下げ	4
		保育所不足の解消	1
		夜間保育の実施	1
		計	6
	高齢者福祉	高齢者にやさしいまちづくり	3
		高齢者福祉の充実	3
		高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2
		老後の保障	2
		70才以上の高齢者に町内循環バスの無料乗車券を配布	1
		ひとり暮らし高齢者への手厚い訪問	1
		介護保険料の見直し	1
		元気な高齢者の人材活用	1
		高齢になっても安心して暮らせる町に	1
		高齢化対策の強化	1
		高齢者が楽しく過ごせるまちづくり	1
		高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる環境の整備	1
		高齢者の憩いの場の充実	1
		高齢者の交通手段（バス等）の充実	1
		高齢者を介護する家庭の悩みや負担の軽減	1
		在宅介護の実態の把握	1
		計	22
	高齢者施設	高齢者施設の拡充	5
		介護施設の充実	3
		介護老人福祉施設、介護老人保健施設の誘致	1
		高齢でも自立生活が営める、支援体制の整った高齢者向け住宅の設置	1
		高齢者のケアハウスの設置	1
		誰もが年金で利用できる高齢者施設の設置	1
		町営の高齢者福祉施設の設置	1
		低家賃の高齢者向け住宅の誘致	1
		低料金で入所できる高齢者施設の設置	1
		特別養護老人ホームの待機の解消	1
		年金で入居できる介護施設の設置	1
		有料老人ホームの設置	1
		計	18
	障害者福祉	障害者のグループホームの設置	2
		ゆめの森を障害者も遊べるように配慮してほしい	1
		障害者が生きがいを持って安心して暮らせる環境の整備	1
		障害者のケアハウスの設置	1
		町立幼稚園をつくり、障害児枠を設けてほしい	1
		計	6
	その他	福祉の充実	3
		高齢者や子どもにやさしいまちづくり	2
		高齢者や障害者にやさしいまちづくり	2
		生活保護は本当に必要な家庭だけに支給してほしい	2
		福祉にもっと予算をかけてほしい	2
		福祉施設の拡充	2
		ボランティア活動を申し込んだが社会福祉協議会から一向に返事が来ない	1
		小中学生と高齢者の交流の場の充実	1

分野	項目	内 容	件数
		生活困難者への支援の充実	1
		大型福祉施設の建設	1
		計	17
		分野計	142
教育・文化 ・スポーツ	教育・学校	給食費未払い家庭をなくす	2
		A E Tによる英会話の昼間のクラスの増設	1
		バス通学の実施	1
		家庭での教育（躰）の充実	1
		家庭生活の手引き、マナー等の手引きの作成と配布	1
		学校・家庭・地域が連携した教育環境の充実	1
		学校の充実	1
		学校教育の充実	1
		学童パトロールの町内全域での実施	1
		教育現場の意識改革	1
		教師の質の向上	1
		経済的理由で進学ができない人への奨学金等の充実	1
		高校が遠い	1
		子どもたちが各種職業体験ができるシステムの充実	1
		私立幼稚園の施設の充実	1
		私立幼稚園への補助金の増額	1
		奨学金の償還期間の延長	1
		小規模小学校6校の統合	1
		中標津農校の廃校	1
		町内在住の教員退職者を時間講師として活用	1
		特別支援学級の充実	1
		武佐中学校の統合	1
		幼少期からの道徳教育、躰の充実	1
		養護学校の小学部・中学部の設置	1
		計	
	文化・芸術	祭りの規模の拡大 イベント開催時の広報活動の充実 音楽ライブ等のイベントの開催 夏の一大イベントの企画・開催 祭りやイベントの充実 図書館の図書購入を公平な手続きで 他から人が集まってくる楽しい祭の開催 町内会館や児童館を気軽にイベント利用できるようにしてほしい 読書の啓発 文化施設の充実 役場のロビーをイベント会場として開放	2
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
	計		12
	スポーツ	スポーツイベント、大会等の充実 スポーツの活性化 スポーツ環境の整備 スポーツ施設の充実 パークゴルフ場の増設 プールのタイルは滑りにくいものにする プールの休館日を減らしてほしい フリースタイルモトクロスのイベントの実施 既存のスポーツ施設の充実 体育館の改築 中標津体育館の耐震化 中標津体育館の駐車場の拡大 町営の温泉、スポーツ施設の増設 冬の屋外でのスポーツの場の確保	1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
1			
1			
1			

分野	項目	内 容	件数
		計	14
		分野計	51
産業	農業・畜産	家畜の糞尿の臭い対策	11
		一次産業の活性化	2
		地産地消の推進	2
		カラス対策	1
		一次産業を基盤として二次産業化を図る（食品等のブランド化）	1
		牛乳をもっと活用して販売促進を図る	1
		少ない家畜頭数でのゆとりある酪農経営の実現	1
		森林保護	1
		地場産品の消費拡大	1
		中標津牛乳のPR強化	1
		特産物の直売所の設置	1
		特産物の有効活用	1
		乳牛の共進会への理解	1
		農業の担い手育成	1
		農業や産業の活性化	1
		農業試験場は町が保有してほしい	1
		酪農におけるブランド製品の開発と支援の充実	1
		酪農の活性化	1
		酪農家の保護	1
		酪農家を対象に省エネ・環境対応機械の導入を推進し、エコの町をアピール	1
		計	32
	商工業	若者のための娯楽施設の充実	3
		地元の企業の活性化	3
		町の空洞化対策（店舗の集約）	3
		ハンバーグ店の誘致	2
		商店の充実	2
		大型商業施設の誘致	2
		道の駅の設置	2
		コンビニエンスストアの誘致	1
		スーパー等の店内専用の高齢者・障害者向けの電動の乗り物がほしい	1
		観光的な牧場のような地域で生かせる施設の誘致	1
		企業の充実	1
		企業育成のための補助事業の創設	1
		牛丼店の誘致	1
		娯楽施設の誘致	1
		公園を町外にもアピール	1
		公共工事に使用される資材は町内のものを使う	1
		若者が楽しめる場の充実	1
		若者向け大型施設の誘致	1
		主婦のアイデアを企業に買ってもらい商品化して町おこしに活用	1
		商店の活性化	1
		商店の充実・活性化	1
		大手企業の誘致	1
		地元企業の優先	1
		中心部の商店の充実	1
		朝市の復活	1
		町外資本の排除	1
		二次産業、三次産業の充実	1
		買い物の配達サービスの充実	1
		繁華街の活性化	1
		物価の引き下げ	1
		計	40
	観光	観光スポットの開発	3

分野	項目	内 容	件数
		観光祭の開催日は、お盆に戻してほしい	3
		観光資源のPR強化	2
		一日過ごせる温泉施設の誘致	1
		花火大会の花火の充実	1
		観光事業の展開	1
		空港を最大限に活用した産業・観光の振興	1
		交通の便のよさをPR	1
		自然豊かな観光資源の活用	1
		避暑地としての観光アピール	1
		計	15
	雇用・労働	若者の働く場の充実	8
		雇用の確保	3
		雇用対策の強化	1
		女性が育児や介護をしながら安心して働ける環境の整備	1
		障害者の雇用の場の充実	1
		新卒者の採用の充実	1
		労働環境の改善	1
		計	16
	その他	各分野の質を研究して生かす	1
		基幹産業の発展	1
	計	2	
	分野計	105	
まちづくり・ 行財政	住民参画	行政と町民との交流機会の充実	3
		住民の意見を反映させた行政	3
		一部の町民の意見だけでなく、広く意見を聞き入れてほしい	1
		開かれた行政を望む	1
		行政と気軽に意見交換できる場の充実	1
		行政と町民の垣根をなくす	1
		弱者の意見を聞いてほしい	1
		住民の要望を定期的に把握すべき	1
		中高生の意見を取り入れたまちづくり	1
		町民が参加しやすい体制づくり	1
		町民の声を聞いてほしい	1
			計
	まちづくり	特色を前面に出して活かしたまちづくり	4
		元気のあるまちづくり	2
		若者が帰って来やすいまちづくり	2
		すべての年代が安心・安全に暮らせるまちづくり	1
		まちづくりは計画的に行ってほしい	1
		安心・安全のまちづくり	1
		移住者が住みやすいまちづくり	1
		医療・福祉・文化・教育の4つに重点を置いたまちづくり	1
		計画だけで終わらないようにしてほしい	1
		現状を把握し、具体的な対策を立ててほしい	1
		現役世代が定住・安住できるまちづくり	1
		向上より転換を	1
		思いやりのあるまちづくり	1
		自然も人の心も豊かなまちづくり	1
		若い人が安心して暮らせるまちづくり	1
		若者中心のまちづくり	1
		将来を見越した大胆な取り組みを希望	1
		将来目標を設定したまちづくり	1
		少ない財源で最大限の効果を得られるまちづくり	1
		人口増加対策を	1
		人々の交流に重点をおいた施策の充実	1

分野	項目	内 容	件数
		他自治体のまちづくり構想を研究して参考にする	1
		長く住みたいと思えるまちづくり	1
		長期計画の見直し	1
		夢と希望の持てるまちづくり	1
		無駄のないまちづくり	1
		計	31
	行財政	行政の明確な方針を提示してほしい	3
		財政の無駄を省く	3
		各種申請、届出等の手続きの電子化	1
		環境保護目的の公共工事を増やし、公共工事の発注減に対応する	1
		既存施設の有効活用	1
		既存施設の維持・管理の充実	1
		古い体質からの脱却	1
		公共事業を利用した町の利益が上がる事業の開拓	1
		行政は責任を持って働く	1
		行政は町民に尽くしてほしい	1
		困っている人を最優先した行政	1
		施設が多く、維持費がかかりすぎている	1
		取り組みが中途半端な感じがするので、的を絞ってほしい	1
		住基カード等で住民票の交付ができるようになると良い	1
		人づくりのための指針と具体化	1
		人材育成の強化	1
		長期的展望に立つ、しっかりした行政を望む	1
		透明性のある行政が必要	1
		日常生活を第一に考えた行政を望む	1
		入札方法の見直し	1
		背伸びしない堅実な行政	1
		無駄なものはつくらない	1
		無駄な公共物、公共施設の撤去または有効活用	1
		役場が遠くて不便	1
		利用しやすい役場づくり	1
		計	29
	議員	議員の資質の向上	4
		議員報酬の見直し	2
		議員の意識改革	1
		議員の一般質問の回数を増やす	1
		議員は中標津に愛情を持ってほしい	1
		議員報酬の日当制導入	1
		計	10
	職員	職員の意識改革	5
		職員数の削減	4
		職員の資質の向上	3
		職員の窓口対応の改善	3
		町職員の共稼ぎの見直し（新卒者の採用を促進する）	2
		公務員の不正の是正	1
		公務員の有給休暇の削減	1
		行政関係者は野心でなく、志を持って働いてほしい	1
		職員の意識の向上	1
		職員の教育の徹底	1
		職員の公宅制度を廃止し、固定資産税を納入して財政再建	1
		職員の自主的な努力に期待	1
		職員の年収は600万まで、退職金は800万までとする	1
		職員はもっと積極的に意見を出してほしい	1
		職員は公平な態度で窓口対応をしてほしい	1
		職員は中標津に愛情を持ってほしい	1
		役場職員の代行サービスをスムーズにしてほしい	1
		計	29
	税	税金の負担軽減	6
		税金の有効活用	2
		町民税の引き下げ	2
		へき地の税負担の軽減	1
		収入に見合った税収にする	1
		税金の未納の解消	1
		計	13
	情報提供	行政の積極的な情報公開	2

分野	項目	内 容	件数
		ボランティア情報の詳細を広報に掲載してほしい	1
		広報が2冊届いてもったいない	1
		広報の印刷色を白黒にして経費削減	1
		広報の内容の充実	1
		広報の文字を大きく、読みやすい文章にほしい	1
		情報提供の充実	1
		転入者が町の情報を得られるような配慮がほしい	1
		独居世帯への情報提供の充実	1
		計	10
	広域連携	4町の中核都市としての総合的な発展を望む	1
		近隣町村との協調性が大切	1
		広域的なまちづくりの推進	1
		合併しないほしい	1
		合併の推進	1
		道東4町の広域拠点都市を目指すべき	1
		計	6
	町内会	町内会に団体が2つあることの見直し	1
		町内会の行事は強制でなく自由参加にほしい	1
		町内会活動のあり方を見直し	1
		町内会区割の見直し	1
		計	4
	地域性・住民性	町民の社会的マナーの向上	2
		のんびりしていてよい町だがルーズな面もある	1
		よい町だと思う	1
		住民の島国気質の改善	1
		中標津は住みやすい町だと思う	1
		町民としての個人の責任を果たす	1
		計	7
	アンケート	アンケートはもっとわかりやすくしてほしい	2
		アンケートは有意義	2
		アンケートは、福祉関係の設問を増やすべき	1
		アンケートは税金の無駄	1
		お盆休みなどの忙しい時期のアンケートは控えてほしい	1
		計	7
	その他	コミュニケーション社会の重要さ	1
		自分に厳しく細かな気配りを持つ事が必要	1
		情報化社会により人間関係が希薄になることへの懸念がある	1
		変化の速度が速すぎる	1
		計	4
		分野計	165
		総計	601

②中標津農協区域

分野	項目	内 容	件数
都市基盤・環境	情報通信基盤	携帯電話の電波やインターネット環境の整備	2
		情報通信基盤の整備	1
		計	3
	環境保全	自然を生かしたまちづくり	1
		自然環境の保護	1
		計	2
分野計			138
保健・医療・福祉分野	保健・医療	町民の健康促進	1
		保健センターの指導をもっと広める	1
		計	2
	町立病院	町立病院の経営健全化	1
		計	1
	子育て支援	子育て支援の充実	1
		計	1
	保育所	待機児童の解消	1
		計	1
	高齢者福祉	高齢者の病院へ行く交通手段の確保	1
		計	1
	高齢者施設	介護施設の充実	2
		高齢者施設の拡充	1
		誰もが介護施設に必ず入所できる環境の整備	1
		計	4
分野計			138
教育・文化・スポーツ	スポーツ	プールの設置	1
		計	1
分野計			138
産業	農業・畜産	バイオガスプラントの推進	1
		家畜の糞尿の臭い対策	1
		計	2
	商工業	物価の引き下げ	1
		計	1
分野計			138
まちづくり・行財政	住民参画	企業や個人の考えを把握した上で、行政に取り入れてほしい	1
		町民参画の推進	1
		役場の意見箱が機能していないので改善を	1
		計	3
	行財政	行政の明確な方針を提示してほしい	1
		無駄な公共工事の廃止	1
		計	2
	議員	議員は中標津に愛情を持ってほしい	1
		計	1
	職員	職員は中標津に愛情を持ってほしい	1
		計	1
	地域性・住民性	町民の自立促進	1
		計	1
分野計			138
総計			27

③計根別

分野	項目	内 容	件数
都市基盤・環境	市街地	空洞化現象対策	1
		計	1
	交通安全・防犯	通学路の整備・安全確保	1
		計	1
	ごみ処理	ポイ捨てをしないマナーの教育	1
		計	1
		分野計	3
保健・医療・福祉	保健・医療	医療設備の充実	1
		計	1
	子育て支援	子育て環境の充実	1
		出産・子育てに関する経済的支援の充実	1
		少子化対策の強化	1
		計	3
	保育所	保育時間の延長	1
		計	1
	高齢者福祉	高齢者の活躍の場の充実	1
		年金の増額	1
		計	2
	高齢者施設	自立生活が営める支援体制の整った高齢者向け住宅の設置	1
		計	1
		分野計	8
教育・文化・スポーツ	教育・学校	学校教育に伴う経済的支援の充実	1
		教育の充実	1
		計	2
	文化・芸術	文化の充実	1
		計	1
	スポーツ	スポーツの充実	1
		計	1
		分野計	4
産業	商工業	計根別の商業施設の充実	1
		計根別市街の活性化	1
		職人の保護と後継者の育成	1
		農業高校の商品をPRする施設の設置	1
		計	4
	雇用・労働	雇用の確保	1
		若者の働く場の充実	2
		計	3
		分野計	7
まちづくり・行財政	住民参画	町民の声を聞いてほしい	1
		計	1
	まちづくり	不安感のない公平なまちづくり	1
		無理な成長をせず、じっくり前進するまちづくり	1
		計	2
	行財政	公平な施策を希望	1
		必要な費用は削らないでほしい	1
		計	2
	議員	職員はもっと町民と共に協力しあう姿勢を持ってほしい	1
		町職員の共稼ぎの見直し（新卒者の採用を促進する）	1
		計	2

分野	項目	内 容	件数
	税	税金の完全徴収	1
		税金の負担軽減	1
		納付金の徹底した完納	1
		計	3
	地域性・ 住民性	町民の意識改革	1
		計	1
	その他	グローバル化に対しての町としてのPR	1
		計	1
		分野計	12
	総計		34

④居住地不明

分野	項目	内 容	件数
都市基盤・ 環境	街灯	街灯の増設	1
		計	1
	交通安全・ 防犯	防犯対策の強化	1
		計	1
	分野計		2
保健・医療 ・福祉	子育て支援	安心して子どもを産み育てられる環境の整備	1
		計	1
	分野計		1
まちづくり・ 行財政	住民参画	元気で前向きな町になるように協力したい	1
		計	1
	その他	町で一生を過ごすことができる体制の整備	1
		計	1
	分野計		2
総計			5

(3) 自由意見の記入状況（中高生）

自由意見欄に意見等を記入した人は148人（学年不明含む）と、回答者（458人）に対する記入率は32.2%であった。これらの自由記述された要望や意見を集約すると記入された意見は215件となっている。

集約した意見を、「都市基盤・環境分野」「保健・医療・福祉分野」「教育・文化・スポーツ」「産業分野」「まちづくり・行財政分野」という5つの分野で区分し、居住地別に件数・意見の内容をまとめると次のとおりとなる。

自由意見の記入状況（全体、学年別）

	全体	学年別		
		中学3年生	高校3年生	学年不明
回答者数	458	238	218	2
自由意見記入数	148	88	59	1
記入率（%）	32.3%	37.0%	27.1%	50.0%
意見の件数	215	119	94	2

※学年不明は問1(2)学年が無回答のもの

自由意見の分野別意見数（全体、学年別）

		全体	学年別		
			中学3年生	高校3年生	居住地不明
全体		215	119	94	2
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
分野別	都市基盤・環境分野	59	36	23	0
		27.4%	30.3%	24.5%	0.0%
	保健・医療・福祉分野	15	6	9	0
		7.0%	5.0%	9.6%	0.0%
	教育・文化・スポーツ分野	21	13	8	0
		9.8%	10.9%	8.5%	0.0%
	産業分野	91	47	42	2
		42.3%	39.5%	44.7%	100.0%
	まちづくり・行財政分野	29	17	12	0
		13.5%	14.3%	12.8%	0.0%

(4) 自由意見一覧(中高生)

① 中学3年生

分野	項目	内 容	件数
都市基盤・環境	道路	道路の拡幅	2
		砂利道の整備	1
		道路にごみが目立つ	1
		道路の危険箇所の補修	1
		道路の整備	1
		歩道の確保	1
		計	7
	公共交通	公共交通機関の充実	1
	計	1	
	遊び場	遊び場の充実	10
	計	10	
	市街地	都市化計画	1
	計	1	
	住宅	住宅を増やしすぎないでほしい	1
	計	1	
	公園・緑地	公園にバスケットゴールを設置	1
		公園の設備充実	1
		公園の遊具を新しくしてほしい	1
		自然の中で遊べる場所がほしい	1
	計	4	
	情報通信基盤	インターネット環境（光回線）の整備	2
	計	2	
	交通安全・防犯	変質者撃退	1
		計	1
	ごみ処理	町にごみ箱を設置	1
	計	1	
	環境保全	自然環境の保護	4
自然を大切にする		1	
自然環境を最大限に生かしつつある		1	
草刈りの充実		1	
緑であふれかえるようなまちづくり		1	
計		8	
分野計		36	
保健・医療・福祉	保健・医療	医療体制の充実	1
		病院の充実	3
		計	4
	その他	募金活動の強化	1
		優良な福祉施設の充実	1
		計	2
分野計	6		
教育・文化・スポーツ	教育・学校	大学の誘致	2
		教育の幅を広げてほしい	1
		中学校の校舎の雨漏りの修繕	1
		計	4
	文化・芸術	イベントの充実	1
		計	1
	スポーツ	野球場の整備	2
		サッカー場の増設	1
モータースポーツの活性化		1	
町営球場の設備の整備	1		

分野	項目	内 容	件数
		町民体育館の改築	1
		町民体育館の階段の雑草の手入れ	1
		部活のアリーナをつくってほしい	1
		計	8
		分野計	13
産業	商工業	大型商業施設の誘致	10
		商店の充実	8
		映画館の誘致	5
		パチンコ店が多すぎる	4
		娯楽施設の充実	3
		スポーツ用品店の充実	2
		自動車学校方面の商店の充実	2
		ゲームセンターの誘致	1
		ゲーム店の誘致	1
		ドーナツ店の誘致	1
		フランス人形店がほしい	1
		ライブハウスの誘致	1
		玩具屋の誘致	1
		銀行が多すぎる	1
		計根別に商店をたくさんつくってほしい	1
		現在建設中の銀行は不要	1
		商店を充実させて都会化を図る	1
		物価を安くしてほしい	1
		本屋の誘致	1
		洋服屋の誘致	1
		計	47
分野計	47		
まちづくり・ 行財政	住民参画	もっと町民の意見を聞いてほしい	1
		施設を建てる時は、町民に意見を聞いてからにしてほしい	1
		計	2
	まちづくり	温かくて居心地の良いまちづくり	1
		住みやすく安全なまちづくり	1
		計	2
	行財政	施設の充実	1
		不要な施設が多く、必要な施設がない	1
		無駄なことにお金を使わないでほしい	1
		無駄な施設が多すぎる	1
		計	4
	地域性・ 住民性	今のままで満足	2
		人が優しくて思いやりがある	1
		中標津はよい町	1
		計	4
	アンケート	アンケートの無意味さ	1
		アンケートは税金の無駄	1
		計	2
	その他	もっと中標津のことを考えてほしい	1
		応援している	1
		活気がない	1
計		3	
分野計		17	
総計			119

②高校3年生

分野	項目	内 容	件数
都市基盤・環境	道路	道路の整備	1
		計	1
	公共交通	バスの本数の充実	2
		オホーツク方面への循環バスの運行	1
		バスが不便	1
		バスを学生の利用しやすい運行にしてほしい	1
		駅の建設	1
		朝のバスの時刻が早すぎて困る	1
		計	7
	街灯	川西方面の街灯の整備・増設	1
		計	1
	遊び場	遊び場の充実	5
		若者の遊び場の充実	1
		計	6
	公園・緑地	公園にバスケットゴールを設置	1
		計	1
	情報通信基盤	インターネット環境の整備	1
		東京のテレビがみたい	1
		計	2
	交通安全・防犯	大人の交通マナーの改善	1
		計	1
	ごみ処理	ごみのポイ捨てが目立つ	1
		町民参加のごみ拾いの実施	1
		計	2
	環境保全	町の美化・清掃	1
		計	1
	その他	町全体の利便性の向上	1
		計	1
	分野計		23
保健・医療・福祉	保健・医療	医師の資質向上	2
		医師の確保・充実	1
		医療現場の衛生管理の徹底	1
		医療体制の充実	1
		病院の充実	1
		計	6
	子育て支援	子どものための施設の設置	1
		計	1
	その他	町民同士のふれあいの場の充実	1
		高齢者と子どもの交流機会の充実	1
	計		2
	分野計		9
教育・文化・スポーツ	教育・学校	教育の充実	1
		親の育て方自体に問題があるので、親を教育する場を充実させてほしい	1
		計	2
	文化・芸術	祭りの活性化	1
		人気歌手やグループ等を呼んで町の活性化を図る	1
		計	2
	スポーツ	スポーツの活性化	2
		大きな体育館の設置	1
		町民体育館を自由に利用させてほしい	1
		計	4
	分野計		8

分野	項目	内 容	件数
産業	商工業	映画館の誘致	9
		ボーリング場の復活を希望	6
		パチンコ店が多すぎる	4
		娯楽施設の充実	3
		大型商業施設の誘致	3
		コンビニエンスストアの誘致	2
		飲食店の誘致	2
		商店の充実	2
		中高生が楽しめる施設の充実	2
		カラオケ店の値下げ	1
	観光	ファミリーレストランの誘致	1
		商店や施設が離れているので1か所に集めてほしい	1
		団体の入場料の割引きを希望	1
		中心市街地の活性化	1
		買い物に不便	1
		魅力ある商店の誘致	1
		計	40
		地域間交流の充実	1
		計	1
		4 働く場の拡充	1
まちづくり・ 行財政	住民参画	必要なものと不要なものを町民に聞くべき	1
		計	1
	まちづくり	いつまでも自然が多く、住みやすい町であってほしい	1
		中標津の特徴を生かしたまちづくり	1
		無駄のないまちづくり	1
		計	3
	行財政	色々な建物を増やしてほしい	1
		赤字対策	1
		計	2
	地域性・ 住民性	迷惑住民への厳重な対処（罰金等）を希望	1
		計	1
	アンケート	アンケートを実際に反映させてこそ意味がある	1
		アンケート内容をもっと簡単にしてほしい	1
		中標津町民ではないのでアンケートは意味がないと思う	1
		計	3
	その他	頑張る気持ちが大切	1
		規則は大事だが、守れなかった時も町民同士助け合ってほしい	1
		計	2
		分野計	12
		総計	94

③学年不明

分野	項目	内 容	件数
産業	商工業	映画館の誘致	1
		大型商業施設の誘致	1
		計	2
	分野計		2
	総計		2